

アジア 文流

2024 **4**
April

Vol.55

2023年10月1日～
2024年3月31日の
事業を掲載



中国(成都)
第21回 日本語体験コンテストin成都



日本(北海道・小樽)
2024年2月
北海道・小樽研修会



日本(東京/栃木/静岡/千葉)
2023年度 夢-日本体験旅行



日本(沖縄・伊江島)
2024年3月
沖縄・伊江島研修会

目次 / INDEX

財団概要・巻頭言	01
2023年度下半期スケジュール表	02

10月

第21回「日本語体験コンテスト in 成都」	03
2023年度「日本語体験コンテスト」予選問題による日本理解度比較	06
2023年度「日本語体験コンテスト」本選会／スピーチテーマ選択比較	17

12月

2023年度「夢・日本体験旅行」	19
------------------	----

2月

2023年度奨学生「奨学金に誓う大志」作文	
▶2023年度（一財）共立国際交流奨学財団奨学生	48
▶2023年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学生	64
▶2023年度 ヤングスチール（株）奨学生	81
第26回「日本語体験コンテスト in 北海道(韓国)」入賞者実施報告	83
2024年2月北海道・小樽研修会	101

3月

2024年3月沖縄・伊江島研修会	124
留学生のための日本生活案内「留学生生活手帳」第11版	149
留学生のための就職情報誌「共立・桜」Vol.24	150

学生寮の紹介

（一財）共立国際交流奨学財団 学生寮の紹介	151
（株）共立メンテナンス 学生寮の紹介	155

財団概要

名称：一般財団法人 共立国際交流奨学財団

設立者：石塚 晴久（株式会社共立メンテナンス代表取締役会長）

理事長：菊川 長徳（国士舘大学 21世紀アジア学部教授）

設立許可日：1995年11月7日
移行認可日：2010年6月28日

目的：この法人は、諸外国から我が国の大学等に留学する者に対して奨学援助等に関する事業を行い、もって我が国と諸外国との友好親善に寄与することを目的とする。

- 事業：(1) 諸外国からの留学生に対する奨学金の支給
(2) 留学生に対する生活情報提供及び学習に関する情報の提供と支援・助言
(3) 国際交流活動への支援
(4) 日本人学生が混在する留学生寮の設置及び運営
(5) 留学生の日本語教育、及び資格取得等の教育施設の設置及び運営
(6) その他この法人の目的を達するために必要な事業

留学生を含む在日外国人が、体験や学びを通して
日本をもっと好きになれるよう活動します！

巻頭言

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 理事長 菊川 長徳

当財団は、石塚晴久氏が個人資産を寄附し、1995年11月に設立されて以来、国際友好親善および人材育成に寄与することを目的として、アジア諸国からの留学生に対し奨学援助を行うとともに、国際交流、就職支援、学生会館の設置・運営、日本語学校の設置・運営等の事業を実施して参りました。

本誌には、2023年8月から10月にかけて開催した「日本語体験コンテスト（カンボジア・ベトナム・タイ・マレーシア・インドネシア・中国）」における、予選問題および本選会スピーチテーマの分析結果を掲載しております。各国の日本に対する理解度や、日本における興味の対象がよく分かる内容となっておりますので、ぜひご覧ください。

また、2023年12月には、「日本語体験コンテスト」の入賞商品である「夢・日本体験旅行」も実施いたしました。本誌に掲載されている参加学生全員の感想からは、今回の旅行が各国の学生にとって、日本をより深く知るための貴重な機会となったことがうかがえます。

さらに、本誌には2023年度奨学生による「奨学金に誓う大志」作文も掲載しており、留学生がそれぞれに、日本で学んだことやこれから成し遂げたいことについて言及しております。

加えて、2024年2月には「北海道・小樽研修会」、2024年3月には「沖縄・伊江島研修会」を開催いたしました。留学生が日本ならではの体験に挑戦する様子を、実施報告として本誌に掲載しておりますので、最後までお読みいただけますと幸いです。

当財団はこれからも、留学生の日本における勉学や生活がより充実したものになるよう助力するとともに、事業の拡大および拡充をはかって参ります。

今後とも、当財団に皆さま方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年4月

2023年度下半期スケジュール表

	当財団主催行事	出版物	奨学金関係	寮事業部
10月	・10/14 第21回日本語体験コンテスト in 成都	・情報誌「アジア文流」Vol.54		
11月			・2024年度奨学生 募集開始	
12月	・12/9～17 日本語体験コンテスト 入賞賞品「夢・日本体験旅行」 (カンボジア・ベトナム・タイ・ マレーシア・インドネシア・中国)			
1月			・1/31 2024年度奨学生 募集〆切	・1月生 受入
2月	・2/18～22 2024年2月北海道・小樽研修会		・2024年度奨学生 選考会	
3月	・3/5～10 2024年3月沖縄・伊江島研修会	・留学生のための日本生活案内 「留学生生活手帳」第11版 ・留学生のための就職情報誌 「共立・桜」Vol.24	・2024年度奨学生 採用結果通知	・4月生 受入

第21回「日本語体験コンテスト in 成都」

実施報告

開催日	2023年10月14日(土) 予選会 13:00～ 本選会 14:30～
開催地	中華人民共和国・成都市 ソフィテルワンダ成都
主催	一般財団法人 共立国際交流奨学財団
現地運営団体	成都大原日本語学校
後援	日本国文部科学省 在重慶日本国総領事館 全日本空輸株式会社成都支店
協賛	株式会社 共立メンテナンス



〈後列左より〉 吳実行副委員長、菊川実行委員長、仲村副領事(在重慶日本国総領事館)、
谷口支店長(全日本空輸株式会社成都支店)、山田審査委員長、清水審査委員
〈前列左より〉 入賞者5名: 趙 莫林、艾 玲、袁 月、吳 怡璇、胡 家軒

★『夢・日本体験賞』 入賞者氏名★

	フリガナ 氏名	所属学校
1	吳 怡璇	成都理工大学
2	袁 月	電子科技大学
3	艾 玲	電子科技大学
4	胡 家軒	成都外国語学校
5	趙 莫林	成都外国語学校

概要

「日本語体験コンテスト in 成都」は、2020年から2022年までの3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされていましたが、今年は実に4年ぶりに開催する運びとなり、第21回目を迎えました。

第21回「日本語体験コンテスト in 成都」は10月14日(土)、中国・成都市ソフィテルワンダ成都にて開催いたしました。コンテスト参加申込者は83名、当日の参加者は60名でした。

予選会では、日本の地理・経済・歴史・政治・文化・スポーツなどの幅広い分野から、聞き取り問題30問が出題されました。

その後、予選会を通過した15名が、本選会の3分間即興スピーチに進みました。本選会の即興スピーチでは、その場で出された3つの課題、

- ①好きな日本語の言葉は何ですか？ その理由を話してください。
- ②日本に留学して学びたい分野は何ですか？ その理由を話してください。
- ③日本で観光するなら、どこに行って何をしたいですか？

というテーマから1つを選択し、5分間のシンキングタイムの後、3分間の即興スピーチを行いました。

予選通過者15名でテーマ①を選択した人は6名、テーマ②を選択した人は5名、テーマ③を選択した人は4名でした。堂々と、個性豊かにスピーチをしていました。

そして、審査委員3名による審査の結果、5名が入賞し、実行委員長より賞状と賞品目録が授与されました。

入賞賞品として、2023年12月9日(土)～12月16日(土)(7泊8日)の日程で、日本体験旅行に参加する権利が与えられました。

この日本体験旅行を通じて、日本の生活や文化を体験し、日本留学の夢を実現するための旅行にしてもらい、さらなる日本への興味、理解を深めてもらいたと思います。

全日程

予選会	13:00～	開会の辞・注意事項説明
	13:05～	予選会(日本語聞き取り問題30問)
本選会	14:30～	予選通過者発表(15名)
	14:40～	開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明
	14:50～14:55	シンキングタイム(5分間)
	14:55～	スピーチ(質疑応答あり)
表彰式	16:00～	「夢・日本体験賞」発表(5名)

2023年度「日本語体験コンテスト」予選問題（30問）による日本理解度比較

2023年度にカンボジア、ベトナム、タイ、マレーシア、インドネシア、中国で開催いたしました「日本語体験コンテスト」では、予選会の聞き取り問題30問を出題し、その正答率から、6か国それぞれの日本に対する理解度や、日本からの情報収集度が分かり、二次選考のスピーチテーマからは、日本の何に関心があるかを見ることができました。

予選問題 〈聞き取り問題 30問〉

問 題	
1	富士山は何県と何県にまたがっているでしょうか。 A 静岡県と岐阜県 B 静岡県と山梨県 C 静岡県と埼玉県
2	奈良県にある聖徳太子が造った、木の建物で世界で最も古い建物はなんでしょうか。 A 法隆寺 B 金閣寺 C 東大寺
3	日本のレストランで食事をした時にかかる消費税は何%でしょうか。 A 5% B 10% C 35%
4	2023年4月に全世界で1700億円以上の興行収入がある映画の名前はなんでしょうか。 A ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー B 名探偵ピカチュウ C 鬼滅の刃
5	2025年に万博が開催される場所はどこでしょうか。 A 愛知 B 東京 C 大阪
6	日本で縁起が悪いとされる数字はどれでしょうか。 A 3 B 4 C 7
7	日本で一番古い漫画は何時代ごろのものでしょうか。 A 江戸時代 B 平安時代 C 昭和時代
8	相撲をとるところを何と言うでしょうか。 A 砂場 B 土台 C 土俵
9	2023年5月の日本の首相はだれでしょうか。 A 安倍 晋三 B 岸田 文雄 C 菅 義偉
10	日本の主要な国際空港の一つで、大阪府にあるのはどれでしょうか。 A 成田国際空港 B 中部国際空港 C 関西国際空港
11	東京ディズニーランド・東京ディズニーシーがあるのは、何県でしょうか。 A 東京都 B 千葉県 C 大阪府
12	日本で学問の神様とよばれる歴史上の人物はだれでしょうか。 A 菅原 道真 B 豊臣 秀吉 C 平 清盛
13	日本の成人年齢は何歳でしょうか。 A 18歳 B 20歳 C 22歳
14	6月5日に将棋の棋聖戦が行われた場所はどこでしょうか。 A インドネシア B マレーシア C ベトナム
15	5月19日から、G7サミットが日本で開催された都市はどこでしょうか。 A 東京 B 広島 C 福岡

審査委員長講評

審査委員長：山田 慎 中日交流会館 国語教育



この度は日本語体験コンテストの審査委員長として、大会の運営に関わることができ、大変光栄に存じます。会場の挨拶でも申し上げましたが、本来ならば、このような大役を仰せつかるような立場ではございませんが、菊川理事長、吳校長をはじめ、沢山の運営スタッフの方達のサポートをいただいて、無事務め上げることが出来た事を改めて御礼申し上げます。

今回、初参加いたしました「日本語コンテスト」ですが、コロナウイルスの疫禍が終わり、四年振りの開催とのこと。成都では政府の強力な管理体制の下、簡単な外出もままならず、こと学生におきましては、学校での授業という形も取れずに全てオンラインでの履修であったと思われる。私見になりますが、会話授業はおそらく、最も学習効率に影響があった授業と想像できますが、そのような背景を考えますと、各人の雄気堂々たるスピーチの奥に、努力の影が透けて見え、自然と感動する気持ちが湧き上がってまいりました。

選考形式もユニークで、①ペーパーテスト ②通過者による即興スピーチ このような形で行われておりました。審査基準も重視してほしいポイントとして、①本人の熱意や積極性を見て欲しいとお願いがありました。このようなことから、普段のスピーチ大会よりも多くの学生にチャンスがあり、正に菊川理事がおっしゃっていた「人や文化、日本に対して積極的に向き合っている子に日本旅行を体験してほしい。」という気持ちと合致した選考基準であったのではないのでしょうか。

今回の参加者の数を見て、成都是日本人の数こそ少ないですが、そのような地で日本語を学んでくれている中国人がこんなにも多くいるんだと再認識致しました。日中の架け橋となる、このような素晴らしい活動の益々の発展をお祈り申し上げます。今回は貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。



予選会の様子



入賞者5名

問 題	
16	日本のお金の単位が「円」になったのはいつからでしょうか。 A 昭和4年 B 明治4年 C 大正4年
17	2024年の上半期に紙幣の人物が変更されます。1万円札に描かれる人物はだれでしょうか。 A 津田 梅子 B 渋沢 栄一 C 北里 柴三郎
18	日本では12月31日に何を食べる習慣があるでしょうか。 A すし B うどん C そば
19	日本では、住民票を持っているすべての人に1人1つの番号が知らされました。その制度の名前は何か。 A マイナンバー制度 B オフィシャルセンター制度 C リレーションシップ制度
20	2023年の日本の人口は、何人でしょうか。 A 101,000,000 B 124,000,000 C 153,000,000
21	2022年度、日本を訪れた人が最も多い東南アジアの国はどこでしょうか。 A タイ B インドネシア C フィリピン
22	2023年に調査した日本の島は、何島あるでしょうか。 A 7,512 B 14,125 C 28,215
23	アニメ制作・スタジオジブリの作品をモチーフにした「ジブリパーク」があるのはどこでしょうか。 A 愛知県 B 沖縄県 C 京都府
24	日本の国花はどれでしょうか。 A たんぽぽ B さくら C すみれ
25	東京のシンボルである東京タワーの高さは何メートルでしょうか。 A 111m B 222m C 333m
26	きつねうどんの「きつね」は何のことでしょうか。 A ねぎ B あぶらあげ C てんぷら
27	今年で日ASEAN友好協力は何周年でしょうか。 A 40周年 B 50周年 C 60周年
28	東京で最初にオリンピックが開催されたのは、いつでしょうか。 A 2020年 B 1972年 C 1964年
29	NBAで活躍する八村塁選手が所属するチームはどこでしょうか。 A レイカーズ B セルティック C ナゲッツ
30	今の日本の元号は何でしょうか。 A 昭和 B 平成 C 令和

各国コンテスト申込者・参加者

	開催日	申込者	参加者
第11回「日本語体験コンテスト in プノンペン」	2023年8月4日	55	49
第16回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」	2023年8月6日	63	44
第11回「日本語体験コンテスト in バンコク」	2023年8月8日	110	63
第9回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」	2023年8月25日	52	27
第10回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」	2023年8月27日	41	25
第21回「日本語体験コンテスト in 成都」	2023年10月14日	83	60

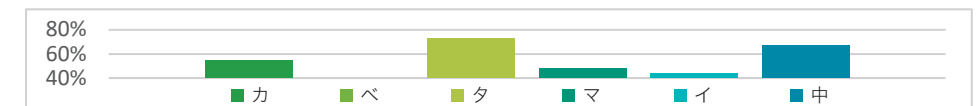
上記のとおり2023年の8月から10月中旬までに一般財団法人共立国際交流奨学財団が実施した、6か国の予選会で実施された、日本の文化・生活・社会・スポーツ等についての30問の正答率から、カンボジア、ベトナム、タイ、マレーシア、インドネシア、中国で日本語を勉強している学生の日本理解度を比較・分析しました。

なお、以下のグラフにおいては、カンボジア→■カ、ベトナム→■ベ、タイ→■タ、マレーシア→■マ、インドネシア→■イ、中国→■中と表記します。

日本理解度比較（6か国）

第1問 富士山は何県と何県にまたがっているでしょうか。

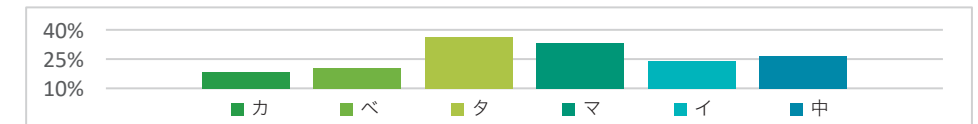
A 静岡県と岐阜県 **B 静岡県と山梨県** C 静岡県と埼玉県



〈講評〉 富士山の所在地に関しては、一番目にタイ、二番目に中国の正答率が高いことが分かりました。続いて、三番目はカンボジアでした。タイ人は、富士山への関心が高いということが分かりました。

第2問 奈良県にある聖徳太子が造った、木の建物で世界で最も古い建物はなんでしょうか。

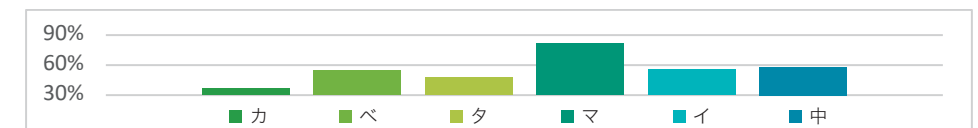
A 法隆寺 B 金閣寺 C 東大寺



〈講評〉 聖徳太子や建築物に関しては、タイとマレーシアの正答率が他国と比較して、高いことが分かりました。タイに関しては、仏教が広く普及しており、多くの仏教寺院が国内にあるからではないかと考えられます。マレーシアでの正答率が高いのも、宗教に関係があるからと考えられます。

第3問 日本のレストランで食事をしたときにかかる消費税は何%でしょうか。

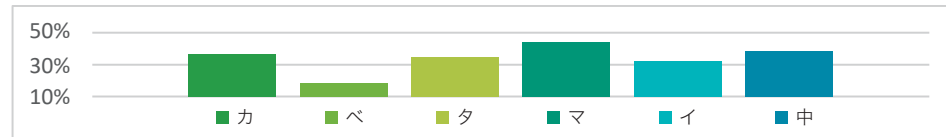
A 5% **B 10%** C 35%



〈講評〉 日本の消費税については、一番目にマレーシア、二番目に、ベトナム・インドネシア・中国がおおむね同じ正答率で続きました。日本の消費税について、よく知っているのはマレーシア人だと分かりました。

第4問 2023年4月に全世界で1700億円以上の興行収入がある映画の名前はなんですか。

A ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー B 名探偵ピカチュウ C 鬼滅の刃

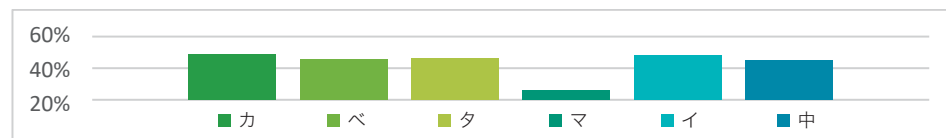


〈講評〉 スーパーマリオブラザーズの世界を原作としたアニメーション映画「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」については、一番目にマレーシア、二番目にカンボジアと中国が、おおむね同じ正答率で続きました。

マレーシア人は、アニメーション映画に興味があることが分かりました。

第5問 2025年に万博が開催される場所はどこですか。

A 愛知 B 東京 C 大阪

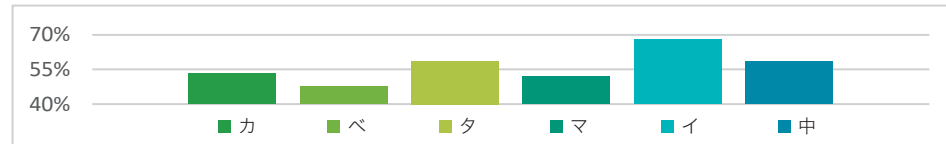


〈講評〉 2025年「大阪万博」については、一番目にカンボジアとインドネシア、二番目に、ベトナム・タイ・中国がおおむね同じ正答率で続きました。

2025年「大阪万博」については、マレーシアを除く5か国に、浸透していることが分かりました。

第6問 日本で縁起が悪いとされる数字はどれですか。

A 3 B 4 C 7

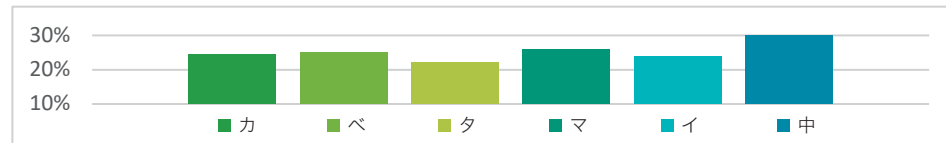


〈講評〉 忌み数・4については、一番目にインドネシア、二番目に、タイ・中国がおおむね同じ正答率で続きました。

忌み数・4については、インドネシア人が知識としてすでに持っていることが分かりました。

第7問 日本で一番古い漫画は何時代ごろのものですか。

A 江戸時代 B 平安時代 C 昭和時代

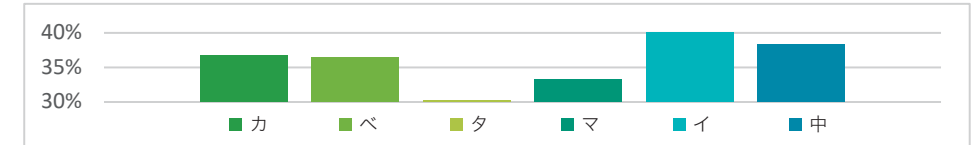


〈講評〉 日本の漫画の歴史についての設問は、正答率が30%以下と低い中で、一番目に中国、二番目にマレーシアとベトナムがおおむね同じ正答率で続きました。

中国は漢字圏であることから、日本の漫画についても、造詣が深いのではないかと考えられます。

第8問 相撲をとるところを何と言うでしょうか。

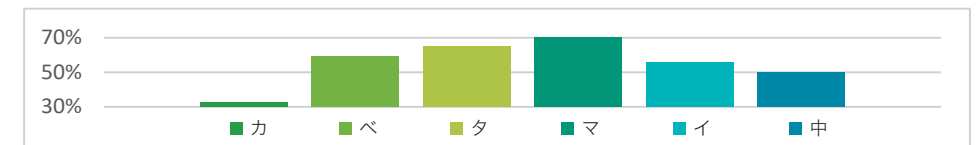
A 砂場 B 土台 C 土俵



〈講評〉 相撲については、6か国での正答率も30%~40%で推移し、全体的に正答率が低いことが分かりました。選択肢の「砂場・土台・土俵」、どの言葉も馴染みがない言葉だったからと考えられます。

第9問 2023年5月の日本の首相はだれですか。

A 安倍 晋三 B 岸田 文雄 C 菅 義偉

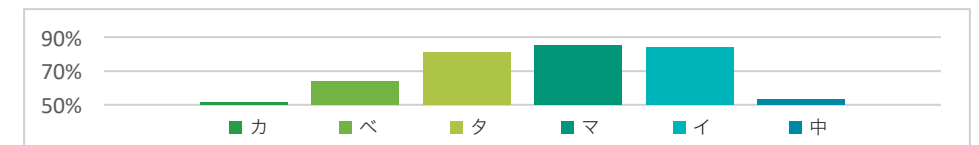


〈講評〉 日本の首相の名前については、正答率が50%以上が5か国で、カンボジアのみ正答率が30%台となりました。

正答率が特に高いマレーシア・タイ・ベトナムは、日本の政治について関心が高いことが分かりました。

第10問 日本の主要な国際空港の一つで、大阪府にあるのはどれですか。

A 成田国際空港 B 中部国際空港 C 関西国際空港

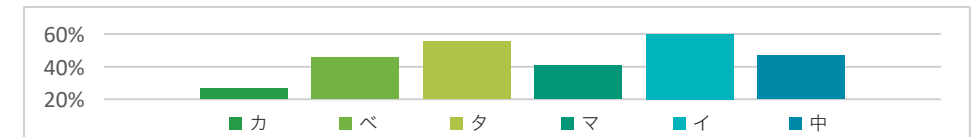


〈講評〉 日本の主要国際空港「関西国際空港」の認識については、一番目にマレーシア、二番目にインドネシアの正答率が高いことが分かり、三番目はタイでした。

6か国すべてで、正答率が50%を超えていることから、関西国際空港の認知度が高いことが分かりました。

第11問 東京ディズニーランド・東京ディズニーシーがあるのは、何県ですか。

A 東京都 B 千葉県 C 大阪府

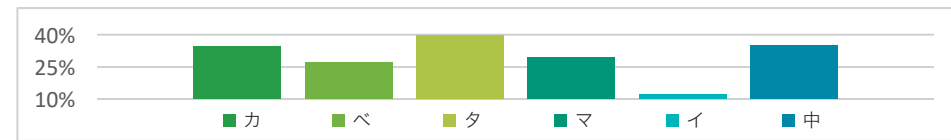


〈講評〉 「東京ディズニーランド・東京ディズニーシー」の所在地については、一番目にインドネシア、二番目にタイ、三番目にベトナムの正答率が高いことが分かり、中国、マレーシアも40%以上の人が認識していることが分かりました。

カンボジアのみ、認知度が低いことが分かりました。

第12問 日本で学問の神様とよばれる歴史上の人物はだれでしょうか。

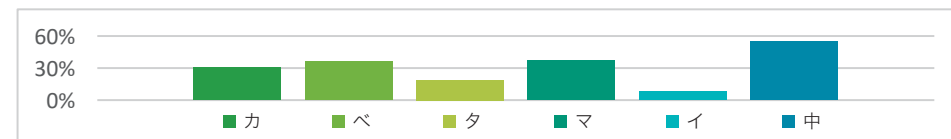
A 菅原 道真 B 豊臣 秀吉 C 平 清盛



〈講評〉 福岡県太宰府市「太宰府天満宮」にまつられている人物について、一番目にタイ、二番目に中国、三番目にカンボジアの正答率が高いことが分かりました。特にインドネシアの正答率が低いので、インドネシアでは歴史上の人物についての認知度が低いことが分かりました。

第13問 日本の成人年齢は何歳でしょうか。

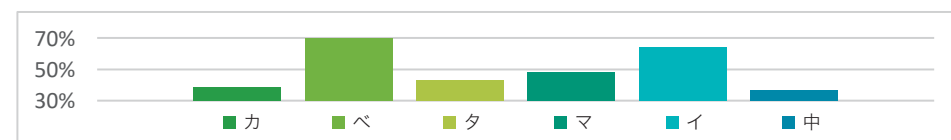
A 18歳 B 20歳 C 22歳



〈講評〉 日本の成人年齢について、一番目に中国の正答率が高いことが分かりました。インドネシアとタイの正答率が低いのは、成人という概念が乏しいということが分かりました。

第14問 6月5日に将棋の棋聖戦が行われた場所はどこでしょうか。

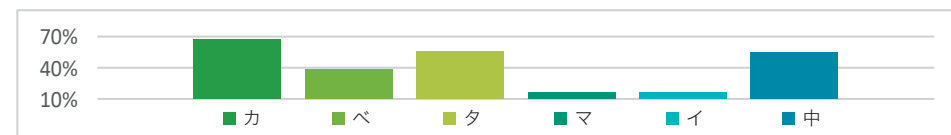
A インドネシア B マレーシア C ベトナム



〈講評〉 将棋・棋聖戦の開催場所については、一番目にベトナムの正答率が高いことが分かりました。自国で開催されたことから、ベトナムの正答率は70%超え、他国に比べて正答率が圧倒的に高く、ベトナム国内で話題が上がっていることが分かりました。次に正答率が高いのは、インドネシアが突出していることが分かりました。

第15問 5月19日から、G7サミットが日本で開催された都市はどこでしょうか。

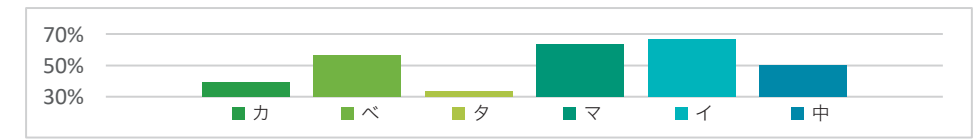
A 東京 B 広島 C 福岡



〈講評〉 G7サミットの開催場所については、一番目にカンボジア、二番目にタイの正答率が高いことが分かり、三番目は中国でした。マレーシアとインドネシアは、日本の政治について関心が低いことが分かりました。

第16問 日本のお金の単位が「円」になったのはいつからでしょうか。

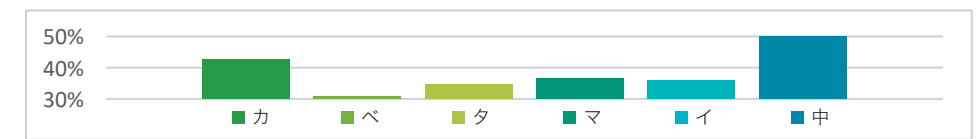
A 昭和4年 B 明治4年 C 大正4年



〈講評〉 日本通貨の単位「円」の歴史については、一番目にインドネシア、二番目にマレーシアの正答率が高いことが分かりました。カンボジアとタイは、日本のお金「円」についての関心が低いことが分かりました。

第17問 2024年の上半期に紙幣の人物が変更されます。1万円札に描かれる人物はだれでしょうか。

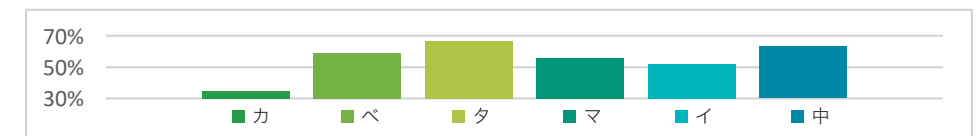
A 津田 梅子 B 渋沢 栄一 C 北里 柴三郎



〈講評〉 2024年上半期に変更される日本の紙幣の人物について、一番目に中国、二番目にカンボジアの正答率が高いことが分かりました。ベトナム・タイ・マレーシア・インドネシアの正答率は30%台と低く、日本の紙幣の人物についての興味が低いことが分かりました。

第18問 日本では12月31日に何を食べる習慣があるでしょうか。

A すし B うどん C そば

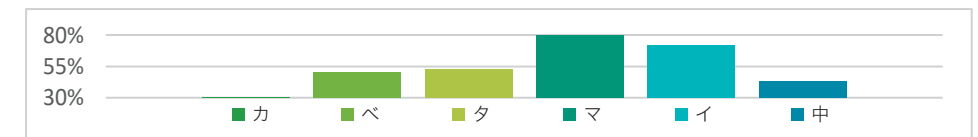


〈講評〉 12月31日(大晦日)にそばを食べる習慣について、一番目にタイ、二番目に中国の正答率が高いことが分かりました。カンボジアのみ正答率が30%台と低く、それ以外の5か国の正答率は50%台超えと、日本の大晦日に「年越しそば」を食べる風習を知っていることが分かりました。

第19問 日本では、住民票を持っているすべての人に1人1つの番号が知らされました。

その制度の名前は何でしょうか。

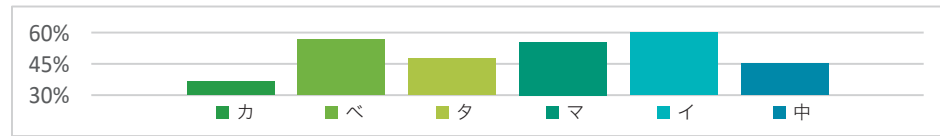
A マイナンバー制度 B オフィシャルセンター制度 C リレーションシップ制度



〈講評〉 日本の行政手続き等における特定の個人を識別するための制度「マイナンバー制度」については、一番目にマレーシア、二番目にインドネシアの正答率が高いことが分かりました。カンボジアと中国は、「マイナンバー制度」についての認知度が低いことが分かりました。

第20問 2023年の日本の人口は、何人でしょうか。

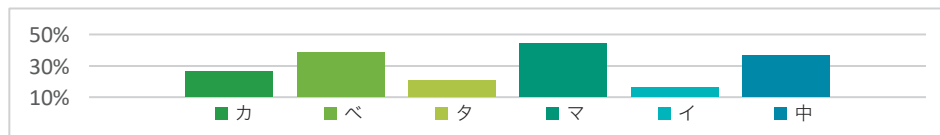
A 101,000,000 **B 124,000,000** C 153,000,000



〈講評〉 2023年の日本の人口については、一番目にインドネシア、二番目にベトナム、三番目にマレーシアの正答率が高いことが分かりました。
逆に、カンボジアは日本の人口について興味がないことが分かりました。

第21問 2022年度、日本を訪れた人が最も多い東南アジアの国はどこでしょうか。

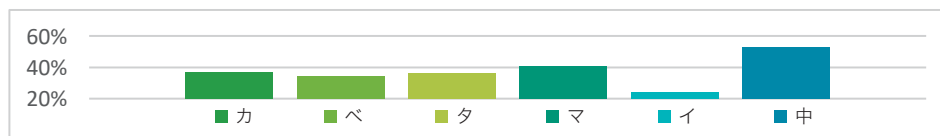
A タイ B インドネシア **C フィリピン**



〈講評〉 2022年度東南アジアから、訪日した人数については、一番目に、マレーシア、二番目にベトナムの正答率が高いことが分かりました。
訪日の人数について、インドネシアとタイは関心を持っていないことが分かりました。

第22問 2023年に調査した日本の島は、何島あるでしょうか。

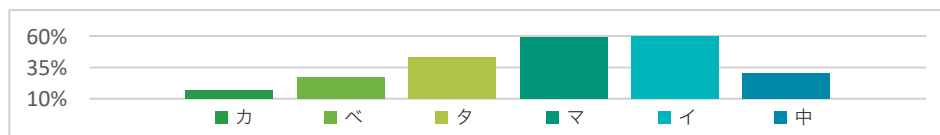
A 7,512 **B 14,125** C 28,215



〈講評〉 2023年の日本の島の数については、一番目に中国、二番目にマレーシアの正答率が高いことが分かりました。
中国の正答率が50%台と一国だけ高いのは、日本と距離が近いことから、日本の地理に興味があるからだと考えられます。インドネシアは、日本の地理について関心が低いことが分かりました。

第23問 アニメ制作・スタジオジブリの作品をモチーフにした「ジブリパーク」があるのはどこでしょうか。

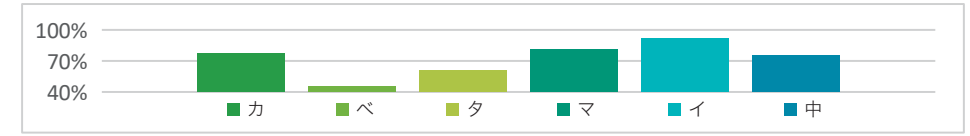
A 愛知県 B 沖縄県 C 京都府



〈講評〉 アニメ制作・スタジオジブリの作品をモチーフにした「ジブリパーク」の所在地については、一番目にインドネシア、二番目にマレーシアの正答率が高いことが分かりました。
日本のアニメ制作・スタジオジブリの作品に関して、インドネシアとマレーシアは、興味を持っていることが分かりました。カンボジアは認知度が低いことが分かりました。

第24問 日本の国花はどれでしょうか。

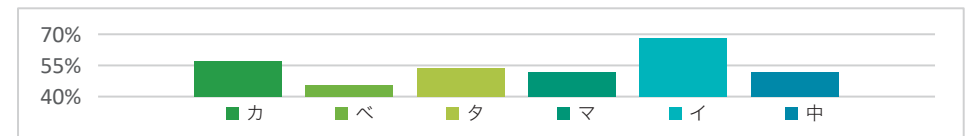
A たんぽぽ **B さくら** C すみれ



〈講評〉 日本の国花「さくら」については、カンボジア・タイ・マレーシア・インドネシア・中国5か国の正答率が60%を超え、高い正答率だということが分かりました。
ベトナムの正答率も40%台と低くないので、「さくら」は、日本のイメージとして浸透していることが分かりました。

第25問 東京のシンボルである東京タワーの高さは何メートルでしょうか。

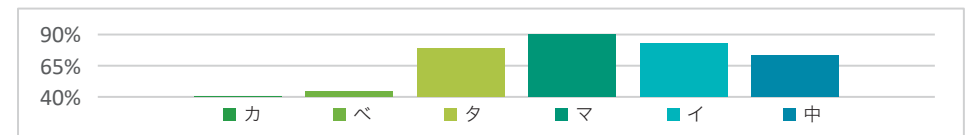
A 111m B 222m **C 333m**



〈講評〉 東京タワーの高さについては、一番目にインドネシア、二番目にカンボジアの正答率が高いことが分かりました。
6か国とも正答率が45%を超えていることから、日本の東京タワーの認知度が高いことが分かりました。

第26問 きつねうどんの「きつね」は何のことでしょうか。

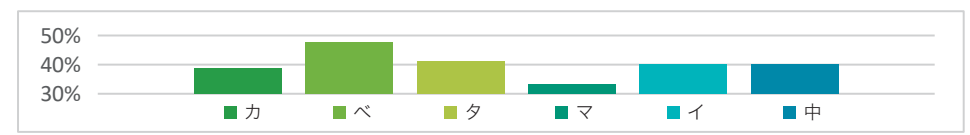
A ねぎ **B あぶらあげ** C てんぷら



〈講評〉 うどんの具材の名称については、一番目にマレーシア、二番目にインドネシア、三番目にタイの正答率が高いことが分かりました。
カンボジアとベトナムの正答率は10%台と低く、日本の食材の名称について、認知度が低いことが分かりました。

第27問 今年で日ASEAN友好協力は何周年でしょうか。

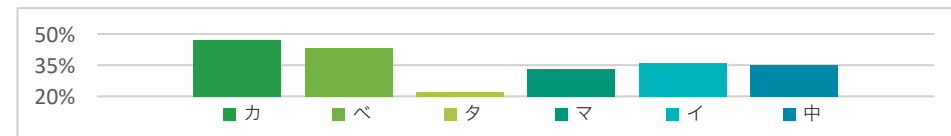
A 40周年 **B 50周年** C 60周年



〈講評〉 日ASEAN友好協力については、一番目にベトナムの正答率が高いことが分かりました。
マレーシアの正答率が低く、日ASEAN友好協力について国内での認知度が低いことが分かりました。

第28問 東京で最初にオリンピックが開催されたのは、いつでしょうか。

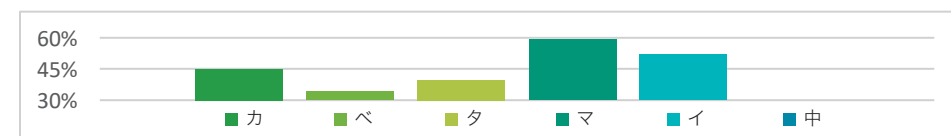
A 2020年 B 1972年 C 1964年



〈講評〉 東京で最初に開催されたオリンピックの年については、一番目にカンボジア、二番目にベトナムの正答率が高いことが分かりました。
タイは、オリンピックの開催年についての関心・認知度が低いことが分かりました。

第29問 NBAで活躍する八村塁選手が所属するチームはどこでしょうか。

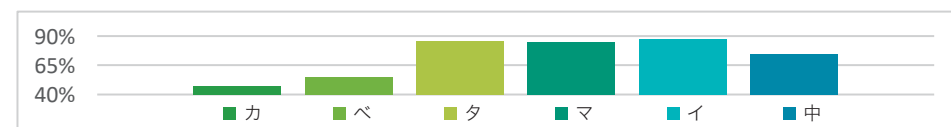
A レイカーズ B セルティック C ナゲッツ



〈講評〉 プロバスケットボール選手「八村塁選手」について、一番目にマレーシア、二番目にインドネシアの正答率が高いことが分かりました。
逆に、中国・ベトナム・タイは、八村塁選手の所属チームについて、関心がないことが分かりました。

第30問 今の日本の元号は何でしょうか。

A 昭和 B 平成 C 令和



〈講評〉 現在の日本の元号について、タイ・マレーシア・インドネシアの正答率が80%台、中国の正答率も70%台を超え、大変理解度が高い問題だということが分かりました。
カンボジアの正答率も40%を超え、どの国にとっても、元号についての認知度が高いことが分かりました。

総評

今回出題した30問は、すべてが聞き取り問題で、昨年1年間で報道された話題に関する問題が8問、日本の文化に関する問題が5問と教科書の知識だけでは得られない分野の時事問題が多くありました。

カンボジアは、問26「ぎつねうどんの「ぎつね」は何のことでしょうか。」が正答率10%台と一番正答率が低い問題でした。

それに対して、問24「日本の国花はどれでしょうか。」が正答率75%超えと、一番正答率が高い問題でした。

ベトナムは、問26「ぎつねうどんの「ぎつね」は何のことでしょうか。」がカンボジアと同じく正答率10%台と低く、一番正答率が低い問題でした。

それに対して、問10「日本の主要な国際空港の一つで、大阪府にあるのはどれでしょうか。」は、正答率が60%を超え、一番正答率が高い問題でした。

タイは、問13「日本の成人年齢は何歳でしょうか。」の正答率が20%に達せず、一番正答率が低い問題

でした。

それに対して、問30「今の日本の元号は何でしょうか。」が、正答率が85%を超え、一番正答率が高い問題でした。

マレーシアは、問15「5月19日から、G7サミットが日本で開催された都市はどこでしょうか。」の正答率が10%台と一番正答率が低い問題でした。

問30「今の日本の元号は何でしょうか。」が、タイと同じく正答率が85%を超え、一番正答率が高い問題でした。

インドネシアは、問13「日本の成人年齢は何歳でしょうか。」がタイと同じく正答率が10%を切り、一番正答率が低い問題でした。

それに対して、問24「日本の国花はどれでしょうか。」が、正答率が90%を超え、一番正答率が高い問題でした。

中国は、問2「奈良県にある聖徳太子が造った、木の建物で、世界で最も古い建物はなんでしょうか。」が正答率20%台と一番正答率が低い問題でした。

中国は正答率が高い問題が2問ありました。1問目は、問24「日本の国花はどれでしょうか。」の正答率75%が、カンボジアと同じく一番正答率が高い問題となりました。問30「今の日本の元号は何でしょうか。」も、正答率が75%とタイとインドネシアと同じく一番正答率が高い問題でした。



カンボジア・プノンペンでの予選会の様子



ベトナム・ホーチミンでの予選会の様子



タイ・バンコクでの予選会の様子



マレーシア・クアラルンプールでの予選会の様子



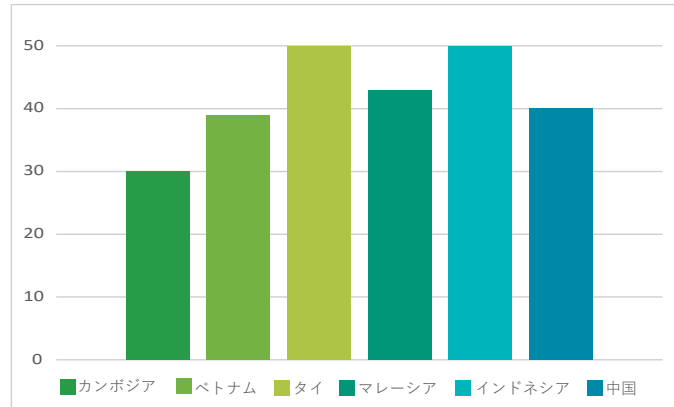
インドネシア・ジャカルタでの予選会の様子



中国・成都での予選会の様子

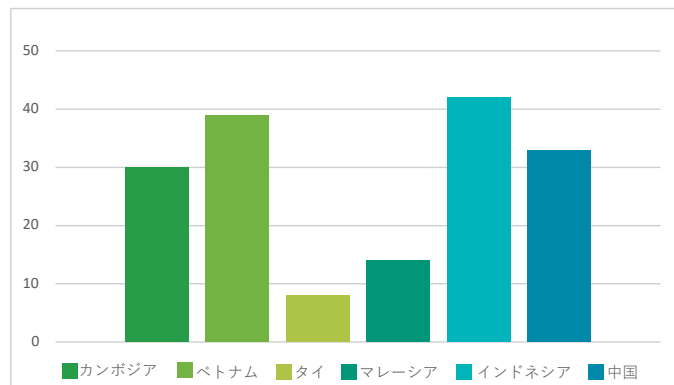
2023年度「日本語体験コンテスト」本選会（6か国） /スピーチテーマ選択比較

テーマ1 好きな日本語の言葉は何ですか？ その理由を話してください。



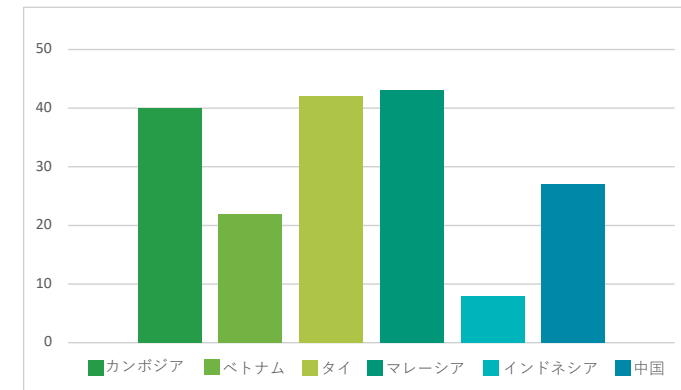
〈講評〉 テーマ1 [好きな日本語の言葉は何ですか？その理由を話してください] を選択した人数が一番多かったのは、タイとインドネシアでした。タイとインドネシアに関しては、予選通過者の半数がテーマ1を選択しています。さらに6か國中、5か国で約40%前後の参加者が選択していることから参加者にとって、比較的選択しやすい、話しやすいテーマだということが考えられます。

テーマ2 日本に留学して学びたい分野は何ですか？ その理由を話してください。



〈講評〉 テーマ2 [日本に留学して学びたい分野は何ですか？その理由を話してください] を選択した人数が一番多かったのはインドネシアでした。二番目に多かったのはベトナムの参加者でした。一方で、タイとマレーシアの参加者は、テーマ2を選ぶ人が少ないことが分かりました。「日本で学びたい分野」というテーマを自身の日本語のレベルで、言いたいことをまとめ、具体的に話すには5分間のシンキングタイムで考えることが難しいテーマであったと推測されます。一方で、タイはテーマ2を選択した人が最も少ない結果となりました。

テーマ3 日本で観光するなら、どこに行っておきたいですか？



〈講評〉 テーマ3 [日本で観光するなら、どこに行っておきたいですか？] を選択した人数が一番多かったのはマレーシアでした。タイとカンボジアも約40%の参加者が選択しており、6か國中3か国の参加者の約40%が選択していることから、このテーマも参加者にとって話しやすいテーマだったと考えられます。一方で、インドネシアではテーマ3を選択した人が最も少ない結果となりました。



カンボジア・プノンペンでの本選会の様子



ベトナム・ホーチミンでの本選会の様子



タイ・バンコクでの本選会の様子



マレーシア・クアラルンプールでの本選会の様子



インドネシア・ジャカルタでの本選会の様子



中国・成都での本選会の様子

2023年度夢・日本体験旅行

6か国実施報告

企画・運営 一般財団法人 共立国際交流奨学財団

開催日程 2023年12月9日(土)～16日(土)



2023年12月10日(日)～17日(日)



参加者 34名

第11回「日本語体験コンテスト in プノンペン」 入賞者5名、引率者1名
 第16回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」 入賞者5名、引率者1名
 第11回「日本語体験コンテスト in バンコク」 入賞者5名、引率者1名
 第9回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」 入賞者4名、引率者1名
 第10回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」 入賞者4名、引率者1名
 第21回「日本語体験コンテスト in 成都」 入賞者5名、引率者1名

概要

当財団では2023年度、カンボジア王国、ベトナム社会主義共和国、タイ王国、マレーシア、インドネシア共和国、中華人民共和国の日本語学習者を対象とした、日本語体験コンテスト(予選会：日本の地理・歴史・政治・文化・スポーツなどについての聞き取り問題30問。本選会：スピーチコンテストを行い、入賞者を決定)を開催いたしました。

6か国のコンテスト入賞者と引率者合計34名が、入賞賞品「夢・日本体験旅行」として、2023年12月9日(土)～12月17日(日)まで来日し、日本の大学を見学したり、日光、富士山を訪れたりして、日本の文化や生活を体験しました。

この旅行を通して、日本留学や日本への理解をますます深めてくれることを願っております。



12月11日 財団表敬訪問



参加者名簿



【中華人民共和国】

	氏名	フリガナ	所属
1	吴 怡璇	ゴ イセン	成都理工大学
2	袁 月	エン ゲツ	電子科技大学
3	艾 玲	ガイ レイ	電子科技大学
4	胡 家軒	コ カケン	成都外国語学校
5	趙 莫林	チョウ バクリン	成都外国語学校
6	【引率者】 鍾 玲	ショウ レイ	成都大原日本語学校



【カンボジア王国】

	氏名	フリガナ	所属
1	ENG ANGKIABOTH	エイン アンキアボット	王立プノンベン大学
2	TAI PHALIT	タイ パリット	HIRAYAMA Co.,Ltd
3	MAI YAT	マイ ヤット	国際日本文化学園
4	RIT VIREAK	リット ヴィーラック	王立プノンベン大学
5	PIN SREYNETH	ピン スレイネット	王立プノンベン大学
6	【引率者】 HEM THIDA	ハェム ティダー	光語学スクール



【ベトナム社会主義共和国】

	氏名	フリガナ	所属
1	BUI NGOC BAO HAN	ブイ ゴック パオ ハン	THPT NGUYEN KHUYEN
2	NGUYEN NGOC LUAT PHUONG	グエン ゴック ルアット フォン	大阪YMCA学院
3	MAI HONG PHUC	マイ ホン フック	LE HONG PHONG高等学校
4	TRUONG VAN THONG	チュオン バン トン	Starboard Asia Co.,Ltd
5	TRINH MAN NGHI	チン マン ギー	ベトナム国立大学 ホーチミン市人文社会科学大学
6	【引率者】 NGUYEN THI TRAM ANH	グエン ティー チャム アン	ドンズー日本語学校



【タイ王国】

	氏名	フリガナ	所属
1	SAOWALUK PANTHUMAROJ	サオワラック パントゥマロット	THAMMASAT UNIVERSITY
2	BUACHOMPOO SARABOON	ブアチョムプー サーラーブーン	SILPAKORN UNIVERSITY
3	CHUTIKARN SUTTHISARN	チュティカーン スットティサン	UDONPITTAYANUKOON SCHOOL
4	APITCHAYA PASUSARITTHAKORN	アピッチャヤー パスサリッターコン	THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY
5	CHANTARAKANIT POOPORNANAKE	チャントラカニット プーポーナネーク	MONTFORT ROYAL COLLEGE SECONDARY SECTION
6	【引率者】 TEERAWAT JUENGSA NSUPACHAI	ティエラワット ジュンサンスパチャイ	J-Study Center



【マレーシア】

	氏名	フリガナ	所属
1	NUR NADIA BINTI JASNI	ヌル ナディア ビンティ ジャスニ	BASF Asia-Pacific Service Centre Sdn Bhd
2	AMIRAH HAZWANNI BINTI MD YASIN	アミラー ハズワニー ビンティ モハマド ヤシン	UniKL MICET UNIVERSITY
3	MUHAMMAD MUHAIMIN BIN HAIRUNNIZAM	ムハマド ムハイミン ビン ハイロンニザム	Yamato Transport Malaysia
4	OOI WEN YI	オー ウェン イ	Mapletree Investments Private Limited
5	【引率者】 西尾 亜希子	ニシオ アキコ	A to Z Language centre



【インドネシア共和国】

	氏名	フリガナ	所属
1	FITRIA TAMARA RAMADHITA	フィットリア タマラ ラマディタ	ダルマブルサダ大学
2	ERVINA KUSUMA DEWI	エルピナ クスマ デウィ	PT ONODERA USER RUN INDONESIA
3	JOSUA TAMPUBOLON	ジョシュア タンプボロン	ダルマブルサダ大学
4	AMELIA JASMIN PRAMESTHI	アメリア ジャスミン プラメスティ	大分大学
5	【引率者】 VERAWATI	ヴェラワティ	COACH

◆日程表

日時	時間	カンボジア	時間	インドネシア	時間	ベトナム	時間	タイ	時間	マレーシア	時間	中国	食事
12/9 (土)												09:25 成都発 (3U3961) 15:10 成田空港着 (泊ドメイン PREMIUM 東京小田馬町 ホテル発)	朝:○
12/10 (日)	19:25	ブンベン発 (PG936)							14:15	クアラルンプール発 (NH886)		◆ディズニーランド (TDL) ◆ テーマパーク体験	昼:×
	20:40	バンコク着						22:15	羽田空港着				夜:×
12/11 (月)	06:30	羽田空港着	06:50	羽田空港着	07:00	羽田空港着	06:30	羽田空港着					
	10:00	表敬訪問「東京ガーデンパレス」(10:00~13:00)											昼:○
12/11 (月)	11:00	カンボジア 大使館表敬訪問											
	14:00		14:00	ドメインEXPRESS浅草 発	15:00	インドネシア 大使館表敬訪問	15:00	ベトナム 大使館表敬訪問	15:00	タイ 大使館表敬訪問	15:00	マレーシア 大使館表敬訪問	
12/12 (火)	17:30	ホテル発											夜:○
	22:00	歓迎会「北海道 はなの舞 浅草雷門店」【居酒屋体験】											夜:○
12/12 (火)	10:00	ホテル発											朝:○
	11:30	早稲田大学 訪問(11:30~12:30)【大学体験】										9:30 ホテル発 10:30 中国大使館表敬訪問 15:00 IU訪問 合流	昼:○
12/13 (水)	15:00	情報経営イノベーション専門職大学 訪問 (15:00~16:30)【大学体験】											夜:×
	22:00	点呼											夜:○
12/13 (水)	06:45	ホテル発											朝:○
	09:00	東武鉄道・浅草発											昼:○
12/13 (水)	10:50	東武日光駅着											夜:×
	22:00	点呼											夜:○
12/14 (木)	06:45	ホテル発											朝:○
	09:00	東武鉄道・浅草発											昼:○
12/14 (木)	10:50	東武日光駅着											夜:×
	22:00	点呼											夜:○
12/15 (金)	06:45	ホテル発											朝:○
	09:00	東武鉄道・浅草発											昼:○
12/15 (金)	10:50	東武日光駅着											夜:○
	18:00	送別会「東京ガーデンパレス」											夜:○
12/16 (土)	22:00	点呼											夜:○
	09:00	ホテル発											夜:○
12/16 (土)	09:00	浅草駅発	07:15	浅草駅発	13:50	浅草駅発	08:00	浅草駅発	20:00	舞浜駅発	13:00	浅草駅発	夜:○
	11:05	羽田空港発 (NH847)	08:15	羽田空港着	10:15	羽田空港発 (NH855)	09:00	羽田空港着	00:05	羽田空港発 (NH885)	14:40	成田空港着	夜:○
12/16 (土)	16:20	バンコク発 (TG584)	16:15	ジャカルタ着	16:50	羽田空港発 (NH891)	11:05	羽田空港着	06:45	クアラルンプール着	16:40	成田空港発 (3U3962)	夜:×
	18:25	バンコク着			21:50	ホーチミン着	16:20	バンコク着			21:45	成都着	夜:×
12/17 (日)	19:35	ブンベン着											朝:○
	08:00	浅草駅発	08:15	羽田空港着	13:50	浅草駅発	09:00	浅草駅発	22:00	羽田空港着			夜:○
12/17 (日)	11:05	羽田空港発 (NH847)	10:15	羽田空港発 (NH855)	14:50	羽田空港着	11:05	羽田空港発 (NH847)	06:45	クアラルンプール着			夜:○
	16:20	バンコク発 (TG584)	16:15	ジャカルタ着	16:50	羽田空港発 (NH891)	16:20	バンコク着					夜:×
12/17 (日)	18:25	バンコク着			21:50	ホーチミン着							夜:○
	19:35	ブンベン着											夜:○

参加者課題

参加者の皆さんには課題として、以下の4つのテーマで作文を書いてもらいました。また、引率者には感想を書いてもらいました。

※参加者の文章をそのまま掲載しています。

<設問>

- 12/10(日) ディズニーランドを体験した感想を教えてください。
- 12/12(火) 大使館表敬訪問・大学見学をした感想を教えてください。
- (1) 中華人民共和国大使館教育処 - (2) 情報経営イノベーション専門職大学
- 日程の中の観光・体験で最も印象に残ったのは何ですか？
- 日本体験旅行に参加して、日本を知り、日本留学に興味が変わりましたか？



【中華人民共和国】

ゴ イセン
吴 怡璇 (成都理工大学)

- 前も中国のディズニーランドに行ったことがありますが、今度はもっと日本ならではの景色が見られて楽しかったです。ここはまるで子供の時の自分と繋げて夢みたいな体験でした♡。
- (1) 大使館へ行って最初は自己紹介をしました。そして、大使館の人はそれぞれ違った経験によっていろいろなアドバイスをくれました。最も印象深いのは大使館の外交官が言ってくれた六文字です。それは「楽観」「自律」と「善良」です。彼らの人生の経験を聞いた後、私も自分将来の進路について考え直しました。やはり私はずっと日本に関わりたいと思います。自分のささいな力でも、中日友好交流に貢献したいと私は考えています。
- (2) 最初IUという専門職大学がしたプレゼンを聞いた後、その就職率と充実な設備に驚きました。IUは多岐の業界と連携し、学生たちに豊かな創造力を融合させたりする能力を身につけられることに感心しました。見学する時、そこに通っている学生たちの勉強ぶりを見ていいなあって思いました。実はこれまでこういう学校の存在は知りませんでした。今回の機会を通じて、いろいろ勉強となりました!
- 実は私にとって、最も印象に残ったのはディズニーランドでも富士山でもなく、12月11日の夜の居酒屋体験でした。なぜかという、最初私が日本に来た後、ちょっと心配でした。でも引率者の方と別の国の方と交流した後、みんな優しい人って思ってなんかリラックスできるようになりました。また、くまさんから暖かい思いを感じてすごく感動しました。
- 今度の旅行を通して、私も将来日本で働きたいという考え方があります。日本って、知るほどすばらしくなると思います。



エン ゲツ
袁 月 (電子科技大学)

- たのしかったです! 天気は大変晴れてます。建物はめちゃくちゃきれいで、たくさん写真を撮りました。しかし、ちょっと残念なこととして、すごく列が長いので、あまり多くの施設は利用できなかったです。
- (1) 大使館の駐在員さんたちはとても親切でやさしい人です。私たちへ自分の大学生活とか、日本語を勉強するおもしろい思い出とかを話しました。日本語は彼たちの人生を変すとも言えます。そして、駐在員さんは自分の人生体験から、私たちに「自律、楽観、善良」という六つの字をくれました。これからも、日本語の勉強だけでなく、ほかのこともどんどん勉強しつつ、より高いものを目指して努力しようとするめられました。彼たちの話をこころに刻んでいます。
- (2) IU大学は私たち中国の多くの大学と違って、キャンパスは学校より、一つのビル見たいです。専門職大学なので、創業している人が多いそうです。それはとてもよかったと思いました。伝統的な大学は、知識型の人材を育てるのは目標としています。その結果、学生さんは卒業後、時間をかけて職場に要する技能を独学しなければなりません。しかし、専門職大学のように、最初から、社会人、あるいはビジネスマンを目指して育てるのはいいと思っています。
- 最も印象に残ったのはスカイツリーです。とても高くてきれいなタワーです。遠くからも見えます。夜はごしょくのライトがついていて、たぶん灰色あるいは銀色のタワーだと思って、昼の時を見ると、真っ白です。一日の違う時間で見れば、違う異なる風景を味えるのはすばらしいです。
- はい、私は日本の食文化にもっと興味が変わりました。もし機会があれば、もっと別種類の日本料理を食べてみたいです。このあとも、機会があれば、日本へもっと長く住んでみたいです。



ガイ レイ
艾 玲 (電子科技大学)

- 東京ディズニーランドが初めてで、楽しみにしています。日曜日は人々が多く、列がたくさん並んでいました。子供の時代へ戻ったような感じがしました。ぜひもう一回行きたいと思っています。
- (1) 中国大使がいろいろ貴重なアドバイスしてくださいました。印象に残ったのは「楽観」「自律」「善良」という六つの字をくれたのです。人生の交差点に立っている私にとって、いろいろ勉強になりました。未来に対して、「楽観」で、自分に対して、「自律」で、他人に対して、「善良」で、これらの宝物を持っていれば、人生が進んでいきますように。そして、今頃は日本語だけでなく、ほかの専門も学んでいきたいと思っています。
- (2) iuという専門職大学は体系化し、キャンパスもきれいです。スカイツリーを見ることもできました。特に、iuで勉強する学生は有名な会社へインターシップ参加することはできるのはすばらしいです。もし機会があれば、この大学で勉強していきたいと思っています。でも、私はもう中国で修士勉強をしています。残念ですね。もし友達が日本へ留学したいなら、この大学をすすめますよ。
- 日光での旅行です。二荒山神社は代表的な神社で、日本ならではの文化をあらわしていました。本当に

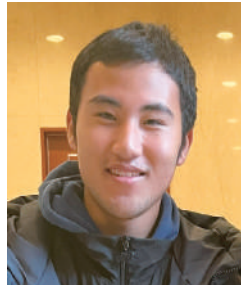


すばらしかった。木が盛れていて、みずもきれいでした。そして、日本の歴史や文化を体験することができたのは一番だと思います。

- ④ 日本へ行く前に、日本料理がまずいと思ったが、本当に食べてみれば、とてもおいしかったです！一蘭ラーメンや天ぷら、牛かつなど、とてもとてもおいしかったです。日本体験旅行を通じて、日本をもっと知りました。そして、日本留学に興味もわきました。

コカケン
胡家軒 (成都外国語学校)

- ① 疲れたが楽しい、みんなと一緒に色々な体験ができて、それにシンデレラーのキャストが美しい、まるでお伽話の中のように。
- ②-(1) 中国からの大使さんと直接会話できて、本当に嬉しかった。大使さんと話し合えて、高校生に過ぎない私にとっては、自分の経歴を深める絶好なチャンスであった。大使さんとの対話の中から、私は大きい収穫がもらえました。大使さんの言葉から、私が人生の選択とか人の価値観など色々なことが教わって、本当に忘れられない体験でもあり、人生の授業にもなりました。
- ②-(2) iuの訪問は、私が今まで、見たことのない新世界のドアを開いてくれた、何故かと言うと、私が中国で受けた教育の考えでは、専門職大学は格差がある、別の大学に比べもなれない存在である。しかし今回の体験では、起業している学生たちを見て、本当におどろきました、自分かこれまで持っていた考えは違ったと。
- ③ 一番印象深かったのは大分日光ですね、デズニールランドなどもよかったけど、やはり私が一番気にするのは古びた物ね、こう言うのは何か時間の足跡とか、歴史の染みなどがあって、私の目も心も引きついている。
- ④ 日本体験旅行の間、私は本当に日本への興味が一段深まりました、大阪へ行ったことがあります、違った日本を体験して、私は「もっと日本を知りたい!」と、心の中から芽生えて来ます。



チョウバクリン
趙莫林 (成都外国語学校)

- ① 人は多かったが、とても面白かったです。多くのイベントは想像豊かで、私達観光者を美しく完璧な世界を吸い込まれました。
- ②-(1) 大使は親切で、みずから私達を接見した。それに、私達の問題を一つ一つ詳しく教えてくれました。大使さんも先輩としていろいろなアドバイスを言ってくれて、一番印象深いのは三つの単語：善良、自律と責任。もっと深く考えれば、この三つの単語は人生の妙を含んでいる、「自律」はよりいい自分をつくる、「善良」はよりいい社会を作って、「責任」はよりいい人間関係をつくるそうです。今後私もこの三つの単語を信条をしてもっと頑張って生きています。
- ②-(2) その専門大学はITについての人才を培うつもりで、この時代の要求を応じています。それに、このiuで勉強している学生は15%は外国からの留学生で、理系の方面はいい一方で、文系で文化の交流もできます。iuの学生の一部の人でも自分で自分の会社を作って働いています、その時学長からの補助



も受けられます。本当にヒューマンスケールです。

- ③ 一番印象深いのはやはり富士山へ行ってスキーをすることです。白い雪ときれいな虹とあいまって、美しい風景になってきました。富士山までちょっと遠いですがけれども、途中で色々な景色を見ました。
- ④ もちろん、他の国からの学生と一緒に一つの外国語(日本語)で交流するのは魅力的です。日本語の勉強の深めと伴に、日本の文化にもだんだんきょう味を持ってきました。チャンスがあれば、ぜひ日本に留学して来る。

ショウレイ
引率者 鍾玲 (成都大原日本語学校)

コロナ禍後、4年ぶりの日本でした。今回、フライトの関係で、他の国の日程とは違い、9日～16日の旅でした。財団の皆様がご丁寧に最後までお付き添いくださり、心より感謝申し上げます。

まずは宿泊ですが、ドリーミンEXPRESS浅草でした。隅田川に面して、浅草寺とスカイスリーのすぐ隣にあり、観光にとってもいい所です。

今回のスケジュールですが、ディズニーランドをはじめ、東照宮、富士山など、素晴らしい体験をしました。到着して次の日、早速夢の国ディズニーランド体験。園内の雰囲気は非常に楽しく、アトラクションや美味しい食事、心から幸せな時間を過ごすことができました。

3日目は5か国の皆さんと合流し、歓迎会で北海道の料理を楽しみながら盛り上がっていました。中国チームが5か国と一緒に行動するのは、成都でコンテストを開催して以来初めてです。他の国の日本語学習者といっばい交流ができて非常に楽しかったです。

その次の日、中国の大使館と情報経営イノベーション専門職大学を訪問しました。大使との深い交流や大学の見学、どれも親切で温かい歓迎を受けました。

その後、東照宮では日本の歴史と文化に触れ、神聖な雰囲気に包まれました。歴史的な建物や美しい庭園は、日本の伝統を感じさせ、心静かに過ごすことができました。

そして自由プランの日、中国の参加者たちは行きたい場所をリストアップし、東京大学・渋谷・原宿を満喫してきました。

最後の日、バス旅行で富士山へ行きました。残念なことに、ひどい霧と雨の中、富士山の絶景を見られませんでした。

これらの体験を通じて、日本の多様性や美しさ、そしておもてなしの心に触れ、心に残る旅となりました。



12月12日 大使館訪問



12月14日 自由行動・浅草寺

<設問>

- ① 12/11 (月) 大使館表敬訪問の感想を教えてください。
- ② 12/12 (火) 大学見学をした感想を教えてください。
- (1) 早稲田大学 - (2) 情報経営イノベーション専門職大学
- ③ 日程の中の観光・体験で最も印象に残ったのは何ですか？
- ④ 日本体験旅行に参加して、日本を知り、日本留学に興味がわきましたか？



【カンボジア王国】

 エン アン キ ボ ッ ト
 ENG ANGIABOTH (王立プノンベン大学)

- ① とても設備が完璧に設置してカンボジアっぽい感じで、日本にいてもカンボジアにいる気がする。
- ②-(1) 早稲田大学は日本の大きくてまた人気がある学校の一つです。たてものがたくさんあってきれいな木が道の間に並んであってドラマのようです。それだけではなく、教育システムもとてもよいです。
- ②-(2) 情報経営イノベーション専門職大学は小さくても、教室ははっきりわかれて私にとってはいい雰囲気になってみんなの学年とか学問とかがちがってもみんな知りあい、特に仲よくなりそうです。また、屋上は学生に禁止だけど、そこから東京スカイツリーがはっきり見えてとてもすばらしかったです。
- ③ 最も印象に残ったのは別の国からのみなさんに会えることです。みんなやさしくて話し合いとき文法的にあってるかどうか気にせずみんなやさしく直し合ったり、みんなと笑ったりすることができてこれ永遠に印象に残ったこととなります。
- ④ 私はもう交換留学生として日本に行くことにしたけど、日本体験旅行に参加してから、もっときょうみがわきました。


 タイ バ リ ッ ト
 TAI PHALIT (HIRAYAMA Co.,Ltd)

- ① カンボジアの大使館に行くことや大使館に入るの、私にとっては初めてである。又は大使に会えるのは本当に嬉しいと感じました。同時に大使から良いアドバイスを頂きまして、私をもっと頑張って勉強すると約束する。又大使館に行きたいである。
- ②-(1) この大学に着いた時は私がとても感動しました。なぜなら大学のキャンパスが広くて、綺麗で、生徒も多かったからである。その時、大学履歴の図書館のようなビルを訪問したり、案内する人から面白いことの説明を聞いた時、私の心の底に素晴らしいと感じさせました。それにこの建物の中で見学する時には大きなホールへ行きました。あそこで大きくて、席も沢山並んであって、ステージの後ろの壁がめっちゃくちゃ面白いと感じ



じました。つまりこの壁は普通の壁とぜんぜん同じじゃないである。例えば、手を光を通ると、沢山手の影が見られました。それに、ここでは大きな時計も有って、本当に素晴らしいと思う。又はこちらの見学終わってから、大学の名ビルを見学続きました。早稲田大学の名ビルは大きくて、広くて、色も面白らしくて、建物の中の雰囲気も良かったである。それ以上、大学の名ビルには食堂があって、トレイがあって、図書館もあって、エスカレーターもあるから、学生達にとっても便利だと思う。というわけで、私をいつかチャンスがあればぜひこの大学で留学することをもたらしました。

- ②-(2) この大学は二番目の見学に行った所である。訪問したによって面白かったこと、魅力することも沢山ありました。とりあえず、この大学の一階と言えば、美術館があって、見たことがない絵を目に入れた、それらの絵はとても綺麗で、素晴らしいと思います。又はこれらの絵は高いと言われた言葉を耳にした際に、本当にすごいと思いました。その中で、一つの絵が買われたらしいである。その後は大学のホールに行きました。あちらで大学の先生と3人の学生から大学のプロセスやそれぞれの研究しているものを簡単に説明してくれました。この素晴らしい説明を聞いた後、良い学ぶことになると思いました。なぜかという、説明会によって、大学の長い目、大学の教育コース、生徒に学習させる目的、卒業学生の成果などが分かってきました。非常に面白く感じました。次は大学の屋上へ行きました。屋上から素晴らしい景色が見えました。特に、東京スカイツリーが見えることである。最後に、大学のスタッフから名部屋を案内してくれました。例えば、大学の食堂とか、研空屋とか、図書館とかあります。この大学良いと思うから、チャンスがあったら、留学したいです。
- ③ この所は自然な観光で、日本の履歴的な観光だと思えます。この地域には山が沢山あって、緑も多いである。道を歩く時、体に触った風が涼しいと感じました。山の奥に入って歩くと、ちょっと寒く感じました。けれども、道の脇で緑が多くて、木もたくさんあるから、その美しさや素晴らしさと楽しめます。一方で、日程は履歴的な所と言える。つまり、ここは古い寺や古神社などがあります。又はその古い寺に入ると、素晴らし寝る猫という彫刻を目に入ったり、お祈る所を見たり、特に日本風という寺を直接に見られるのは本当に感動しました。あそここのうんとか、もちというおかしなど食べたことにはとても嬉しい、またあそこにもういち行きである。
- ④ 今回のプログラムによると、私を非常に日本に興味深くなっています。特に日本に留学したいもたりました。今回の日本体験旅行が短いので、まだ見ない所やまだ行かない所もたくさんあると思うわけで、又次回のチャンスがあったら、もういちど旅行したいと思えます。一方で、日本人と言えば、本当に優しく、周りの人におもいやりがあって、とてもそんけいと感じます。それに、日本は道までゴミがないほどきれいな国を目の前に見ました。というわけで、私を日本がすぎにさせます。又日本に来たいなー。



12月11日 自由行動・うどん屋



12月12日 電車移動

マイ ヤット
MAI YAT (国際日本文化学園)

- ① きんちょうしました。はじめの日ですから。もっとがんばりたいなおもっています。
- ②-(1) 日本語の大学はとてもきれいでした。カンボジアとぜんぜんちがいます。みんなかっこいいでした。日本の大学にべんきょうしたいです。
- ②-(2) いいがっこうだとおもいます。チャンスがあったらあそこでべんきょうしたいです。いろんなことを聞いてきょうみがあります。
- ③ いちばんたのしいのはじゆうの日でした。はじめてうみへ行きましたから。いっぱいおかしをかいました。あさくさのちかくにさんぽして、おみやげをさかしました。
- ④ はい、もっと日本をがんばってべんきょうしたいです。もっとがんばってみんなといっしょにはなしたいです。こんど私の日本語はまだまだだめですから。くにへかえってがんばってりゅうがくしたいです。



リット ヴィーラック
RIT VIREAK (王立プノンベン大学)

- ① 日本でのカンボジア体使とカンボジア人みんなに会えるのは本当に感動しました。そのときカンボジア体使にいいアドバイスをもらいました。日本語を最頑張って勉強してくださいと言いました。
- ②-(1) 早稲田大学を見学するとき、3年生のあすかさんから対応してくれるし、大学を詳しく案内してくれるし、心が暖いと感じました。あちらの大学は古くい大学なので、生徒が多くて、有名な大学だそうです。特に大学の景色がきれいです。きの葉っぱが金色になりました。とても美しいです。そんな景色はカンボジアにはあまりありません。しかも、大学のホールは素晴らしいです。大きいし、かべの前に立ってば、たくさんの陰が出ます。本当に偉いです。
- ②-(2) IUを見学すること、私にとっては面白いでした。大学のスターフに暖い対応してもらいました。そして、学校の各専門を案内されました。すべて面白い専門でした。たとへば、アニメとか、AIなど、私にはその専門が非営にきょうみがあります。チャンスがあればIU大学で留学したいです。ところか、大学の屋上美しい景色が見えます。特に東京スカイツリーです。ここで写真がたくさんとりました。
- ③ 最も印象に残ったのは景色です。あちらは山がたくさんありますし、本がいっぱいです。そのうえ、お寺はきれいです。特にちょうこくがとても面白いです。しかも、お寺のまわりには本がとても大きいです。そんな大きい本が見たことがありません。
- ④ 日本は先進国ですから、技術が高いです。トイレでも技術が高いです。はっきり日本の教育は良いです。日本へ留学するいえば、私にとっては非常に留学したいです。



ピン スレイネット
PIN SREYNETH (王立プノンベン大学)

- ① 駐日カンボジア大使に会うとき、とても驚きました。特にわたしたちにいいアドバイスを言いました。
- ②-(1) いい準備し、新しい技術が多いし、大学の校庭も広いでした。大学の中に入りったとき、気持ちがよかった。スタッフもくわしい案内あるし、親切だし、大学の色もきれいだとおもいました。こんな有名な大学はしょうらいにはチャンスがあったらそこで勉強したいと思います。
- ②-(2) IU大学にはとてもおもしろい大学です。スタッフもやさしいし、くわしい案内し、とくに留学生にしょうがくきんあります。そして、たくさん部屋があるので、学生たちはそこで自分で勉強されるといろいろなことできます。
- ③ ふじさんに行ったときでした。でも、そのときずっと雨がふりました。それでも、こんど日本に来るとき、もう一回そこへ行ききたいだ。それに、たくさんいいけしきの写真をとります。
- ④ この旅行にさんかしたあと、日本に留学にきょうみがありました。ですから、くわしい日本を知りたいと もっと日本語が上手になりたいだ。



ハテム ティダー
【引率者】HEM THIDA (光語学スクール)

カンボジア引率者の光語学スクールのティダーと申します。初めて体験旅行に引率者として参加しており、7年ぶりの日本ですので何より嬉しかったです。今回の体験旅行は歓迎会と送別会の時、各国の参加者が交流できる機会があつてよかったと思いました。別々の国の人と集まって日本語で会話することは自分の国ではなかなかないチャンスです。日本語でしか話すことができない状況だったので皆が勇気をもって積極的に会話が出来ていました。

今回は日本のカンボジア大使館、東京市内、日光なども行き、大使館の人がいろんなアドバイスをくれて勉強と将来のことについていいモチベーションになりました。実際の日本人の生活の様子と文化などを体験出来ていい勉強にもなりました。自由行動もありまして自分の行きたい場所へ行けたり、カンボジアで体験できないことが出来たりしましたので大満足です。

あと、早稲田大学とIU大学を見学出来てとてもよかったです。日本に留学出来るために自分の日本語能力レベルがまだまだ足りなくてこれから何倍も頑張らないといけないことを理解したようです。今回の旅行から体験したことを参考として将来日本に留学したい人と日本に仕事をしようを思っている人達にとっても役に立つと思っております。旅行の日程表を上手に設定して頂き、1週間の旅行を満足して過ごしました。





【ベトナム社会主義共和国】

ブイゴックバオハン (THPT NGUYEN KHUYEN)

- 1 私はもっとベトナムと日本の関係を理解して、大使館の仕事を知ってこれはとくべつで、人生でまたできないかもしれません。とてもよかったです。
- 2-(1) 早稲田大学の光景はうつくしくて、イチョウは真っ黄色でした。さらに大学の歴史や大学の建築を分かることはいつもいちばんたのしいです。もっともっと日本の大切な人やもっと新しい事を知って、その体験は私にわすられない思い出、楽しい旅でおもしろい日になりました。ありがとうございます。
- 2-(2) 大学の皆さんはとても親切で私にもっとよい事をおしえてもらったおかげで、私は私の未来とかにかんがえて、何にするかちゃんと自分にはっきりしたい事ができました。そして大学からSkytreeが見えるね、たくさん写真を撮って、皆さんといっしょにかんこうすることはとても楽しかったんです。ありがとうございます。
- 3 私にとってはしずやです。なぜかというとしずやはたくさん人が込んでいて、とくに外国人です。東京はどこにいても外国人が見えますがやはりしずやは一番多いです。そのおかげで私日本、東京に着いたということかんじました。自分の夢がかなえましたということ感じました。
- 4 はい、ありました。私はもっと日本の文化や日本人、日本のこと知りたくなりました。そして国にかえたら一生懸命勉強していつか日本にもどれるきかいをつくります。この旅のおかげでもっと日本が好きになりました。



グエンゴックルアットフオン (大阪YMCA学院)

- 1 今日、私はベトナム大使館へはじめて行きました。そこは大きくて、景観がきれいです。そこで、私たちはベトナム大使館のれきしについてくわしく学びました。
- 2-(1) 今日、私は早稲田大学を見学しました。そこで、私たちは大学のれきしを学んで、昼ごはんを食しました。それに、私たちは大学周辺の場所を紹介してもらいました。私はたのしかったです。
- 2-(2) 学校のせつびは近代的です。先生は楽しくてねっしんです。ゴミから作られたせいひんもあります。そこで私たちは多くの新しいことをまなびました。
- 3 私にとって体馬で最も印象にのこったのは富士山に登ることです。
- 4 今、私は日本留学にきょうみがわいています。私は大阪YMCA日本語学校で勉強しています。こんどのたいけんのおかげで他の大学について知ることができました。



マイホンフック (LE HONG PHONG高等学校)

- 1 ベトナム大使館を訪問した後、大使館の仕組とその重要性について分かりました。
- 2-(1) 大学見学日はとてもきれいな日です。イチョウの木もたくさんあります。ガイトの人はとても熱心でユーモアたっぷり、学校の歴史について述べてくれたり、私達の質問にも答えくれました。キャンパスも非常に素晴らしいです。
- 2-(2) イノベーション専門職大学は色々な面白いことがあります。大学のカリキュラムは非常にユニークで新しいものです。大学生も熱心でかわいいです。また、大学の展示特にうんこから作られた豚が大好きです。
- 3 最も印象に残ったのは皆色々私達助けてくれました。雨が降っても、晴れても、私達に日本で最高の経験をさせました。そのことにとても感謝しています。
- 4 はい、もちろんです。将来、日本に留学したと思います。それは、今から一生命懸命頑張っています。



チュオンバントロン (Starboard Asia Co.,Ltd)

- 1 4年間働いているHuong (フン)先輩と話したところ、日本でのベトナム大使館のことが分かるようになりました。大変な仕事ですが彼女が毎日頑張りました。
- 2-(1) 早稲田大学は思ったより広いです。建築は本当に立派で昔から現代の風のように建てられて素晴らしいです。そして、優しい案内大学生に詳しく説明してもらったところ、早稲田大学の歴史に心をひかれました。この旅のおかげで、日本の大学がどのようなイメージが納得できました。
- 2-(2) 留学ための情報ができました。実習についての考えを変えさせられました。
- 3 最も印象に残ったのは日本人の体力です。案内してくださった人たちは、乗り換えるために続いて長い距離を移行しても、顔に疲れも表れないからです。それだけでなく、歩く速度も速いです。
- 4 日本体験旅行に参加したら、日本生活をもっと長い時間過ごしたいと思うようになりました。



チンマンギョー (ベトナム国立大学ホーチミン市人文社会科学大学)

- 1 大使館までの道を歩く時、いろいろな景色が見られて、東京も以外に静かなところもあるんだと思いました。在日本ベトナム大使館のことを学べて嬉しいです。
- 2-(1) 早稲田大学のこととはよく聞いていましたが、実際に行ってみると思ったより立派な学校でした。どんな分野を教えているのか理解できてすごいと思います。自分の大学も政治家、国の首相にもなった卒業生がいるので、少し早稲田大学との繋がりが感じられました。特別に時計塔や会場を見学させて



いただき、うれしく思います。

- ②- (2) 起業のことについて思ったことがなかったので、学生さんの「自分の会社を立てたい」という気持ちに、すごいなと思いました。みなさんの社会に貢献できるプロジェクト、プログラムをしている姿を見て、私もベトナムに、特に住んでいるホーチミン市に少しずつ何かをやっていきたいと思います。屋上の景色もすごくきれいでした。
- ③ 金属で葺かれた神社の屋根です。日差しが当たって、キラキラしていたからです。すてきな景色でした。
- ④ はい、大学生であるうちに、一度でも留学してみたいです。また、旅行するなら、今度は関西の方に行ってみたいです。そして北海道も！

【引率者】 NGUYEN THI TRAM ANH (ドンズー日本語学校)

今回の日本体験旅行に同行させていただきありがとうございました。参加者の皆様は日光東照宮をはじめとした様々な場所へ足を運ぶことができたり、本格的な日本料理や日本での暮らしの雰囲気が味わえたりして、日本はどんな国なのか、肌で感じられたと思います。

私は今まで学んだ日本語で恐れずにコミュニケーションをとった皆様の一生懸命な姿を見て、本当に感動しました。あこがれていた日本で日本語で話して他の国の人の友だちが作れるということは何より素晴らしいことなのではないかと思います。また、参加者の皆様からは、「日本人は本当に優しい」「ぜひ日本に留学できるように頑張る」などの感想も寄せられています。

たった七日間ではありましたが、素敵な参加者と出会うことができたことに感謝するとともに、一緒に貴重な体験をすることができたことを本当にうれしく思います。

この日本体験旅行がきっかけで、このような日本とのふれあいや国籍の違う人と過ごした時間が、今後、日本と参加者の皆様の将来をより良くしていくものになることを願います。



12月14日 自由行動・浅草寺



12月15日 Yeti・雪体験



【タイ王国】

SAOWALUK PANTHUMAROJ (THAMMASAT UNIVERSITY)

- ① 皆さんは優しく歓迎していただいたし、外交仕事についてのアドバイスもいただき、貴重な経験となりました。将来にタイと日本のつながりに関係ある仕事を働きたいと思っています。
- ②- (1) 学問：幅広い領域の学問があり、学びと共に自分らしく大学生活ができる大学と感じました。場所：大学全体が綺麗だし、交通も便利だし、特別な場所へのアクセスもでき、とてもありがたいと思います。ガイドさん：説明は面白くてわかりやすく、大学の歴史や特徴が理解できました。
- ②- (2) 学問：先端技術と経営手法は充実している大学だと思います。場所：大学の建物と建物内は格好良く、学びの場としての魅力を感じました。その他：大学の講座に興味があるため、海外でオンライン勉強が可能な講座を期待しています。
- ③ 皆さんと異文化交流ができ、タイの皆さんと一緒に観光スポットを訪れ、楽しい時間を過ごすことができました。
- ④ チャンスがあれば、留学したいし、日本とタイに関連する仕事も働きたいです。



BUACHOMPOO SARABOON (SILPAKORN UNIVERSITY)

- ① とてもきれいな建物です。すごくあたたかくかんげいをもらいました。
- ②- (1) 学内の建物や像などのものはどれもちゃんと考えられて作られました。たとえば、大隈記念講堂は昔と今の技術があるのに違和感がありませんでした。像もどの高さでどのりゆうで作るのもちゃんと考えました。
- ②- (2) 新しい学校だから学生が少ないです。だが、必要な設備が揃いました。
- ③ 日光の神社に行く道です。町はとてもきれいで、道も歩きやすかったです。山に登っていると思わなかった。大きい木にかこまれたのも、すごくいいです
- ④ はい。とくに、日本鉄道です。いつも使いましたが、とてもふくさつで、今は自分で使いません。なので、もっとしりたいです。



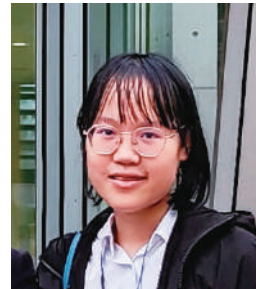
チュティカーン スットティサン
CHUTIKARN SUTTHISARN (UDONPITTAYANUKOON SCHOOL)

- 1 大使館で外交官と意見を交換して、外交官からいろいろなことを教えていただきとても良い経験になりました。この経験ができるのはK.I.Fのおかげです。今はやる気がいっぱいもらってた。
- 2-(1) 早稲田大学はとても大きくて美しい大学とおもいます。大学生が5万人いると言われたときはとても驚きました。また、大学の交換留学で外国人もたくさん来ていて興味を持ちました。留学生へのサポートがとても充実している大学だとおもいます。大学を卒業して日本の重要人物になる人もいます、本当にすごいです。
- 2-(2) 通常、タイでは専門大学はあまり人気がありませんが、ここは素晴らしい専門大学で、生徒たちの発表を聞いていると、みんなの意図が伝わってきます。
- 3 [歓迎会と送別会] スタッフさんや友達と話せて、自分の国で話を交換できるからです。
- 4 日本は美しい自然を持つ素晴らしい国です。おいしい食べ物があり、たくさんのお店があり、興味深い研究があり。機会があれば日本に交換留学してみたいです。



チャンタラカニット プーポーナナケ
CHANTARAKANIT POOPORNANAKE (MONTFORT ROYAL COLLEGE SECONDARY SECTION)

- 1 大使館で働いている方々と会い、大使館で働くのはどういう仕事なのか学ぶことができ大変勉強になりました。
- 2-(1) 早稲田大学は日本に留学したら第一志望大学なので実際に校舎に行けて外からではなく中でツアーできることは楽しかったです。写真でしか見たことがないところもウェブ上でものっていないことも色々早稲田大学について学ぶことができ、興味深かったです。さらに校舎がきれいでいちょう(?)が紅葉中ですごくきれいでした。ガイドさんも説明が面白くわかりやすく楽しかったです。
- 2-(2) 学生が少なく設立から歴が浅い割には非常に成果が出ていて将来ITや起業について興味をわいてきたらこの大学が一つの選択肢になったと思います。それに校内は埃みじんもなくきれいで展示されていたゴミなどから出きている絵と銅像は興味深いと思います。
- 3 早稲田大学、紀伊國屋(自由行動)、日光
- 4 要するに、わきました。最初からありましたが今回の日体験旅行に通じてもっと日本に留学したいというきもちが強くなりました。



ティーラワット ジュンサンズパチャイ
【引率者】TEERAWAT JUENGSAUSUPACHAI (J-Study Center)

今回の日本体験を開催してくれてありがとうございます。日本にいる時間はほとんどなかったけど、皆さんに毎晩皆様に10階で足湯しながら、交流できました。素晴らしいところです。スタッフが少ないのに、皆様が全力で動いているを見てとても感謝します。

富士山を見えませんが、代わりに大きな虹を見ることができて本当に幸運です。

日光行きも、皆さんには日本の雰囲気を存分に楽しんでもらえました。皆はバスに乗る代わりに歩いて冒険することを選び、日本のあらゆる瞬間を味わうために秒毎を大切にしました。

ディズニーランドに行ったとき、みんなはどのアトラクションを最初に遊びたいか、次に何をしたいかをよく準備していました。たくさんのアトラクションを楽しむことができ、日程を立ててくれた方々には感謝の意を表します。

ただ、毎回同じように夕方に戻れる便と良いなと感じました。それがあれば、日本での時間をもっと楽しむことができるだろうと思います。



アピッチャヤー パスサリットターコン
APITCHAYA PASUSARITTHAKORN (THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY)

- 1 いいけいけんになりました。スタッフさんのみんなはともしんせつです。たのしいかわをはなしたりみらいのことはなしたりしました。いいおもいだとかんかえています。♡
- 2-(1) おもしろかったです!いろいろなぐぶがあるし、だいがくにもながいれきしもあるし、おもしろかったです。わたしはいまだいがく2ねんせいだから…ちょっとざんねんでした。でも、とくべつのばしょにはいたこきはほんとうにうれしかったです。かんどうしました。きかいはあれば、またこんどわせただいがくにいきます。
- 2-(2) あたらしいせんもんだいがくにはおもしろかったです。おもしろいへやおもしろいぶんいきがあります。
- 3 にっこにいったときです。その日はわたしにとってとてもいいの日なんです。ぶんいきもいいし、たべものはとてもうまいし、たのしかったです。おてらにいくときたくさんおまもりをかいました。
- 4 もともと日本のだいがくにはきょうみがあります。でも、このきかいはあるのでまたわたしは日本のことふたたびこいにおちます♡



12月13日 日光訪問



12月14日 自由行動・鉄板焼



【マレーシア】

ヌル ナディア ビンティ ジャスニ

NUR NADIA BINTI JASNI (BASF Asia-Pacific Service Centre Sdn Bhd)

- 1 マレーシアと日本との関係について学ぶことができます。また、マレーシアと日本の将来のビジョンについて学びもできました。
- 2-(1) 早稲田大学の歴史を学び、普段は非公開の早稲田大学館やclocktowerを見学しました。また、日本有数の私立大学を訪問できたことを光栄に思い、いつか早稲田大学の学生として入学できることを願っています。
- 2-(2) iuの非常に興味深い点は、産業界と連携した新しい学びのプラットフォームであることだと思います。iuは世の中にイノベーションを起こす人材を育成します。そのうえ、一般大学と専門職大学のちがいも理解することがわかります。
- 3 日光です。とにかくこんな造りの仏閣を観たのは生まれて初めて。柱から建屋全体の一つ一つの造りが芸術！正しくこれが世界遺産なんや~!!感激。
- 4 はい。日本文化についてたくさん学びました。機会があれば、PHDのために奨学金を申請して、日本で働き続けたいと思っています。😊



アマラー ハズワンニ ビンティ モハド ヤシン

AMIRAH HAZWANNI BINTI M D YASIN (UniKL MICET UNIVERSITY)

- 1 大使館のJeffery-sanに会って、色々なものを学びました。Jeffery-sanがとっても優しいかったのでたまにギャグをしてるし、楽しかったです。
- 2-(1) 早稲田大学本当に楽しかった！ステージの上にと時計塔に行って本当に明日香さんのおかげです！ガイドが本当に楽しいんです。留学できるなら、留学したい大学です。
- 2-(2) 景色が綺麗です。色々な事をちゃんと聞いて、楽しいキャンパスツアーでした！
- 3 また徳川の歴史の学んで、楽しかったです。江戸時代の歴史本当に、本当に楽しく学んだので、こういうきっかけがあって、とってもありがたいと思います。
- 4 前より、ちょっとだけ留学と旅行の心が増えました！次回があったら、必ず刀剣を見に行きます！



ム ハ マ ド ム ハイ ミン ビン ハイ ルン ニ サ ム

MUHAMMAD MUHAIMIN BIN HAIRUNNIZAM (Yamato Transport Malaysia)

- 1 とっても素晴らしかったです。マレーシアの大使館はすごくキレイし、日本にいるマレーシアの大使館の人とお話できて良かったです。いい経験でした。
- 2-(1) 私は早稲田大学行ったことありますが、今回はもっと詳しくご案内されています。普段学生でも入って行けない所に連れて行かれて嬉しいです。また、建物について教えてくれたり、色々勉強になりました。とっても綺麗な大学でした。また機会がございましたら、もう一度早稲田大学に行きたいです。
- 2-(2) IUの大学はととてもエレガントでキレイな大学でした。大学の授業や、歴史について色々教えてくれました。また、IUの学生からも発表がございました。とても面白い大学だと思いました。普通の大学と専門学校は違います。
- 3 今回の旅行の中で1番印象に残ったのは日光の観光です。景色がととてもキレイし、歴史的な所がたくさんあります。色んなお寺行って、面白いお土産もたくさん買えました。
- 4 日本で体験旅行したら、日本で留学をしたい気持ちが強くなりました。機会がございましたら、日本で留学したいです。友達にも紹介したいです。



オー ウェン イ

OOI WEN YI (Mapletree Investments Private Limited)

- 1 珍らしく大使館の代表であったのはとてもうれしくて、感謝してます。たくさん話をして、意見を交換して、大切な経験をできました。
- 2-(1) 大学生のガイドさんは親切で、はっきり大学の情報を届きました。大学生がキャンパスでさまざまなアクビティをしているのを見た後で、日本の大学で勉強したいを感じました。早稲田大学の食堂もたくさん食事が提供し、いい体験にしました。色々な情報を教えてくれたありがとうございました。
- 2-(2) 私が大学生さんのプレゼンテーションはすごくおもしろくて素晴でした。大学の代表さんにも役に立つ情報をもらいました。初めてこういうタイプの教育システムを知っていたのは本当にインスピレーションさせました。普通の大学と比べて、専門職大学の授業はととてもおもしろくて、学生にととてもすてきだと思います。色々な勉強になりました。
- 3 徳川家康の主祭神の所は私にとって一番印象に残ったのスポットです。昔の人はこんなに大きい建物ができるのはびっくりして、感動しました。
- 4 はい、色々な文化、サービス、教育の資源などすごく勉強になりました。勉強すればするほど、日本留学／就職に深い興味になりました。将来きっとがんばって機会を探して、日本に住むために帰りたいと思います。



【引率者】西尾 亜希子 (A to Z Language centre)

今回は自由行動の時間が多く、マレーシア代表はほとんど全員で一緒に行動しました。民族、世代、職種も様々でしたが、お互いを尊重し合い助け合うよいチームでした。

1日目の自由時間は、神田明神と秋葉原へ行き、大使館のある渋谷でも写真を撮ったりお店に入ったりしました。翌日のIU訪問は個人的に興味があり、とてもおもしろかったです。夜はスカイツリーを楽しんだ後、歩いてホテルまで戻りました。何度も宿泊しているドーミーインですが、川から見て「おかえりなさい」の看板が出ていることに初めて気が付き、心があたたかくなりました。

翌日の日光東照宮では400年以上前の歴史を肌で感じる事ができ、心から感動しました。

4日目の自由行動では明治神宮、原宿、上野で観光や買い物を楽しみました。趣味や強みが違うメンバーと一緒に行動することで学びが多くありました。夕食をとったCoco壱ではベジタリアン用のカレーがあり、イスラム教の子も日本のカレーを安心して楽しむことができました。

翌日はあいにくのお天気で、富士山を見たり雪にさわったりはできませんでしたが、次に来る時の楽しみにすると前向きな反応でした。

最終日のディズニーランドは、天気も良く待ち時間もしゃべっているうちにあっという間に過ぎました。人気のアトラクションに7つも乗れ、ラッシュの前に東京駅に向かうことができました。「ラッキーだったね」といい面に目を向けるメンバーばかりだったからこそ運を引き寄せていたのかもしれない。

財団の皆様のご尽力に改めてお礼を申し上げますとともに、フレンドリーで礼儀正しい代表者の皆様が、今回の体験をもとに更に飛躍されることを心からお祈りします。



12月11日 大使館訪問



12月12日 早稲田大学



【インドネシア共和国】

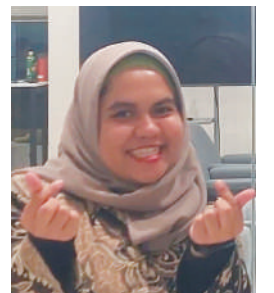
FITRIA TAMARA RAMADHITA (ダルマプルサダ大学)

- 1 大使館表敬訪問したときはすごくきんちょうしましたが非常に貴重な話しを聞かせていただいてありがたいです。教育のことから日本とインドネシアのちがいで色んなことについてかたりあいました。
- 2-(1) 早稲田大学はものすごく広い大学でびっくりしました。建物の見学させていただいて早稲田大学のきれいなところを全部拝見できるのはとても感激しました。学しょくどうで昼ごはん食べてすごくおいしかったです。学生のみなんといっしょに食べられるのはうれしかったです。いつも話からしか知ることが出来ない大学が見られるのもすごく嬉しかったです。
- 2-(2) すごくきれいなところで、まわりのところもおだやかな感じで心があたたかくなるようなふいんきでした。屋上に行かせていただいてそこから見える東京スカイツリーがすごくきれいでした。そしてIU大学はけっこう早稲田大学とはちがうところが多く、比較してもどっちもいい点とわるい点があっておもしろかったです。
- 3 いちばん印象のこったのはかんげい会のとときにみんなさまとお話できて嬉しかったです。やかわさんとむらかみさんとくまさんとみんな話しかけてくれてうれしかったですなぜなら私アレルギーのせいでみんなとは席がはなれててちょっとさびしかったのです。
- 4 はいもちろん。もともと日本にすんでみたいきもちがあります。日本にきてそのきもちが大きくなりました。早稲田やIU大学みたいな大学に留学できたらどれだけうれしいことでしょう。



ERVINA KUSUMA DEWI (PT ONODERA USER RUN INDONESIA)

- 1 インドネシアと日本の文化の違いを理解して、日本人の電車のマナーや教育などをディスカッションをしてました。これからのインドネシア30年後は私たちの若者が作る。
- 2-(1) キャンパスの回りにはとても美しいでした。紅葉もすごくキレイでした！時計のタワーにも上まで行けました。学生さんがなかなか出来ななことにことらしくて、すごくラッキーな気がします。あとは学生の食堂でも体験しました。あそこで食べて学生みたいです。早稲田大学は有名な大学で、外国人もたくさんいるのですごいです。
- 2-(2) 東京スカイツリーがきれいに見えるキャンパスです。学生のプレゼンもおもしろくて、いいです。たてものもモダンでちいさいです。でも、なかみはきれいです。学生さんもかっこいいです。
- 3 あめとにじが見えた。
- 4 はい、留学をしたいと思います。どうぞよろしくおねがいたします。エルビナ♡



ジョシュア タンプボロン
JOSUA TAMPUBOLON (ダルマプルサダ大学)

- 1 大使館さんが緩やかな話を話し合いまして、日本とインドネシアを比べながらディスカッションをしました。有言義な時間を過ごせました。
- 2-(1) 早稲田大学は本当に広くて、ちょうどこの12月に木々がとてもきれいで、いやされます。担当さんが本大学についてこまかく説明されて、PPTみたいなやつを使いながら話していてなんか人生で初めてこんな説明方だと思いました。おかげで留学する気持ちがわいてきました。
- 2-(2) 先生も学生さんたちの説明はとてもよかった情報でした。友達や知り合いに「こんな大学があるよ」と伝いたいと思います。
- 3 自由行動：来年、留学予定大学に見学できて、日本の回りにちゃん歩いて日本の様子を分かるようになりました。
- 4 とってもとっても興味をわきました。日本は規則正しくて安全な国で知ったことはまっあ！安心で来年を日本に留学ができるようになると思っています。



アメリア ジャスミン プラメスティ
AMELIA JASMIN PRAMESTHI (大分大学)

- 1 インドネシア大使館ではインドネシアの象徴となっているガルーダがあり、中の雰囲気もインドネシアを思わせてくれる大変良い所でした。
- 2-(1) 初めて来て思ったものといえば「景色がとても綺麗」でした。見学したのは冬始めだったのでイチョウの木がまだ散りきっておらず、紅葉の木も満開だったので、秋の風景を完璧に見ることができました。見学の案内で大学の歴史について話していた学生も説明が分かりやすく面白かったので、大変有意義な時間でした。
- 2-(2) 情報経営イノベーション専門職大学(次からiuと呼ばさせていただきます)はまだ小さく新しい大学でありながら、とても伸び伸びとしていて、学生も自分の大学を誇しく語っていたので、面白そうな大学だと思っています。私も情報経営に友達の影きょうで興味があったので、ゼミを聞いて楽しかったです。
- 3 最も印象に残ったのは早稲田大学の見学でした。景色も案内ももちろん完璧でしたが、(この先は政治的にセンシティブな内容になるかもしれませんが)帰るときにパレスチナを応援する学生団体が見られて、まだここに人類を想っている人がいると思うと感慨深いな、世の中捨てたもんじゃないなと思いました。
- 4 初めて興味をもった国は日本だったので、日本体験旅を通して日本を知ることができて本当に良かったです。現在留学しているので、もっと日本について知ろうと思います！



ヴェラワティ
【引率者】VERAWATI (COACH)

3年間この日本語体験コンテストが開催されなかったのですが、今年は楽しく、大きな問題も無く体験旅行を終えることができました。これも全て共立国際交流奨学財団の皆様のおかげです。まことにありがとうございました。

コロナの前の活動と比べて、多くの変化がありました。しかし、このスケジュールであれば、インドネシアからの入賞者は自分の興味を探索したり、日本での多くの友人に会うために多くの時間を使うことができます。

グループで歴史的な場所を訪れる日光探索はとても興味深いでした。急ぐことなく旅行を楽しむことができました。確かに、この訪問を楽しむ人もいれば、歩くのに疲れてあまり楽しめない人もいた。この活動は国ごとに分かれていたので、歴史に興味のない人でも日光周辺で他のことができるので負担になりませんでした。

東京ディズニーランドでの1日の遊びは、インドネシアの入賞者にとっても非常に満足でした。今回は丸一日与えられたので、たくさんの乗り物に乗ることができました。ラストまでいられるスケジュールを作ってください、入賞者達は大喜びでした。全ての行程で思いっきり楽しめた様子でした。楽しく貴重な体験ができたようです。

一つ残念なことはホテルを変えて旅館に泊まるという、自分たちだけでは体験できない体験が今回なかったです。旅館に1泊や2泊するのも、旅館体験は日本文化のひとつになるのではないかと思います。



12月11日 歓迎会



12月13日 日光・バス車内



12月15日 送別会

参加者アンケート

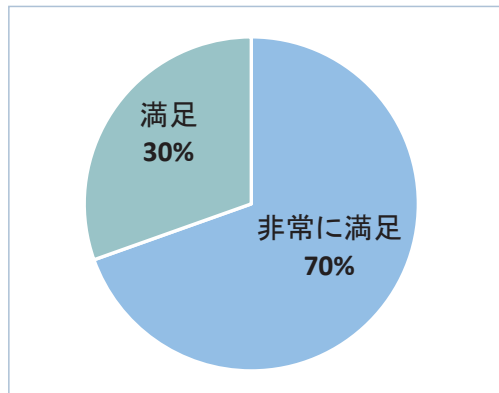
参加者34名に、アンケートの調査事項に回答してもらいました。

- ・体験プログラムについて (①早稲田大学 ②情報経営イノベーション専門職大学 ③歴史探求～日光～ ④富士山訪問 ⑤Yeti (雪体験) ⑥ディズニーランド)
- ・食事について (①歓迎会「はなの舞」 ②送別会「東京ガーデンパレス」)
- ・ホテルについて～ドリーミン EXPRESS浅草～
- ・自由行動について
- ・全体について (①旅行中に困ったこと・大変だったこと ②次回に日本に来たら、行きたい場所・やってみしたいこと)

※各コメントは、数名分を抜粋し、文章をそのまま掲載しています。

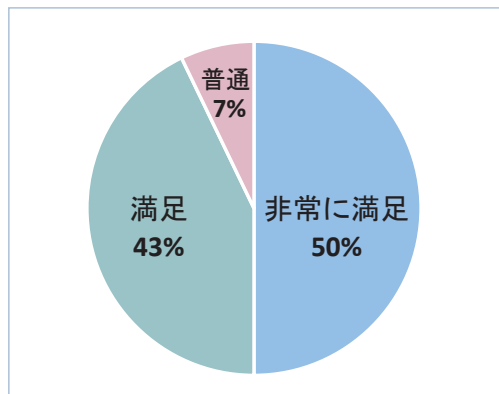
体験プログラムについて

① 早稲田大学



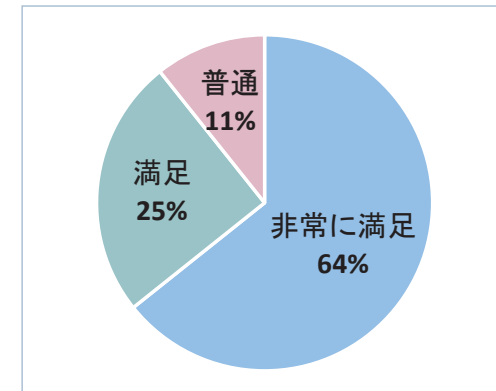
- ・大学は大きいし、景色がきれいし、生徒が多いし、いい大学ですから。
- ・大学生の日常生活を直接見て、それに大学の建築から多くの歴史的知識を学びます。
- ・最初から第一志望大学だったので実際に見られてうれしいです
- ・沢山早稲田大学の事を知りました。明日香さんがとても優しい人なんです。
- ・紅葉の木も満開だったので、秋の風景を完璧に見ることができました。

② 情報経営イノベーション専門職大学



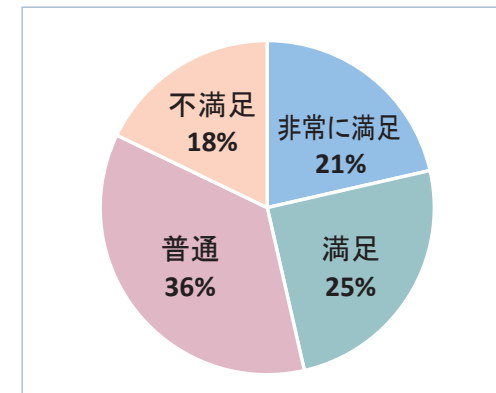
- ・その大学は小さくて、みんなに学年がちがくても仲よくなりそうです。
- ・こうけいはとてもいいです。だれも親切してもらいました。
- ・カリキュラムは最新の技術と社会の現実と繋がっていますから。
- ・学生さんからプレゼンテーションをいっぱい参考になりました。
- ・本当に新しいコンセプト大学で先生と学生の発表をあこがれてます。
- ・新たな進学方法を知ったから

③ 歴史探求～日光～



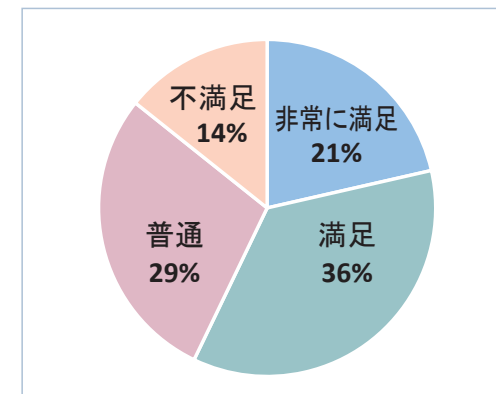
- ・景色がきれいし、ちょうこくが面白いし、大きい本がたくさんあるから。
- ・教科書でなく、実際の歴史が体験できるし、当時の日本人の考えも分かる。
- ・日本独特の美しさを感じる、とても美しい場所です。また今回は必ず来ます。
- ・刀剣が見えないので、ちょっとがっかりしましたが、また徳川の歴史を学んで楽しいです。
- ・日光は寺の町で、かいだんがおおい。でも、カンボジアの友だちと一緒に上まで行った。
- ・東照宮は初めてなので、三猿は昔からよく耳にしたけど、実際に見たのは初めて。

④ 富士山訪問



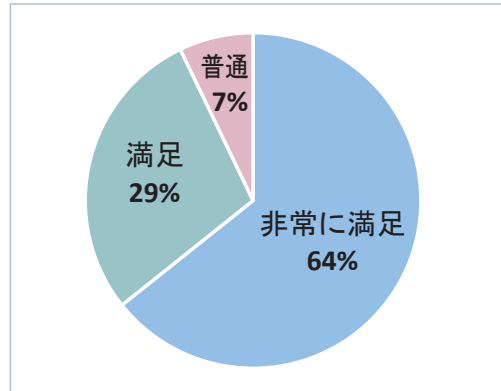
- ・ずっと雨でしたから。美しい景色など見えないし、五合まで行けないし、ずっとバスの上にいるから。
- ・雪があつて楽しかったのですが、雨が降って富士山の美しさが見られません。
- ・あめのせいで富士山が見えませんがソフトクリームが美味しかったです
- ・天気が良くなかったため、富士山が見えませんでした。
- ・その日と前日が雨だったので、霧が濃かったので、あまり外に出る状況ではなかったです。
- ・森がきれいです。ちょっと残念なことは、天気があまりよくなかったので、富士山を見えませんでした。

⑤ Yeti (雪体験)



- ・すきですが、ずっと雨がふつたのでぜんぜんやらなかったしまいましたからです。
- ・食堂の食べ物は美味しかったです。天気はちょっと…。
- ・なんにもみえないです。あめばかりざんねんですけどまたきかいがあるでしょう。
- ・天気が悪いので何もできませんでした。
- ・大雨なんですからスキーできなくなって、残念です。
- ・雪を見ることがあまりないので、雪を見ることができたのは一番!

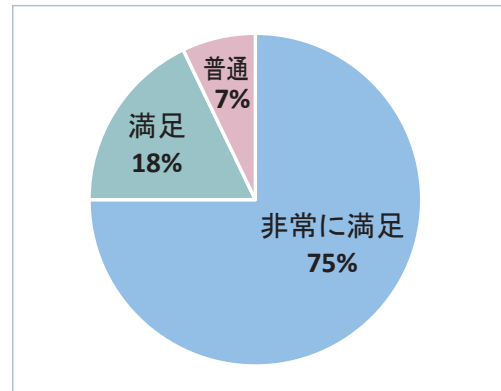
⑥ ディズニーランド



- ・めずらしいです。ひとがいっぱいます。おもしろいです。
- ・完璧です。また行きたいです。(お金があれば)
- ・人が多く列もながかったが色々なものに乗ったり遊んだりできて楽しかったです!
- ・ディズニーランドでたくさんお店とキレイなところに行きました。とてもたのしかったです。
- ・たのしかったです。いろんなアトラクションにのりました。
- ・子供時代へ戻ったような感じがしました!

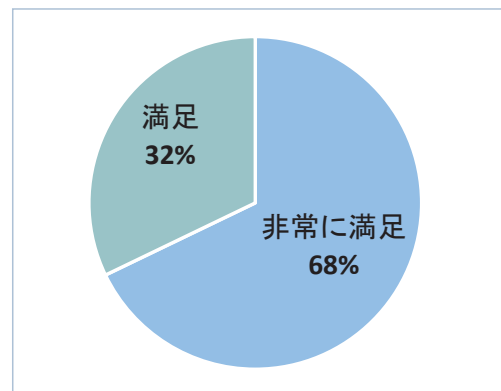
食事について

① 歓迎会「はなの舞」



- ・とくにカニスープでした。
- ・その日の雰囲気は最高だった。
- ・異文化を交流できるように、和食やタイ料理、ベトナム料など、さまざまな国の料理がほしいと思います。
- ・食事はすごくうまかったで、気分もよかったです。
- ・最初は居酒屋という日本の特殊な文化の体験も兼ねて、他各国のみんなと交流できて本当に良かったと思います。
- ・歓迎会を通じて、他の国の皆さんと交流することができて、友達になりました。

② 送別会「東京ガーデンパレス」



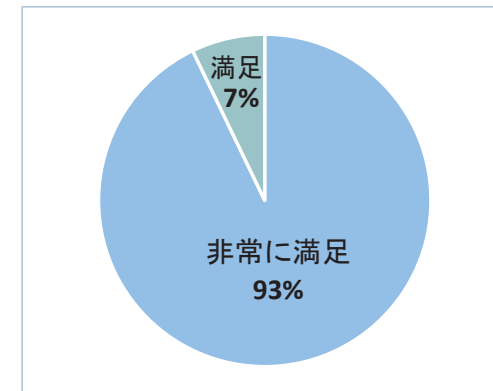
- ・名国から来た皆と夕食出来るし、良い経験だと思いますから。
- ・ゆっくり食べていたので、もっと食べたかったものがすぐ食べられなかったんです。(笑)
- ・かなしいのきもちもあるし、やったことないがいっぱいあるし。でもとてもだちつくれました。
- ・沢山食べなくてよかったがっかりしたです!でもみんなと話せるのは楽しいです。
- ・すごくきれいなところです。
- ・皆んな、よい夜を楽しんだ!満足だった!

③ 一番美味しかったもの

鰻(5)、牛かつもと村の牛かつ(4)、刺身(3)、抹茶(2)、dormy inのアイスクリーム(2)、もち、団子、日本酒、ピザ、クレープ、ケーキ、蟹みそ、いちご大福、ハンバーグ、コンビニスイーツ、dormy inのクロワッサンとジャム

ホテルについて

ドリーミンEXPRESS浅草



- ・とてもいいホテルです。いいけしき見えます。ごはんもおいしいです。
- ・サービスがとてもすばしかったです。
- ・部屋がきれいでスタッフもやさしくて足湯も朝食もミルクもラーメンもよくていいホテルだと思います(一つ残念なおことはおんせんに入れないことです)
- ・朝ご飯はとてもおいしかったです。房の中にも広るかったです。
- ・窓から見たスカイツリーの景色が不思議すぎます。足湯も最高でした!
- ・夜鳴きそばと豪華な朝ご飯、最高!!!

自由行動について

- ・しんじゅくへ行きました。ともだちろうどんを食べに行きました。そして、買い物に行きました。
- ・しぶやへ行きました。観光と買い物しました。理由はにぎやかです。
- ・東京タワー、うえの、いけぶくろ、しぶやに行きました。だいたい買い物しました。どこも有名なばしょで、一度行ってみたいかったです。
- ・上野と原宿に行きました。さまざまな日本文化を学ぶことができます。また、すしとカレーもたべました。うれしいです🍣
- ・東洋大学に行くことにしました。友達と校舎を案内してもらって、必要な留学への情報を教えてくれました。当日の夜、渋谷に遊びました。
- ・上野公園から東大へ見学に行きました。アジア一位の大学はどんなキャンパスがあるのかを見たいから行きました。そして、池袋、新宿、渋谷へ行きました。日本の若者の都市生活を味わいたいのです。

全体について

① 旅行中に困ったこと・大変だったこと

- ・インターネットがないこと
- ・雨ですから、旅行が楽しめなくなってしまった
- ・電車をえらぶことです。
- ・長い間歩いていくこと
- ・あまり眠り時間がないこと
- ・お金が足りないこと、電車が難しい
- ・パスで吐きましたこと
- ・ずっと寒かったことです
- ・東京に来てはな血がでるようになってしまいました。夜にしかでませんでした。
- ・「日本のどこの店が本番の味ですか」と、「どこが一番行きがいがある場所ですか」を迷うこと
- ・どうやって外国語話しくて自分の意志を表す

② 次回日本に来たら、行きたい場所・やってみたいこと

- ・おうさかへ行きたいです。
- ・いなかへ行きたいとおもいます。ですから、自然をみに行きたいです。
- ・北海道と大阪と沖縄
- ・次回ができれば、福岡へもつ鍋を食べてみたいと思います。
- ・日本の授業をうけてみたいです。
- ・★関西県です。関西人と東京人は違うと聞きました。
- ・東京ドームで遊びたいです。
- ・もう一次富士山に行きたいと思います。
- ・すぎは日本のビーチにおよいでみたいです。
- ・新幹線の体験や物作りの見学をしてみたいです。ホームステイもいいです。
- ・京都へ行きたいです。金閣寺を鑑賞したいと思います。
- ・次回はまた東京に来るつもりが、次回はぜひsky treeを登る。

引率後記

4年ぶりの開催となった今回の「日本体験旅行」ですが、まずは運営責任者として、参加者の皆さんが事故や病気、ケガなく、無事に帰国されたことに安堵しております。

今年度の「日本体験旅行」では、東京を拠点として、様々な体験をしてもらえるように日程を組みました。日光で歴史探求をしたり、富士山に行き、スノーパークで雪体験をしたり、日本随一のテーマパークを満喫したり、これまで教科書やガイドブックでしかみたことのなかった場所に訪れてみて、心に残る体験が1つでもあったら、嬉しく思います。

大学訪問では、それぞれ特徴のある2校を訪れ、実際に留学した時のことを想像する機会になったと思います。特に、今回初めて訪れた情報経営イノベーション専門職大学では、専門職大学ならではのカリキュラムや教室を紹介していただき、皆さんが目を輝かせながらキャンパスを巡っている姿が印象的でした。

また、日程に組み込まれているプログラムだけでなく、食事や買い物、移動などといった、日常の何気ない一コマにこそ、日本に来たからこそ体験できたことが多かったのではないのでしょうか。是非日本での経験を自分の国に戻ってから、家族やお友だちに発信してもらいたいと思います。

さらに、それぞれの国で日本語を学んでいる参加者同士、【日本語】という共通のツールを使って交流することができるのが、この「日本体験旅行」の醍醐味のひとつでもあると思います。送別会では、1週間で仲良くなった違う国の仲間たちとの別れを惜んでいる姿を見て、私は微笑ましく思いました。この「日本体験旅行」への参加をさらなる原動力にして、今後も日本語の勉強を続けて欲しいと思います。

最後に、日本体験旅行の実施にあたり、ご協力を賜りました、在外日本国大使館・領事館、全日本空輸株式会社、在日大使館、そして各国引率者の方々に改めて御礼申し上げます。

2023年夢・日本体験旅行 担当 湯川 千愛

2023年度（一財）共立国際交流奨学財団奨学生「奨学金に誓う大志」作文

（一財）共立国際交流奨学財団奨学金に採用された学生には、奨学金の支給期間の終わる年の2月に「奨学金に誓う大志」作文を提出してもらっています。

学校を卒業し、OB・OGになった奨学生がいつでも「奨学金に誓う大志」作文を読み返し、初心に戻ったり、学生時代を懐かしんだりできるようにとの思いから、本誌に「奨学金に誓う大志」作文を掲載し、奨学生へ配布しています。

今回は、2024年2月に提出された、2023年度の（一財）共立国際交流奨学財団奨学金奨学生の「奨学金に誓う大志」作文をご紹介します。

※文章は学生の原稿をそのまま掲載しています。

（一財）共立国際交流奨学財団奨学金 奨学生一覧表

No.	氏名	学校名	所属	国籍
1	ZHANG JINGYI	東北大学	国際文化研究科 博士課程前期 国際文化研究専攻	中国
2	劉 薇	山形大学	社会文化創造研究科 社会文化創造専攻	中国
3	曹 雨秋	慶應義塾大学	政策・メディア研究科 修士課程 政策・メディア専攻	中国
4	GAO MENGYU	國學院大學	文学研究科 博士後期課程 神道学・宗教学専攻	中国
5	KYAW HTET	東京医科歯科大学	医歯学総合研究科 博士課程 医歯学専攻	ミャンマー
6	CHAUDHARY PABITRA	東京都市大学	環境情報学研究科 博士後期課程 環境情報学専攻	ネパール
7	GAN SHINEBAYAR	日本大学	法学研究科 博士後期課程 政治学専攻	モンゴル
8	楊 陽	武蔵野大学	人間社会研究科 人間学専攻 修士課程	中国
9	魯 彩恩	早稲田大学	文学研究科 修士課程 人文科学専攻	韓国
10	桑珠措姆	同志社大学	総合政策科学研究科 総合政策科学専攻 博士課程	中国
11	卓 越	関西学院大学	理工学研究科 博士課程後期課程 数理科学専攻	中国
12	RASEL MIAH	鳥根大学	医学系研究科 医科学専攻 博士課程	バングラデシュ
13	LEE SOHYUN	酪農学園大学	獣医学群 獣医学類	韓国
14	CHU CHUN WING	文教大学	情報学部 メディア表現学科	香港
15	陶 顔征	国士舘大学	経営学部 経営学科	中国

No.	氏名	学校名	所属	国籍
16	CHEN XINYUAN	東洋大学	社会学部 社会福祉学科	中国
17	琴 弘圭	東海大学	工学部 電気電子工学科	韓国
18	DINH VIET TRUC QUAN	南山大学	外国語学部 英米学科	ベトナム
19	KIM WONJAE	神戸大学	経済学部 経済学科	韓国
20	BUI DUY KHANH	福岡大学	工学部 電気工学科	ベトナム
21	呉 彦諤	吉田学園情報ビジネス専門学校	AIシステム学科	台湾
22	LEE I HUAN	日本工学院専門学校	建築設計科	台湾
23	欧 貝佳	日本電子専門学校	情報処理科	中国
24	FAN CHIH-CHING	文化服装学院	ファッション工科基礎科	台湾
25	LUI MAN CHUN	麻生情報ビジネス専門学校	情報工学科	香港

ZHANG JINGYI（中国）東北大学



1年間の奨学金を給与していただきありがとうございます。私は将来日本で働きたいですから、現在は就職活動に取り組んでいます。日本で働きたいという気持ちを生じたきっかけも奨学金と関わりがあります。なぜかという、自分のもとと旅行が大好きですが、留学生として経済の面での余裕を持っていなく、所々に旅行できなかったです。

しかし、去年の4月から、私は月に10万円の奨学金をもらい、経済の面で以前よりよくなりました。その十万円を利用して、北海道から沖縄まで、日本における行きたいところに全て旅行に行きました。旅行することを通して、私はより多い日本人と日本文化に接して、より多く日本社会に触れた機会をもらいました。その過程で、自分の日本語能力が磨き上げられる一方で、より長く日本に住みたい考え方も出てきました。そのようなことをきっかけに、日本での就職活動を開始しました。

そのため、自分の対しとしては、半年間から1年間の間で理想的な仕事を探せることです。その目標を実現するために、私は積極的に就職活動を参加し、自分の面接スキルを磨きながら、日本語や英語などの言語レベルもますます高めたいです。その中で、失敗もあうかもしれませんが、その失敗と困難を乗り越えて、自分の明るい未来を築くために頑張りたいです。

また、正式な社員になった後も、真面目に自分の仕事をして、より多くのスキルを学び、自己価値を実現します。もちろん、自分がお金を稼いだ後も、日本ないし世界の所々に旅行したいです！

劉 薇（中国）山形大学



この一年で、共立国際交流奨学財団から奨学金をいただける機会に心より感謝しております。この奨学金を通じて、アルバイトに追われず修士論文の執筆に専念し、博士後期課程の準備に力を注ぐことができることを嬉しく思います。

2024年3月に修士課程を終えた後、私は博士後期課程に進学し、日本語言語学により一層深く没頭し、専門的なスキルを向上させる予定です。博士課程では、言語学に深く専念し、特に日本語の談話研究に焦点を当てることを考えております。日本語母語話者間の会話パターンおよびその背後に潜む文化的意味を掘り

下げることで、日本語教育分野に新たな洞察と手法をもたらすことを目指しています。研究成果を実際の教育に応用することで、日本語学習者に対してより効果的な言語教育を提供し、異文化交流における障壁を減少させたいと考えています。

博士研究の終了後、私は教育と研究の分野でのキャリアに引き続き尽力します。日本語教育分野でより大きな影響を与え、学生に高品質な教育を提供し、異文化理解と言語コミュニケーション能力を備えた人材を育てたいと願っています。同時に、学会会議や国際交流プロジェクトに積極的に参加し、他の研究者との協力と交流を深めていくつもりです。

このプロセスで、自己のリーダーシップとチームワークの能力向上にも力を注ぎます。学校の組織やサークル活動に積極的に参加し、組織管理とチームリーダーシップの経験を積むことで、将来の職業生涯にしっかりとした基盤を築くことを目指しています。

再度、共立国際交流奨学財団が私の学業をサポートしてくださったことに心から感謝申し上げます。貴重なご支援に応え、自らの学術と職業の目標を達成するために全力を尽くすことをお約束いたします。

曹 雨秋（中国）慶應義塾大学



奨学金に応募した理由は、私が抱く大きな夢への道を切り開くためです。私は、去年の就職活動で内定を得ましたが、それが自分の第一志望の業界ではなかったため、辞退する決断をしました。

私は日本の海運業界を目指しています。この目標を達成するため、今年、再度就職活動を行い、第一志望の企業を目指す決意を固めました。私が日本での就職を目指す理由は、日本の海運業界が持つ独特のビジネス文化と、イノベーションへの熱意に深く魅了されているからです。海運業界はグローバル化が進み、環境保護、経済的効率性、安全性の確保など、多岐にわたる課題に直面しています。これらの課題に対して、創造的かつ実用的な解決策を提供できる人材になりたいというのが私の願いです。

子供の頃から海や船に興味がありました。環境保護、経済効率、安全性など、海運業界が直面する課題に対して、創造的かつ実践的な解決策を提供できる人材になりたいです。研究科での学びを通じて、低炭素社会や環境保全に関する多くの知識を蓄積してきました。卒論のテーマは中小都市におけるSDGsの推進についてです。学んだことを活かし、海事分野における低炭素化やSDGsの推進に貢献したいと考えています。

内定を辞退し、再度挑戦するという決断は容易なものではありませんでした。しかし、私は自分の夢と志を優先することが、最終的には自己実現へと繋がると信じています。この奨学金は、私が日本で就職し、キャリアを築くための貴重な架け橋となりました。日本の海運業界は技術、サービスともに世界トップクラスであり、私もこの業界の一員となり、貢献したいと考えています。

GAO MENGYU (中国) 國學院大學



私は学問に志し、日本と海外の神道研究・教育の発展に力を尽くしていきたいです。幼い頃から読書が好きな私は、中国の首都師範大学で日本語の勉強を始め、二年生の時に日本の法政大学に交換留学し、文学の授業で初めて日本最古の古典——『古事記』を読みました。面白い世界観、神話に魅了され、もっと学びたいと思いました。中国に帰ったら限られた文献で神道の歴史・神観などの基礎知識を勉強し、卒業後は神道学専攻をもつ國學院大學大学院に入りました。

今は博士後期課程で、古代東アジアの視点による大嘗祭の研究を行っています。去年一月、自分の論文が初めて雑誌に掲載され、多くの人々に自分の観点を見せることができるとしたら、とても嬉しいです。古代の日本は中国や朝鮮半島との交流の中で自らの文化・制度を形成させ、神に関する信仰も周辺国家からの影響を受けていると考えられます。しかし現在、古代日本の神社史・神道史に関して、国際的な視野を持つ研究は欠如しており、外的視点から日本の祭祀・信仰の源流・特質などの問題を解明したいです。そして、博士後期課程を修了して博士号を取得し、専門知識及び研究能力を十分に身に付けてうえ、帰国して中国の大学で研究・教育活動に努めたいです。

自分の知識・研究経験を活して、中国の学术界で古代日本の信仰・思想、両国の共通的文化基盤などに対する理解を更新し、また学術交流の発展を促進し、新しい研究成果がより早く、広く共有・活用できるような研究環境を整えることに尽力したいです。

KYAW HTET (ミャンマー) 東京医科歯科大学



東京医科歯科大学の歯学博士課程に在籍し、共立国際交流奨学財団の奨学生として、このような機会を与えていただいたことに深く感謝しております。この奨学金は経済的な援助だけでなく、私が歯科医学研究の分野に貢献できる可能性を認めていただいた証でもあります。このエッセイの中で、私は共立ファウンデーション奨学金の価値を守り、学業と専門的な探求において卓越したものになるよう努力することを誓います。

私の歯学生としての歩みは、研究と革新への根強い情熱によって特徴付けられてきました。私は若い頃から、歯科医療の複雑さと、口腔の健康状態を改善する可能性に魅了されてきました。この奨学金は、私の献身を証明するものであり、さらに精力的に私の願望を追求する励みとなります。

共立ファウンデーション奨学金に対する私の抱負は、学問的卓越性、科学的誠実さ、そして専門家としての成長に対する揺るぎないコミットメントに基づいています。私は、勉学と研究に没頭し、常に知識と技術の向上を目指すことを誓います。さらに、知的好奇心、創造性、そして歯科分野の知識の限界を押し広

げる決意をもって研究に取り組むことを誓います。

さらに私は、誠実さとプロフェッショナリズムをもって行動し、科学界における協力と尊敬を育むことを誓います。私は、研究における倫理的行動と透明性の重要性を認識し、研究のあらゆる面でこれらの原則を守ることを約束します。共立ファウンデーションの奨学金の支援により、私は学業と職業上の目標を達成できると確信しています。この機会に深く感謝し、献身と忍耐、そして絶え間ない卓越性の追求を通じて、財団の私への投資に敬意を表することを誓います。

CHAUDHARY PABITRA (ネパール) 東京都市大学



私は、東京都市大学環境情報学部博士後期課程2年のパビトラ・チャウダリーです。

最初に、2023年年度の奨学金を提供して下さった共立国際交流奨学財団の皆様にご挨拶申し上げます。この奨学金は、経済的な安定という点で、私を大いに支えてくれましたし、研究に専念する上でも役立ちました。

研究に専念できた成果として、5月には日本経営システム学会の全国研究発表大会で研究発表を行い、学生研究発表優秀賞を受賞することができました。また、12月に国際会議にて「ネパールのICTシステムを活用した農業・観光ビジネスセクターのビジネスモデル提案」というテーマで新しいビジネスモデルの提案を発表し、この論文はジャーナル論文として受理され、2月にオンラインで公開されました。修了には最低2件のジャーナル論文が必要ですが1件は掲載されました。

今後の研究としては、ネパールの農村部の中小農家、観光地のレストラン経営者、ICT企業などのステークホルダーと現地調査やディスカッションを行う予定です。3年次には、ネパールの現状から新しいビジネスモデルへの移行の可能性を理解するために、システムダイナミクスシミュレーションモデルを構築したいと考えています。

卒業後は、JICA、IMF、世界銀行のような国際機関で働き、持続可能な開発のために発展途上国のために働き、ビジネスモデルを改善することによって貧しい人々の生活の質を向上させたいと考えています。

GAN SHINEBAYAR (モンゴル) 日本大学



こんにちは、皆さん。私は日本大学大学院法学研究科政治学専攻の博士後期課程3年生のガン・シネバヤルです。いつもお世話になっております。2023年度の（一財）共立国際交流奨学財団奨学金の奨学生としての1年間があっという間でした。来月で卒業することを考えると寂しくて、皆さんに感謝の気持ちいっぱいです。卒業後にも、皆さんとの交流を深めることをできたらうれしいです。

それでは、奨学金に誓う大志を述べます。私は2017年に来日したから日本語学校の学生、大学院生として7年間勉強に励むことができたのは奨学金を受け、アルバイトの時間を減らすことができたから。だからこそ、日本の大学で研究したことや日常的に習ってことを母国の発展のために尽くしたいと思っています。

具体的には、モンゴル国は1990年に民主化し、新しい民主的憲法で、人間的、市民的、民主的社會を發展させるという目標に向かっていきます。しかしながら、民主化以来30年以上経った今政治献金問題、汚職問題などが起きり続き、さらに、モンゴル国の民主主義、議会制主義に対する国民の不信が高まっています。また、これが有権者の政治参加、特に、若者たちの政治参加の低下にも影響を与えています。このように政治に対する不信の高まり、有権者の政治参加の低下は、政治にポピュリズムを招き、アジアで、さらに、権威主義体制の大きな2つの国であるロシアと中国の間に位置する小さな国であるモンゴル国の民主主義に危機していると考えています。

そのために、民主主義を定着した（民主化し、また民主化から戻ったことがあるという経験からも習うことが多いと思う）日本の大学で研究したことと日常的に味わったことも母国であるモンゴル国の民主主義を發展させるために貢献したいと思っています。それを実現するためには、まず、大学を卒業し、母国で研究機関を作ることを目標にしています。その後、研究機関を通じてモンゴルの社會を世界とつなげることができたらいいなあとと思っています。

皆さん、いつもありがとうございます。

楊 陽（中国） 武蔵野大学



奨学金の支援を受けからもうすぐ一年、私も新たな段階に向けて歩み出す決意を強く抱いています。今年の国家試験に合格し、言語聴覚士として日本でのキャリアを築くことに対して、喜びと責任を感じつつ、この職種に相応しい価値を作り、患者様への寄り添いを追求していくことを誓います。

今後の工作中、言語の枠を超え、異なる文化や言語環境に通じる能力を持つことで、患者とのコミュニケーションをより深化させ、質の高い医療サービスを提供することを考えています。

同時に、日本のリハビリテーションと言語障害療法においても深く学びたいです。日本の先進的な医療技術やアプローチを取り入れつつ、国際的な視点で分析し、効果的な治療を実現できるよう努めます。これにより、患者様の健康と未来に力を尽くすこととともに、自らも専門性を高め、「専門家」を目指していきます。

さらに、将来的には中国のリハビリテーション事業にも積極的に貢献したいと考えています。日本で学んだ知識や技術を活かして、中国の臨床状況に合わせて新しいアプローチを模索し、母国のリハビリテーション事業に新たな可能性をもたらすことが私の理想です。

また、日中の言語聴覚障害学科の交流にも力を注ぎたいと考えています。異なる文化やバックグラウンドを持つ専門家たちとのコラボレーションを通じて、新たな研究や治療法の發展に寄与し、相互理解を促進していきます。これにより、国際的な視野を持った言語聴覚士のプロフェッショナルネットワークを構築し、世界中の患者により良いサービスを提供する一端となることが目標です。

奨学金の援助を受けからこそ、私はこれからの挑戦に臆することなく進んでいきます。恩返しの一環として、私は学び、成長し、貢献し続け、この感謝の気持ちを常に心に刻んでいきます。

魯 彩恩（韓国） 早稲田大学



私は新たな場所へ行き、今まで経験したことのないことに挑戦し、異なる文化を体験することが好きで、大学生の時代から常に旅行をしてきました。旅行は私にとって非常に大きなモチベーションとなり、日常を楽しくしてくれる重要な要素でもあります。そのため、私はこの奨学金を利用して、約1年間、日本国内を含む海外など、様々な場所を旅行し、多様な経験をしました。

旅行を通じて得た経験はかけがえのない、大切な私の思い出となっています。このような経験はおそらく、奨学金がなかったら絶対に実現できなかったことだと思います。

大学院の研究も進めながら、経済的負担なく、旅行ができたことに対して、この奨学金の役割は非常に大きかったと思います。また、自分の勉強もしながら旅行もできる環境にいる私は非常に恵まれていると感じ、より多くの経験ができるようになってくれたこの奨学金に感謝しています。

そして、私もいつかより多くの人々に役に立つ人になりたいと思い、「人々の豊かな生活のために」という信念を軸にして就職活動を始めました。その結果、無事に就職が決まり、2024年の4月から働くことになりました。これからは私が奨学金を受けて得られた経験を仕事に活かし、社会や他の人に貢献していきたいと考えています。

最後に、この奨学金を提供くださった共立財団に深く感謝の気持ちを伝えたいと思います。私はこの奨学金を受けて得られた数多くの気づきを生涯にわたって忘れず、将来の成功と社会貢献を通じて恩返しできるように、精一杯頑張ります。これからも大学および大学院時代の良い思い出を大切にしながら、どんなに大変なことも乗り越えていきたいと思っています。

桑珠措姆（中国） 同志社大学



私は将来他人や社会に役に立てる人間になりたいです。チベットで生まれ、小さい頃から豊かな自然環境の中で育てられ、山、湖、動物は私の仲間でした。このような環境の中から経験してきたことから、私は育てくれた自然環境へ感謝の気落ちを持つようになり、動物との感情は人生において大きな影響を与えてくれました。このような経験から私は現代社会においても良い人間関係を保つことや常に恵まれている環境へ感謝と恩返しの思いを忘れずにいることを教えてください。

中国で大学三年生の際に、中国国内のある観光地に旅行に行きました。その時、私が憧れていた湖はゴミだらけでした。観光に来ている観光客にゴミを捨てないように話しても私の話を聞いてくれなかったです。私の実家であるチベットの湖は非常に綺麗で、周りにあまりゴミは見当たらないです。その時の観光先の経験をきっかけに私は自然環境への保護と観光客が訪問先での行為、また訪問先に暮らしている人々が環境問題や地域の固有資源に対する認識に関して興味がありました。そして、中国国内の大学を卒業してからすぐに就職せず、観光産業の分野をはじめとする多くの学術分野において自分なりの問題意識を持ちながら、さらに勉強し私は留学することにしました。

将来は日本で学んできた知識と研究成果を活かして筆者の故郷であるチベットの観光が持続的な観光のあり方に貢献できるようにしたいと思います。また、文化交流を目的にチベットと日本の学生の間に短期

留学のプログラムができたらと思っています。その経験を通じて他文化を理解するのみならず、自らの民族の文化にも再認識することができることを期待されます。私はこのような夢を実現し、異文化交流において橋になり、自分なりの貢献ができることを目指しています。

卓越（中国） 関西学院大学



去年の4月1日に参加した奨学金の授与式から、もうすぐ一年が経とうとしています。この一年間、奨学金のおかげで経済的な負担が軽減され、研究に専念できました。一年前に提出した作文では「より優れた研究成果を上げる責任があります」と述べ、その言葉を実現できる喜びを感じています。学会発表や雑誌発表などを通じて、自らの研究に取り組み、成果を上げることができました。

私の研究は株式収益の変動率に焦点を当てており、将来はこの研究を通じて社会に貢献したいと考えています。株式収益の変動率はリスク管理の中心に位置しており、将来的には金融実務において安全な資産運用を実現し、老後資金不足などの社会的問題に対処できるよう尽力したいと思っています。現在は人工知能の時代であり、構造化データだけでなく、音声、動画、テキストなど多様なデータを分析することが可能になるため、私にとって株式データの分析はスタートに過ぎません。

したがって、より多くのデータを活用するために、将来的には研究を資産リスク管理にとどまらず、より広範な領域に拡張していきたいと考えています。例えば、環境問題や政治衝突などは社会に大きなリスクをもたらすため、気候変動と政治衝突のリスク推定に研究を活用し、世界の課題に貢献し、持続可能な社会と平和の実現に寄与していきたいと思えます。

研究の道はまだ長く、その後も専門知識とスキルを着実に高め、様々な分析手法をマスターできるように、自らを絶えず強化していく必要があります。この一年で得た経験と成果を活かし、未来に向けてもさらなる発展を目指します。

最後に、この一年間に私を経済的に支援してくださり、心から感謝申し上げます。

RASEL MIAH（バングラデシュ） 島根大学



まず最初に、私に1年間の奨学金を提供して下さった九立国際財団に感謝したいと思います。

博士課程1年生で学術活動も多かった私にとって、とても心強いサポートでした。この奨学金を獲得してから、私は完全に勉強に集中することができました。経済的な問題については緊張感がありませんでした。

来年2024年4月には博士課程2年生になります。研究グループに参加して予備調査をするつもりです。その後、指導教員の指導のもと、卒業研究計画書を仕上げ上げていきます。この提案はおそらく私の予備調査に関連するものになるでしょう。

3年目では、自分の研究計画書に基づいて、研究計画を実行し、詳細な実験を計画し、結果を分析し、スキームを修正します。この期間中に、質の高い研究論文が国際学術誌に掲載されることが期待されます。

4年生、今年初めには卒業研究のほとんどが終了します。その後は卒業論文と学位取得に集中します。

このコースを修了したら、バングラデシュで仕事を見つける予定です。バングラデシュには多くの大学や研究機関があり、私が得た知識を共有することができます。私の目標は、質の高い研究者として自分自身を表現し、バングラデシュの人々がその恩恵を受けることができるように私の仕事を続けることです。医学研究は、大きな成長と雇用の機会が見込まれるため、研究者にとって魅力的な分野です。私の主な計画は、バングラデシュと日本と協力して質の高い研究を行うことです。日本での教育とバングラデシュとのつながりにより、十分な研究経験と知識を積んだ後、自分の研究室を設立するのに十分な能力を身につけることができると信じています。

LEE SOHYUN（韓国） 酪農学園大学



私は奨学金に誓う大志として以下のようなことを考えた。

まず、今後、病理学の研究室に入る予定だが、4年次には病理解剖に力を入れ、馬、牛、アザラシやペンギンなどの多様な動物の臓器の構造や位置を理解し、将来の診療に役立てたい。

さらに5年次には採取した生体組織から標本を作製し、病理診断を行い、どのような病変がどのように進行しているか自らしっかり把握できるようになりたいと考えている。

6年次には、獣医師国家試験に合格するために勉強に邁進するつもりである。卒業後は、酪農学園大学で学んだ多様な知識と経験を活かし、農業共済組合などの家畜診療所で働きながら、獣医師としての経験を積みたいと考えている。そこで、臨床研修をしながら、産業動物の診療および治療や出産などに携わりながら、産業動物の健康を守ってあげたい。特に、感染症に掛かった動物は、感染拡散防止や食の安全確保のために、殺処分されてしまうことが多いと学んだ。そのため、ワクチン接種など伝染病予防に力を入れるとともに、農家の人たちにも衛生指導をするなど、農家の人たちとの連携も大切にしながら獣医師としての経験を積みたい。その後、韓国に帰国し、日本での豊富な知識と経験を活かし、韓国で産業動物獣医師として活躍しながら、韓国の産業動物獣医師不足に微力ながら貢献したい。

なお今後、大学を通じて、アメリカで実施される産業動物臨床実習プログラムに参加し、より多様なプログラムにも参加しながらアメリカで産業動物について学んだ知識も活かし、国際的な獣医師としても活躍したいと思う。さらに日本そしてアメリカの文化にも触れることで国際的な理解を深め、より視野を広げたい。

私は上記のような大志を抱き、世界への貢献を目指して、それらを成し遂げるために努力していきたい。

CHU CHUN WING（香港） 文教大学



このたびは、奨学金をいただきまして誠にありがとうございます。奨学金のおかげで、私は自分の時間をより効果的に活用することができ、卒業研究に加えて、就職活動にも全力を注ぐことができました。

日本での就職活動は、私にとって数々の困難や失敗を経験する場となりました。厳しい競争の中で、自分自身を信じ、自分が納得できる結果を得るために全力で挑みました。大学の卒業後は、日本での就職が待っています。正直に言えば、日本

での就職に対しては多少の不安を抱いていました。しかし、私は自分自身に対して挑戦の意欲を持ち続けています。日本でのさまざまな経験を通じて成長し、自己実現を図りたいと考えています。

奨学金を受け取ることで、私はただ自分自身のためだけに時間を使うのではなく、社会に貢献することも心に留めています。私は、奨学金をいただいた恩返しとして、将来的には社会への貢献を目指すことを心に誓っています。奨学金を受け取ることで与えられた恩恵に感謝しながら、これからも努力を重ね、自己成長を続けていきます。私の大志は、自分自身の成長とともに、社会の発展に寄与することです。奨学金をいただいたことは、私にとって大きな責任でもあります。

私は、奨学金をいただいた恩に報いるために、将来的には日本の企業で活躍することを目指します。私の目標は、自分の専門知識やスキルを活かし、日本企業に貢献することです。そのためには、日本語の習得や文化への理解を深めるための努力を惜しまず、自己を高めていくつもりです。奨学金を頂いたことは、私にとって大きな励みとなりました。私は、この恩に応えるために、将来的には日本での就職を果たし、自分の能力を最大限に発揮する決意をしています。

最後になりますが、再度、奨学金をいただいたことに心から感謝申し上げます。私はこの恩に報いるために、自己成長に全力を注ぎ、社会に貢献することを誓います。奨学金を頂いたことに対して私の感謝の気持ちは絶えることはありません。

陶 顔征（中国） 国士舘大学



国士舘大学での三年間の経営学の学びを通じて、日本独自の経営に対する理解が深まりました。私将来の目標は、経営学部で学んだ知識を活かし、日本で公認会計士として働くことです。公認会計士としての職務は社会的責任の高いものであり、その責任を果たすことで社会に貢献できると感じています。

私は自分の専攻に真剣に取り組んできました。授業毎回参加し、講義や授業で先生が提示した参考文献を読み込み、いい成績を求める努力をしてきました。また、国際交流活動や自分のゼミのイベントにも積極的に参加し、他人と交流する

機会を大切にしながら学びを共有してきました。

さらに、実務経験を積むために会計事務所のアルバイトも行い、学んだ理論を実践に結びつける努力をしました。時間管理や効果的な学習方法を模索し、自己成長に努めてきました。これらの経験を通じて、自己の専門分野における理解を深め、将来の会計士キャリアに活かしていきたいと考えています。

今毎日一定の時間を簿記の学習に充てるようにスケジュールを組んでいます。継続的な学習が合格への近道だと思います。簿記教科書各章やテーマごとに学習した内容を確認し、演習問題を解くことで理解度を確認します。間違った問題や分からない点は重点的に復習します。試験対策には、専門知識の復習や過去問題を解くことで十分な準備を行います。公認会計士としてのキャリアを築くためには、常に専門知識を深める必要があります。業界の動向や法律の変更に敏感に対応し、継続的な学びを大切にします。これらの計画を通じて、公認会計士としてのキャリアを着実に築き上げ、日本の経済発展に貢献していきたいと考えています。

新しい知識やスキルを獲得することは、自己成長に繋がると考えています。簿記二級の取得もその一つであり、自分の努力の成果を実感できると考えています。これらの価値観や信念が私の目標を追求する原

動力となっています。経済や財務管理に関する知識を深め、自己成長と社会貢献につなげていきたいと考えています。

このたび、貴財団奨学金のご支援を受けさせていただき、心から感謝申し上げます。貴財団のご厚意により、私は学業に専念し、大学生活を充実させることができました。奨学金のおかげで、経済面の負担を軽減し、集中して学ぶことができました。その結果、より深い学びを得ることができ、将来の夢に向かって努力を続けることができます。貴財団のご支援がなければ、私の学びの道は厳しいものになっていたかもしれません。そのため、今後も貴財団からの恩恵に感謝し、社会に貢献できるよう努力してまいります。

CHEN XINYUAN（中国） 東洋大学



私は奨学金を得て、大学での学びを支えられることに感謝しています。これはただの財政的な援助だけでなく、将来に対する大きな責任でもあります。私の奨学金を得る上での大志は、ただ単に自分自身の成功だけでなく、社会や世界への貢献にも繋がるものです。

まず、私の大志の一つは、学業に真剣に取り組み、優れた成績を上げることです。奨学金を受けることは私にとって大きなチャンスであり、その恩恵に応えるためには、自分自身の能力を最大限に発揮し、知識やスキルを高めることが不可欠

です。これによって、将来のリーダーシップや専門的な分野での貢献が期待されます。

次に、奨学金を通じて得た教育を社会に還元し、他者のために役立つ存在になることが私の大志の一環です。これは、将来の仕事や活動を通じて、地域社会や世界にポジティブな影響を与えることを意味します。例えば、地域の教育プログラムや社会奉仕活動に参加し、知識や経験を共有することで、社会全体の発展に貢献したいと考えています。

また、奨学金を通じて得た経済的な支援に感謝し、将来的には他者への奨学金提供や教育支援を行うことも私の大志の一つです。自分が支えられた経験を元に、他の若者たちにも同じようなチャンスを提供し、彼らが夢を追い求める手助けを行いたいと考えています。

最後に、私の大志は単なる個人の成功や豊かさだけでなく、持続可能な社会や環境への配慮も含まれています。奨学金を通じて得る知識と機会を通じて、私は社会的な課題に取り組み、環境に配慮した行動を促進する活動にも参加したいと考えています。

奨学金は私にとってただの財政的な援助以上のものであり、これを活かして自己成長だけでなく、社会への貢献を果たすことが私の大志です。これを実現するためには、精励と責任を持って学び、成長し、将来的には得た恩恵を他者と共有することが重要です。

琴 弘圭（韓国） 東海大学



奨学金を受給することになってから1年間くらい経ち、この1年間は前の1年よりさらに多くの経験ができた期間でした。1年生のときには慣れていなかった日本生活の適応と経済的なことでアルバイトもしていたので色々忙しい日々でしたけれども、奨学金を受給することになってからは少し経済的に負担がなくなったので、大学の勉強以外にも行ったことのないところへ旅行を行ったりボランティア活動をしたりするなど新しい経験が多くできました。和歌山や名古屋など多くのところに行ってみてこれから日本で暮らすことにおいてどこで暮らそうかという悩みの解決がある程度できました。

さらに、大学の勉強だけではなくて他の分野で自分が興味を持っていることの勉強もできる時期でした。たとえば、専攻に関わった資格の勉強もどんどんやっており、専攻ではないけれども日本語教育という分野の勉強もできました。

なお、勉強だけではなく小学生の勉強を教えたり居場所を作ったりするボランティア団体での活動もほぼ1年程度続いてしています。このボランティア活動を通じて他のメンバーとのやりとりや小学生に勉強を教えることで自分のコミュニケーション能力も成長していると考えています。

このように1年間奨学金を受けることで、前より多くの経験ができるようになり、自分の成長もできる期間でありました。これからも今度の経験を活かし、自分の専攻で就職活動をしていき、卒業後には他の外国人に日本語を教えるボランティアをしながら、日本での生活をうまくやっっていこうと考えています。

DINH VIET TRUC QUAN（ベトナム） 南山大学



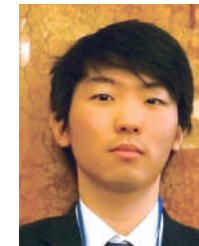
この度私を奨学生として選んでいただきまして誠にありがとうございます。私の大志は、奨学金を通じて実現することを誓います。この奨学金は、私が将来の夢や目標に向かって進むための重要なステップです。私は、これを単なる経済的な支援だけでなく、学業やキャリアの発展においても活用し、より大きな成果を上げることを心に誓います。奨学金のおかげで貴重な機会を得ており、将来の道が数え切れないほど広がってきました。

この奨学金を通じて、私は学業に集中し、知識やスキルを深め、将来のキャリアに備えます。学問の道での自己成長を重視し、厳しい課題にも果敢に取り組めます。奨学金を受けているからこそ、充実した学習経験を得ることで、将来のリーダーシップや専門的なスキルの磨きに専念できると確信しています。

自分の成長と知識の向上を追求し、将来の夢に向けて歩みを進めることを決めました。獲得した知識や経験を生かし、地域社会や国際社会において問題解決に寄与することを志しています。奨学金を支えてくださった方々への感謝を忘れず、地域の課題に真摯に向き合い、解決に向けて行動することをお約束します。恵まれた自分は、他の人々にも同じような経験を伝えており、できるだけたくさん人を手助け、人々の将来の道を開けていくような人になります。知識や経験の大切さは先輩である私たちだけが知っているからです。同じような夢を抱く人々をサポートできることを願っています。

私はこの奨学金を授かったことを深く理解し、その価値を最大限に引き出すために全力で取り組むことを約束します。将来、その成果を見せることで、奨学金を支援してくださった方々に感謝の気持ちを返すとともに、次なる夢や目標に向かって前進していく覚悟です。

KIM WONJAE（韓国） 神戸大学



私が日本で一番問われた質問が何だと振り返って見ると、“なぜ日本に留学しました？”であると断言できる。なぜ日本か？自分もよく考えてみた。日本、日本っていう国はどういう国で日本って留学する価値はあるだろうと。今結果がはっきりしているわけではないが、私と答えは多分“世界を見る視野が広がったから”である。

正直にいうと、留学の“学ぶ”と潜在的な機会だけ考えれば、アメリカや欧米の方が日本よりいい留学先であるかもしれない。確かにヨーロッパやアメリカは物理的にも大きいし、高度の技術革新、学問の水準が世界トップである。日本は80、90

年台のように圧倒的な経済力や学問的成果を出しているわけではない、数値を見ると逆に衰退している。しかし、私は日本を見ると、我が国である韓国の未来を覗くことができると考える。人手不足、高齢化、年金枯渇、産業競争力の弱化など日本と韓国は抱えている問題がほぼ同じである。すなわち、日本の過去が韓国の今であり、日本の現在が韓国の未来である可能性もある。

そのため、私は将来、今まで私が日本で勉強し、体験したことは韓国で活かしたと考える。来年の4月から日本で働くことになっているので、今まで見てきた学生の観点だけではなく、社会人、そして金融人としての視線で日本を観察し、学びたいと考える。

また、若いうちには日本に留まらずに香港やシンガポール、北京などのアジア諸国の拠点で経験をつみ、将来、アジアを舞台に活躍したい。アジアには新しい機会が待っている。

BUI DUY KHANH（ベトナム） 福岡大学



2023年度に、共立国際交流奨学財団から奨学金を授与されることができ、この喜びと感謝の気持ちを言葉にすることができない。貴財団のご支援により、私は夢に向かって一歩踏み出すことができることに心から感謝している。

この奨学金は物質的な支援だけでなく、人生の困難に立ち向かうための大きな精神的な慰めとなる。奨学金を通じて、私は自分の夢や目標に真剣に向き合い、それを実現するための力を発揮することを誓う。奨学金が提供する貴重なチャンスを有効に活用し、アルバイトの時間を減らすことができ、勉強に充実した環境を整える

ことができました。

私の夢は電気工学の分野で新しい価値を生み出すことである。奨学金を活用して、学校で学んだ知識やスキルを向上させ、将来社会に対して有益な貢献を目指したいと思っている。

奨学金の援助を受け入れることで、私は自らの勉強することや成長することだけでなく、他者や社会にも良い影響をもたらす存在となり、共に持続可能な未来を築いていく使命を果たしていく意志を強く抱いている。奨学金が私に課せる責任を理解し、そのチャンスを生かし、夢に向かって努力し続けること、世界を

より良い場所にするために、貴財団の期待に応えること、また奨学金を受け取ることのできたチャンスを無駄にせず、これからも精進し続け、自分の夢を追い求める姿勢を崩さないことを約束する。

同時に、今後多くの人々がこの奨学金を受け取り、より良い学習のチャンスと将来を得ることができることを願っている。

呉彦諤（台湾）吉田学園情報ビジネス専門学校



私はいま、「日本でITエンジニアとしてのキャリアを築きたい」という夢に向かい、大きな一歩踏み出せる喜びを感じています。貴財団の奨学金は、私にとって日本での学びと成長を支える重要な要素でした。奨学金により日本での学びを継続できたことに対する感謝の気持ちは筆舌に尽くしがたく、チャンスをくださった貴財団および関係されている方々に感謝の意を表します。そして、その期待に応えるため、これからも全力で多くのことに挑戦していきたいと思えます。

日本でITエンジニアとしてのキャリアを築くという選択には、多くの理由があります。日本のテクノロジー業界は革新的で、世界的に影響力を持つ企業が多く存在します。その中で働くことは、最新の技術やプロジェクトに触れ、専門知識を高める絶好の機会です。また、日本独自のビジネス文化や労働環境を経験することも、グローバルな視野を広げ、自身のスキルを高めることが期待できます。私はその選択を諦めることなく、今まさに実現の入り口に立っています。

奨学金を受けられたおかげで、日本留学の生活費や学費の心配をせずに、精力的に学業に専念し、プロジェクトに没頭できる環境が整いました。そのため、在学中に多くの知識やスキルを培うことができました。今後はそのスキルを日本のIT業界で活かし、新たな技術習得に挑戦していくことが、次の私の目標となりました。ゆくゆくはITエンジニアとしての経験を積み、自らの専門領域でリーダーシップを発揮し、イノベーションを起こしたいと思っています。世界との連携を深めながら、日本のテクノロジーコミュニティに貢献することが、貴財団の奨学金提供に対する唯一の恩返しだと考えています。

私は、貴財団から頂いた貴重なご恩とチャンスを無駄にしないよう、感謝の気持ちを胸に、最善を尽くしていくことをここに誓います。

LEE I HUAN（台湾）日本工学院専門学校



この1年間、（一財）国立国際交流奨学財団の御支援をいただきまして、誠に感謝しております。財団のサポートのお陰様で、自分の卒業製作に専念することが出来て、留学生生活を満喫することが出来ました。ありがとうございました。

奨学金は生活費だけでなく、専門書の購入や日本中で遊びながら有名建築の見学など、学びを深めるための手段となります。私はこれを有効に活用し、日本有名な建築家たちの作品から学び、新しいデザインのアイデアをまなんで、革新的で持続可能な建築に挑戦します。

この2年間の勉強を通して、建築においては、単なる建造物の創造だけでなく、人々の生活を形成し、環境に対する責任を担うことを知りました。

卒業後、私は建築の分野で学んだ知識を台湾に持ち帰り、地元文化と融合させ、クリエイティブで社会的な発展に寄与する方法として活用します。建築の知識を台湾文化に組み込むことで、独自のデザインスタイルを生み出すだけでなく、地元社会や環境の課題に対処する手助けにもなります。

私にとって誓いは単なる言葉ではなく、具体的な行動に表れるべきです。私は奨学金を受けることで、優れた成績を上げ、社会に貢献できるようなリーダーシップの資質を培い、将来の目標に向けて精進し続けることを誓います。

最後に、奨学金への感謝を忘れず、将来的には同じ夢を抱く若者たちにも支援の手を差し伸べたいと考えています。これにより、奨学金を提供して下さる方々への感謝の気持ちを真摯に示し、期待に応える存在となることが私の大志です。

欧貝佳（中国）日本電子専門学校



卒業を控え、将来への期待と抱負が膨らんでいます。

まずは職場で経験を積み、スキルを向上させる計画を立てています。入社後は、世界各国の自動車情報を提供するプラントフォームでの勤務を通じて、グローバルな視点で企業や市場の仕組みを理解し、専門家たちとの学びと交流を通じて成長したいと考えています。新しい課題に挑戦し、専門領域を拡大しながら、職場での基盤を築いていくことが、将来のスキル向上につながると思っています。

時間が経過する中で、新たな挑戦に立ち向かい、徐々にフリーランスエンジニアとしての目標に近づくことを目指します。自由な働き方は、大きな創造の空間を提供し、技術的な才能を柔軟に活用できると確信しています。フリーランスとして異なるプロジェクトで経験を積み、多様な分野の専門家と協力することで、視野を広げます。

10年後の展望として、志を同じくする仲間たちと共に、独立したゲーム開発に携わりたいと願っています。一緒に独自で魅力的なゲーム作品を作り上げ、創造性と技術の融合によってプレイヤーに新しいゲーム体験を提供します。具体的には、革新的で独特なゲームプレイやストーリーを重視し、グラフィックや音響の極致表現にこだわらず、プレイヤーに独特で満足感のあるゲーム体験を提供することが目標です。

これからの道では、新しい技術への感度を保ち、常に学びと探求を続け、急速に変化するテクノロジー環境に適応していきます。同時に、チームメンバーとの協力の精神を育み、各人のポテンシャルを引き出し、チームと個人の発展を共に追求していきます。

総じて、将来に自信をもち、夢を追い求めるために全力を尽くします。自由な働き方の中で多くの成果を上げ、独立したゲーム開発を通じて、社会に喜びと革新をもたらしたいと考えています。

FAN CHIH-CHING（台湾）文化服装学院



時間が本当に早く過ぎて、あっという間に日本に来てからもう一年になりました。この期間、私は国立国際交流奨学財団のお世話になっています。振り返ると、初めて日本に到着したときの胸の高鳴りが今でも覚えています。その時、日本で見るものすべてが新鮮で興奮し、新しい環境に慣れながら学校の準備を進めていました。新しい知識とスキルを学び、しっかりと服装デザインに必要な基本的な能力を築き上げ、そして順調に卒業して自分の夢に向かって進んでいきたいと思えます。

私の夢は、服装デザイナーとして成功し、独自のブランドを立ち上げることです。このほぼ一年間の学生生活で、講義を聞きながら将来の方向を考え、自分のブランドイメージを少しずつ確立してきました。ブランドは20～30代のアジアの女性をターゲットにしており、ヴィンテージ、民族風、女性らしさ、エレガントを強調し、生態環境に対する影響が比較的小さい再生繊維を使用したさまざまな質感の布地を生かしています。

夢を実現するために、私は2年生に進級した後にニットデザイン科に進級予定で、2年間は編み物製品の製作に専念する予定です。自立ブランド成立したいならば、初期の資金不足の中で、市場で特徴的な製品をデザインするために適切な布地を見つけるのは難しいことです。でも、編み物商品を製作することで、編み物の技術や異なる毛糸、他の素材の混合繊維を利用してこの難関を乗り越えることができます。

そして、卒業後はまず日本で仕事を探し、一定の期間働いた後に経験、人脈、資金を積み重ねた上で独立を考えます。外国人として、日本での就職は一般の人よりも難しいかもしれませんが、私は大学卒業後に文化服装学院に進学したため、平均よりも遅い時期に職場に入ることになります。これらの要因を考慮して、比較的仕事が見つかりやすいニットデザイン科に進むことを選びました。これが夢を実現する最も適切な方法だと思います。

LUI MAN CHUN (香港) 麻生情報ビジネス専門学校



私は、AIとIoT技術を用いた組み込みシステム開発で地域活性化に貢献することを目指しています。奨学金の支援によって、夢への道を歩み始め、この恩義を決して忘れることなく、学びと研究に精進し、社会に貢献できる人材になることを誓います。奨学金を受けることで、教育の重要性や社会的責任についてより深く理解するようになりました。そして、将来的には自らの力を社会のために役立てることができるという確信を持つようになりました。

奨学金を受けることで得られる教育の恩恵を地域社会に還元し、持続可能な発展を促進することが私の目標です。

学校では、AIとIoTに関する専門知識を習得し、組み込みシステム開発の技術を磨いてまいります。さらに、地域課題の解決に積極的に取り組んでまいり、地域活性化に貢献できる人材へと成長します。具体的には、AIとIoT技術を活用した高齢者向け見守りシステムや、地域特産の農産物の自動収穫システムなどを開発し、地域の課題解決に貢献したいと考えています。

私の目標を実現するためには、努力と継続が不可欠であることを理解しています。奨学金という支援に感謝の気持ちを忘れず、常に高い目標を掲げ、努力を続け、邁進していきます。学校での学びを通して、専門知識を深め、研究活動を通して、新しい技術を創造していきます。また、地域社会との連携を強化し、地域課題の解決に向けた具体的な取り組みを進めていきます。私の挑戦は容易ではありません。

しかし、AIとIoT技術の可能性は無限大であり、地域活性化への貢献は、社会全体に大きな利益をもたらすものです。私の挑戦が、地域社会の発展、そして未来への希望となることを信じています。

2023年度(株)共立メンテナンス奨学基金奨学生「奨学金に誓う大志」作文

(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金に採用された学生には、奨学金の支給期間の終わる年の2月に「奨学金に誓う大志」作文を提出してもらっています。

学校を卒業し、OB・OGになった奨学生がいつでも「奨学金に誓う大志」作文を読み返し、初心に戻ったり、学生時代を懐かしんだりできるようにとの想いから、本誌に「奨学金に誓う大志」作文を掲載し、奨学生へ配布しています。

今回は、2024年2月に提出された、2023年度の(株)共立メンテナンス奨学基金奨学生の「奨学金に誓う大志」作文をご紹介します。

※文章は学生の原稿をそのまま掲載しています。

(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 奨学生一覧表

No.	氏名	学校名	所属	国籍
1	MYAGMARJAV MUNKHSHUR	北海道大学	現代日本学プログラム課程	モンゴル
2	范 静儀	共立女子大学	文芸学部 文芸学科	中国
3	RINGGID REBECCA	上智大学	国際教養学部 国際教養学科	インドネシア
4	WANG CAIXUAN	東京外国語大学	国際日本学部 国際日本学科	中国
5	PRISCILLA GIOVANNI	文化学園大学	造形学部 建築・インテリア学科	インドネシア
6	WU YUNTZU	日本映画大学	映画学部 映画学科	台湾
7	TRIEU TU SAN	静岡大学	理学部 生物科学科	ベトナム
8	VO THI KIM VAN	滋賀大学	経済学部 経済学科	ベトナム
9	LEE JIA XIAN	鳥取大学	医学部 生命科学科	マレーシア
10	QUACH VAN HUONG	東北電子専門学校	国際ビジネス科	ベトナム
11	TRUONG THI HIEN	日本外国語専門学校	日越通訳翻訳科	ベトナム
12	BARMON SAMIR CHANDRO	名古屋モード学園	総合基礎学科	バングラデシュ
13	劉 真岑	専門学校 ESPエンタテインメント大阪	音楽アーティスト科	中国
14	SANN ZAR NE KO	仙台ランゲージスクール	大学進学1年9ヶ月コース	ミャンマー
15	MERCADO NICOLE EUNICE LARA	スリー・エイチ日本語学校	総合1.6年コース	フィリピン
16	ACHEEWANUNT LANLALIT	アークアカデミー新宿校	一般留学コース(1年6か月)	タイ

No.	氏名	学校名	所属	国籍
17	LOW XI ZHANG	アジア学生文化協会	留学生日本語コース	マレーシア
18	陳 啓	共立日語学院	進学日本語課程 1年6か月コース	中国
19	SAT PAING LWIN	新宿日本語学校	日本語学科2	ミャンマー
20	KIMBERLY KAYLA RUDIANTO	文化外国語専門学校	日本語科1.5年課程	インドネシア
21	PWINT PHOO NGON	アンランゲージスクール	日本語一般課程	ミャンマー
22	ALE MAGAR ARUNA	名古屋教育学院	進学2年コース	ネパール
23	PHAM DANG KHANH	ISIランゲージスクール 京都校	1年6か月コース	ベトナム
24	AYE ZAW LATT	ヒューマンアカデミー 日本語学校大阪校	本科2022年7月生	ミャンマー
25	LE THANH MAI	神戸外語教育学院	-	ベトナム

范 静儀 (中国) 共立女子大学



このたび、共立国際交流奨学財団からの奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございました。

理事長の菊川長徳が2023年度奨学金授与式で言ったように、給付された奨学金は、授業料や生活費などに使うことができるだけでなく、日本各地を旅行して実際に日本の文化を体験するために使うこともできます。日本は東京や、自分が住んでいる都市だけではありません。日本の文化もそれだけにとどまりません。

大和民族は古くから日本に住んでいる民族で、現在の日本の住民の大半を占めます。それでも、日本は単一民族の国ではありません。私は大学で日本の文化について学んでいます。その中で、アイヌ文化について学んだこともあります。言語使用者が100人を切ると、その言語が消滅の危機にさらされます。現在、北海道にある179市町村の名前は、おおよそ80%ほどが何らかの形でアイヌ語に由来しているにもかかわらず、アイヌ語は消滅の危機にさらされています。アイヌ文化への保護が課題になっています。アイヌ文化について調べたり勉強したりすることを通じて、私はアイヌ文化に興味を持つようになり、北海道でアイヌ文化を体験したいという思いがありました。

したがって、私は奨学金を使って、北海道でアイヌ文化を実際に体験しに行きました。現地の自然環境を実感し、ウポポイや平取町立二風谷アイヌ文化博物館などのアイヌ文化に触れられる施設を訪れ、現地のイベントに参加することによって、テキストでは学べない貴重な経験を心得、地元の魅力を深く味わいました。この経験を自分の課題研究にも活かすようにしました。

これからも続けて日本の文化をより深く学んで、日本の中でも文化が違うところを体験して、理解していき、その魅力的なところを味わいたいです。そして、日本の様々な文化を世界中に発信していきます。

RINGGID REBECCA (インドネシア) 上智大学



大学卒業後、就職する予定です。幼稚園から大学まで、私は勉強することしか知りませんでした。そのため、実際にキャリアを積めることが楽しみです。働くことは学生の時に比べて責任重大で失敗には責任が伴うと聞いていたので最初は不安でした。しかし、訪れるチャンスは逃さず、自分の仕事にベストを尽くすつもりです。仕事をしつつ、新しいことを学びたいです。仕事に慣れたら、ヨガや絵画など、私が興味のあることを習いたいです。オランダ語や韓国語などの新しい言語も学んでみたいです。趣味のように見えるかもしれませんが、私にとっては人生の中で

新しいことを学ぶことに変わりはありません。

将来は、大学院でビジネスを勉強することも考えています。日本で行きたい学校は決まっていますが、他の国への留学も視野に入れています。しかし、大学院に行くなら、今度は両親の援助を受けずに自分のお金で通う、と心に誓ったので、この目標を達成するのはかなり先のことになります。

また、大学院に通う前に、旅行もしたいです。私の夢はバルカン半島を訪れることなので、いつか行けるといいなと思っています。両親、特に父はいつもタンザニアのセレンゲティに行きたいと言っていたので、旅行に連れて行きたいです。学生時代、私は旅行に行くことや課外活動をする機会がありませんでした。

MYAGMARJAV MUNKHSHUR (モンゴル) 北海道大学



共立メンテナンス奨学金を受けて過ごした1年間は、私の学業において大きな転機でした。この奨学金は、期待通りのサポートを提供でき、自らの能力を最大限に引き出す機会を与えてくれました。この経験を通じ、将来に向けた大志を抱くことができました。

最初に述べたように、この1年間で私は学業を充実させ、研究提案書を作成し、学士3年目を終えることができました。奨学金は、学業に集中するための経済的な心配を軽減し、私に余裕と自信をもたらしました。その結果、新たな知識やスキルを獲得し、自分の専門分野での深い理解を深めることができました。

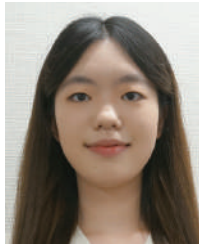
奨学金を受ける者として、私は今後もこの経験を後に続く学生たちと共有し、奨学財団の支援に感謝の気持ちを示すことが重要だと考えています。共立メンテナンス奨学金を受けることはただの経済的な援助だけでなく、個人の成長や社会貢献への一歩ともなります。私はこの経験を通じて得たものを未来の学生たちと共有し、大切にすることを心から誓います。

2023学年度の共立メンテナンス奨学金の受給者として卒業するにあたり、私はより一層の研鑽と社会貢献に向けての大志を抱き、感謝の気持ちを忘れずに歩んでいきたいと思っています。この奨学金を通じて支えられた一人として、未来への希望と責任を胸に、進んでいく覚悟をお持ちしております。

今後の成果を共立国際交流奨学財団の皆様と共有できることを楽しみにしております。これからも何卒宜しくお願い致します。

そのため、私が働きはじめた今は、実際にやりたかったことをするための時間とお金があることを期待しています。働くことは簡単なことではないと思いますが、以前よりもやりたいことをする機会が増えたと思います。新しいことを学び、経験できる未来に胸が高鳴ります。

WANG CAIXUAN (中国) 東京外国語大学



一年間の奨学金のご支援をいただき、心から感謝しております。奨学金のご支援があり、学業やサークル活動等に当てる時間をより多く確保することができました。この一年間を通して、学内で様々な分野の知識を学び、大学院へ進学することを目指すことになりました。

AI技術の進歩に伴い、言語教育にも新たな可能性が広がっており、日本語教育学の分野にAIを活用した研究を行いたいと考えています。AIを活用することによって、個々の学習者のニーズに合わせたカスタマイズされた教育プログラムの開発が可能となり、言語教育の効果を最大化できると考えています。

現段階の考えにおいては、リアルなシチュエーションを設定し、対話シミュレーションを通じて、学習者が様々な場面に対応可能なスキルを身につけることを目指す自然な会話ができるような会話練習プログラムを研究したいです。理由としては、学習者の日本語熟達度を測るテストや評価方法が多く存在する中で、語彙や文法を重視するあまり、会話練習を後回しにしてしまう傾向があると感じました。その結果、高いスコアを獲得したとしても、実際はコミュニケーションができないという問題が多々発生しています。

また、教科書に掲載されているテキストは、場合によって実際の会話では使われないものや、時代にそぐわないものがあり、真正性のないものがいまだに存在しています。そのため、AIを効果的に組み込むことは、教育の質を向上させることが可能となり、教師はAIを活用しつつ、独創的且つ柔軟なコース設定や教育アプローチを取り入れることによって、学習者のコミュニケーションスキルを向上させる手助けをすることが期待されます。

最後になりましたが、ご支援のおかげで、この一年間安心して勉学に励むことができ、充実した生活を送ることができました。残りの学生生活も目標に向かって頑張りたいと思っています。

PRISCILLA GIOVANNI (インドネシア) 文化学園大学



私は子どもの頃から何事にも好奇心旺盛で、また、絵を描くことなどの想像力を発揮することが好きでした。そして高校生の時に、日本の建築やインテリアに関するニュースを見て日本に興味を持ちました。当時はまだ将来について明確な目標を立てていませんでしたが、日本の大学でインテリアを専門的に勉強することを選択し日本に留学しました。

私は最初、インテリア関係の職業はインテリアデザイナーとインテリアコーディネーターしか知りませんでした。しかし、大学で勉強をしていくうちに、インテリアに関わる職業には様々な職業があると知りました。「人間環境学」という授業で室内のレイアウトが人々の生活や感情に大きな影響を与えることを実感し、私はセットデザイナーになりたいと思うようになりました。

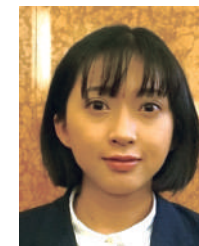
セットデザイナーは舞台や映画のシーンに合わせたインテリアをデザインし、シーンの雰囲気を変えたり、登場人物の性格やライフスタイルを反映させたりする重要な役割もっています。

私は将来大学で学んだインテリアの知識を活かし日本または母国で観る人が作品やストーリーに没頭し、感動できるような舞台や映画のセットデザイナーとして活躍したいと思っています。セットデザイナーになるためには、私自身のクリエイティビティを高めることやトレンドを見極める能力、そして周りの人々と協力する能力が必要だと考えています。

今年度は奨学金を頂いたおかげで勉学に集中することができ、セットデザイナーになるための能力を磨くことができたと思います。

来年度は、実習などを通してクリエイティビティや技術を向上させることはもちろん、プレゼンテーションやグループ作業でのコミュニケーションスキルを磨きたいと思っています。これからも奨学金を頂いたご恩を忘れずに勉学に励み、将来の夢を叶えたいです。

WU YUNTZU (台湾) 日本映画大学



私は映画を勉強したいため、25歳の時来日し、日本映画大学に進学することを決めました。しかし、大学での学費や生活費は、私の家計に大きな負担となるため、奨学金を活用することにしました。

来日して三年間、バイトを重ねて、いい成績を得るために、学校とバイト先しか通ってなかったが、去年参加させて頂いた奨学金の授与式は、異国で自立する苦勞が認められたと感じて、今までで一番光栄な儀式でした。奨学金を取ることは正しいことだと思っています。

奨学金を頂いたことにより、経済的な負担が緩和され、学業に一層、力を入れることができました。去年の春から夏まで、校内の三年三科技術合同演習で全力を尽くしました。奨学金のおかげで、バイトを減らした時間で、学校から帰った後、自宅で作品に関わる美術道具を制作をするなど、作品や実習に対してしっかり向き合える時間が増えた。チームと一つの作品を全身全霊で作出し、先生たちと先輩にいい評価をもらうことができました。映画制作におけるチームワークの大変さを体感しました。

現在、大学三年生も終わろうとしており、就職活動のことも考えています。経済的な支援を受けながら、将来の就職に向けての準備を進めることができるのは、とても心強いことです。私は映画を通じて、台湾と日本の文化が織り成す歴史と物語を人々に伝え、人々の心に感動を与えたいと同時に、異文化交流の橋渡しをすることで、両国の関係をより深めていきたいと思っています。

将来の夢に向かって大学生生活を謳歌するためにも、奨学金は大きな支えとなることだと思っています。私はこの奨学金を頂いたことに感謝し、その恩返しとして成果を挙げることを誓います。

TRIEU TU SAN (ベトナム) 静岡大学



この度は、共立メンテナンス奨学基金様からの温かい支援と信頼に深く感謝申し上げます。私にとってこの一年間は、学問の追求だけでなく、文化交流の場としても、計り知れない価値があるものでした。

私の大志は、日本でのさらなる進学を経て、生物科学研究の分野での専門家としてキャリアを築き上げることです。日本は生物科学と技術の進展において世界をリードしており、特に細胞治療や再生医療の研究においては、類を見ない成果を上げています。この先進的な環境で学び、研究することは、私が母国及び世界の生命科学分野に貢献するための強固な基盤を築くことに繋がります。奨学生OB・OGとして、私は日本での研究活動をさらに深め、将来的には日本の大学や研究機関でのポジションを目指します。

私の目標は、細胞治療や再生医療に関する画期的な研究を行い、難病の治療法開発に貢献することです。また、日本と母国の間で科学技術の交流を促進し、両国の科学研究の発展に寄与したいと考えています。共立メンテナンス奨学基金様の支援は、私がこの野心的な道を歩む上での大きな励みとなりました。この奨学金は、私にとって学問的な追求だけでなく、異文化交流の機会を通じて、グローバルな視野を持つ科学者として成長するための基盤を提供してくれました。

今後、日本での学術キャリアを通じて、私はこの恩恵を社会に還元し、生物科学の分野での国際的な協力と進歩に貢献していく所存です。貴基金の更なる発展と、支援を受ける将来の学生たちの成功を心より願っております。

VO THI KIM VAN (ベトナム) 滋賀大学



このたびは、2023年度の共立国際交流奨学財団奨学金奨学生に選出いただき、心より感謝申し上げます。貴財団のご支援のおかげで、充実した留学生活を送り、日本での学びに深みを加えることができました。

私は現在大学4年生で、いよいよ今年の3月に卒業することになります。日本に住んでいるのは6年目となり、その間、大変なこともあります。喜びに満ちた出来事や挑戦を通じて、自分は幸運だと感じています。日本での留学を決意した時から今まで、目標や夢がたくさんありました。その夢に向かって努力し続けた過程を、こ

こでお伝えしたいと思います。

まず、2年間の日本語学校での学びを経て、滋賀大学経済学部に進学することができたことです。入学後、様々なボランティア活動に参加する中で、素晴らしい人々に出会い、日本の文化に触れる貴重な機会を得ました。これらの経験は、国際社会での貢献を目指す私にとって、大きな財産となりました。

また、大学生活と並行して、貿易会社でのアルバイトにも挑戦しました。そこで学んだ日本のビジネスマナーやコミュニケーションスキルは、今後のキャリアにおいて大きな助けとなることでしょう。

そして、共立国際交流奨学財団奨学生に選出されたことは、私の夢のひとつでした。この奨学金を受け取り、更なる学びと成長の機会を得られたことに、心から感謝しています。

大学で学んだ経済学やデータ分析の知識、そしてアルバイトで培った経験を活かし、私は2024年4月か

ら大阪にあるIT企業でシステムエンジニアとして働くことになりました。入社後の目標は、一人前のシステムエンジニアとして成長し、将来的にはコンサルタント職に進むことです。この道のりがどれだけ厳しいものであろうとも、私は自らのモットーである「できるかどうかではなく、やるかやらないかが重要だ」という信念を胸に、前進し続けます。

貴財団と共に歩んできたすべての方々に、深く感謝申し上げます。貴財団のご支援が、私の今後の活動が、日本とベトナム、そして世界の架け橋となるよう努めて参りますこととお約束申し上げます。再度、心よりの感謝を申し上げます。

LEE JIA XIAN (マレーシア) 鳥取大学



この一年間、奨学金をいただいたおかげで、経済面に心配することなく、勉強に集中できる上、学業以外の活動に参加し、留学生活を楽しむこともできました。もともと日本の文化と歴史が好きな私は、それをきっかけとして、地域の色々な活動に活躍することができて、地域住民との交流が深まりました。

一番印象に残ったのは、今年の夏、鳥取三十二万石お城まつりの時代行列に、殿様役として出演させて頂きました。一般観客ではなく、祭りの一員として、さらに日本人さえあまり経験できない役割として参加させて頂き、実にありがたいお話でした。また、米子がいな祭にもボランティアとして委員会に参加し、イベントの設置、運営、撤去などの作業に手伝いました。真夏の中に、三日間連続深夜まで作業して、とても疲れたが、異なる視点で日本の文化を見ることができて、さらに近い距離から花火大会を見ることができて、すごく楽しかったです。

上述した地域活動に参加することによって、大学生活では絶対に会うはずもない、たくさんの地域住民と知り合いました。そこから、定期的に地域住民に英語や中国語を教えたり、一緒にご飯を食べたり、一緒に旅行したりすることになり、今まで想像さえできなかった充実した留学生活を送ることができました。さらに、地域の方々から、自分の多言語能力を活かせる機会を紹介していただきました。米子空港で香港からの観光客の歓迎業務や、大山で結婚式を行う香港人カップルの案内など、架け橋として、日本を世界と繋ぐことによって、大変貴重な経験を手に入れました。

奨学金をいただいたおかげで、以上のすべてが可能になりました。私はこれから、勉強と研究に励み、日本の文化を学びながら地域との交流を大切にして、留学生活をさらに充実していきたいと思います。また、架け橋として、日本の文化、歴史、伝統だけでなく、日本人の親切さと暖かさを含み、日本の美しさを世界に発信すると誓います。



鳥取三十二万石お城まつりの時代行列



米子がいなまつりで提灯準備



餅つき体験

QUACH VAN HUONG (ベトナム) 東北電子専門学校



貴財団から奨学金をいただいてから、もうすぐ1年間が経とうとしています。私の留学生活は大きく変わりました。学校での様々な活動に活発に参加でき、貴財団からいただいた奨学金は学費の支払いに使い、残りは日本を旅行してより深く理解するために費やしました。奨学金のおかげでアルバイトの時間が減り、その代わりに勉強する時間が増えました。結果的に、日本語能力試験N2に合格することができました。貴財団に本当に感謝しています。

今年の4月からは専門学校の2年生になります。学校の知識だけでなく、日本の文化、経済、教育、科学技術、特に日本の商業についても深く理解したいと思います。

専門学校を卒業した後、約10年間、ビジネス関連の企業で働きたいと考えています。その後、日本の電子製品を輸入し、ベトナムで販売する会社を立ち上げたいと考えています。ベトナムの人々が日本の電子製品を好んで購入し、高く評価していることに気付いたためです。現在は将来の自らの会社を運営するために、マーケティングについて学んでいます。また、日本の電子製品の市場調査も行っています。

また、就職活動に際して、貴財団からビジネス関連の企業を紹介していただけると幸いです。再び、奨学金を提供していただいた貴財団に心から感謝いたします。貴財団からの支援を忘れることはありませんし、常に感謝の気持ちを持っています。

社会の発展に貢献し、自己の成長に努めるために、私は常に努力し、学び続け、知識を深めることを決意しています。そうすることで、社会に役立つ存在になれると信じています。

TRUONG THI HIEN (ベトナム) 日本外国語専門学校



私は今年のはじめに、書初めで「夢の実現」という字を書きました。

私は奨学金をいただいたおかげで、充実した学生生活を送ることができました。そして、学生生活を通して、前向きに自分の人生と向き合い、夢をもち、それを実現するために努力することの大切さを学ぶことができました。

専門学校入学当初は、ゆっくり食事をする間もないほど、毎日勉強とアルバイトに追われていました。とにかく、毎日を一生懸命に生きることを考えて日々を過ごしていました。そのような日々を送っていても、絶対を守ることを誓った自分のルー

ルがありました。それは、何が起こっても不平不満を言わないこと、自分が置かれた境遇への不満を他人のせいにはしないこと、困難に遭遇したときは「必ず解決方法があるはずだ」と考えることです。自分が置かれた境遇を人のせいにして、誰かを責めても前に進めないと思ったからです。過酷な環境は、前向きに自分の人生をより良いものにするために困難を乗り越えられる自分だからこそ与えられた試練だと思い、努力をし続けることをあきらめませんでした。

その結果、共立国際交流奨学財団様から奨学金をいただく機会を得ることができました。何があっても前に進む強い気持ちを持って努力していれば、誰かが手を差し伸べて背中を押してくれると信じていたので、そのことが実現し、心から嬉しかったです。

奨学金のサポートをいただいてからは、それまで以上に、勉強や就職活動、様々な課外活動により積極的に参加することができるようになりました。そして、たくさんの経験を通して、自分自身の成長を感じ、人としてもっと成長したいという向上心を持つことができるようになりました。私の成長を見守り、サポートしてくださった共立国際交流奨学財団様をはじめ、すべての方々へのご恩は一生忘れません。

私は卒業後、日本で働く予定です。「日本で働く」という長年の夢が実現する時がやってきました。これからは日本で働きながら人として更に成長し、困っている人を助けられるような強い人間になりたいです。

今後も多くの困難なことがあると思いますが、常に前を向いて、学び続けられる人でありたいです。私は、困難を乗り越える強い心と多くの知識、経験を得ることによって人を助けることができる強い人間になれると考えます。成し遂げたいこと、やりたいことがあるなら実行するべきです。実行しないで頭の中で考えているより、今すぐに挑戦することが大切です。これからも未知の世界に恐怖を感じたとしても、私は絶対に逃げずに立ち向かうことを誓います。そしていつか、様々なことに立ち向かって戦っている人たちの力になれるような優しく、強い人間になることを今後の目標にいたします。

BARMON SAMIR CHANDRO (バングラデシュ) 名古屋モード学園



私はバングラデシュで生まれましたが、将来的に日本で衣類関連の貿易ビジネスを展開したいと考えています。日本のファッション産業は世界的に有名であり、その市場でビジネスを行うことは非常に魅力的です。日本のファッション市場は常に新しいトレンドと需要があり、私のバングラデシュのルーツとアジアの文化的なつながりから、この市場で成功する可能性を感じています。

日本のファッション市場に進出するには、地域のニーズとトレンドを理解するこ

とが重要です。日本の消費者は品質とデザインに重点を置き、伝統的な価値観と革新的な要素を組み合わせた製品に関心を示します。私のバングラデシュの背景から、手工芸品や伝統的な柄を取り入れた衣類を提供することで、日本の市場で差別化を図ることができるでしょう。

また、日本のビジネス文化や法律にも精通する必要があります。効果的なビジネス戦略を立てるために、現地のパートナーシップやコンサルタントの支援を活用することが不可欠です。また、日本の消費者の嗜好や購買行動を調査し、市場に適した価格設定とマーケティング戦略を策定することも重要です。

最後に、持続可能性と社会的責任を考慮したビジネスモデルを採用することが重要です。日本の消費者は環境に配慮した製品や企業に対して好意的な傾向があります。したがって、環境への配慮や労働者の福祉に焦点を当てたビジネスアプローチを採用することで、日本の市場での信頼と成功を築くことができるでしょう。

日本のファッション市場は競争が激しいですが、その魅力と機会は未だに多く存在します。バングラデシュの熟練した労働力と日本のニーズに合った製品を提供することで、将来的に日本で成功を収めることができると信じています。

劉 真岑 (中国) 専門学校ESPエンタテインメント大阪



奨学金の支援を1年間受け、振り返ってみれば私もこの1年間たくさんの貴重な経験をさせていただきました。演劇が好きで留学の道を選び、専門学校ESPエンタテインメント大阪に入学してからもう2年も経ちました。考えたくなくても卒業はもう近づいてきています。私の中のカレンダーも卒業式の日はいつの間にか「重要な日」の印がついています。

この2年間、一番深く感じたことはやはり私は演劇が好きだということです。留学に来たことは私の今までの人生で最もわがままなことですが、でも一番正しい決断です。卒業した後もまだ舞台に立ちたい、いろんな人の人生を演じてみたい、観客に様々な感情を伝えたい気持ちは2年前よりも深くなっています。

私が選んだ道は決して楽な道ではありません。苦しい時も悲しい時も少なくはありません。そういう時は奨学金の恵みで、軽く旅行に行き、気分転換してから勉強に戻るのには私にとってそれ以上ない楽しみです。そのおかげで、今でも夢に向かって頑張っています。外国人が日本で役者になるのは不可能ではありませんが、可能だとも言えないことです。心痛いほど分かっていますが、舞台は私を魅了し、私をここまで導いてきました。

卒業した後も日本に残り、私が役者さんたちからもらった感動を舞台の上で観客に伝えたいと思います。これが私の奨学金に誓う大志です。世界を変えたいくらい大きい夢ではありませんが、私にとっては一生かけてもやり続けたいことです。

最後になりますが、日本で出会った皆様、学校の先生方も、友達になってくれた方々にも心から感謝いたします。もちろんご支援をくださった共立メンテナンス奨学基金財団の皆様にも深くお礼を申し上げます。

SANN ZAR NE KO (ミャンマー) 仙台ランゲージスクール



政治とコロナのせいでミャンマーで大学を卒業するまでいけませんでしたが、それで日本へ来て大学に入学して卒業するまで行こうと思っていました。その夢を目指すためまず日本語学校で日本語を勉強しながら大学入学の準備をしていました。行きたい大学の入学試験を受けて卒業するまで頑張る予定です。

でも生活費から学費までのお金を家族から十分送金してもらえるかを心配していました。進学は経済的な専門学校か、夢の大学か決めなければならぬ迷っている状態になっていました。夢にあきらめないためには奨学金は一つのチャンスだと分かって奨学金を応募しました。大学入学試験は自分の努力で頑張って、学費は奨学金を利用しようと思っていました。何をするか、悩んでいる時共立から奨学金生として選ばれたので大学入学をしにとても助かりました。やる気をもっと出てきて勉強にもっと集中できました。行きたい大学に入学し、学びたいIT関係のソフトウェア情報学科に入ることができました。学費を払うとき貯金した奨学金を生かしました。奨学金のおかげで目指した夢を続けることができ、本当にありがたいものと感じています。自分が大切にしている教育に奨学金をかけることができ、良かったとおもっています。

私は今年の4月から1年生なので卒業するまでの間にもう一回奨学金をもらおうとしたらこういう風に効果的に利用したいです。将来年を取ったら私のような奨学金が必要な学生にも奨学金を支えていきたいと思えます。

MERCADO NICOLE EUNICE LARA (フィリピン) スリー・エイチ日本語学校



ある日、先生が私を呼び出して、学校の代表として共立メンテナンス奨学基金奨学金の応募を試みることに選ばれたことを伝えてくれました。最初、先生から奨学金の話聞いた時、多くの応募者の中からわずかな学生しか選ばれないと知り、私は自分が選ばれる自信がありませんでしたが、試してみることに害はありませんので、やってみました。最後に、挑戦してみてもよかったです。

共立メンテナンス奨学基金奨学金のおかげで、私は日本での目標の一つである日本語能力試験N1に合格することができました。一年間の経済的支援のおかげで、私は日本語の勉強にさらに多くの時間を割くことができました。

また、日本人とより多く交流し、日本についてもっと学ぶことができました。しかし、この奨学金は私にとって単なる経済的支援以上のものです。これは私の能力の認識であり、将来に向けた有望な兆しです。これにより、日本語の学習に自信を持ち、他の人と積極的に日本語で話すことができるようになりました。

この共立メンテナンス奨学基金奨学金は、私に与えられたのは間違っではありませんでしたことを皆様に証明し、日本語の勉強や進歩を通じて表したかった意思が私のもっと勉強するための原動力になりました。

一年の奨学金期間が終わった後も、奨学金の一員としての責任を果たす一環として、学び続けることを誓います。それが日本語の勉強であれ介護の勉強であれ、この奨学金の一年間で積み上げたものを、夢と目標を追求するために活かします。

ACHEEWANUNT LANLALIT (タイ) アークアカデミー新宿校



奨学金を受けることは、私にとって大きな恩恵でした。この奨学金は、生活費の支援と共に、書籍や試験料の費用にも役立ちました。経済的な心配を軽減し、心を落ち着かせることで、より深く学びに集中する時間を得ることができました。この奨学金は、私の学業に重要な支援を提供しました。書籍や参考書の購入により、より多くの知識と情報を得ることができました。また、試験料の負担を軽減することで、試験に集中し、目標を達成する自信を持つことができました。

さらに、奨学金を受け取ることで、私の学習に専念する時間が増えました。経済的な負担が軽減されたため、アルバイトや仕事に費やす時間を減らし、より多くの時間を勉強に充てることができました。

この結果、効果的に学習し、日本語能力試験N3に合格することができました。この奨学金を提供してくれた機関に心から感謝しています。共立国際交流奨学財団の支援がなければ、私の学業やキャリアの道ははるかに困難なものになっていたでしょう。奨学金は私にとって大きな助けとなり、私の夢を追求するための貴重な機会を提供してくれました。

結論として、奨学金を受け取ることは私にとって非常に有益であり、私の学業や将来のキャリアに大きな影響を与えました。この奨学金を受け取ることで、私は経済的な負担を軽減し、より多くの時間を勉強に費やし、最終的に目標を達成することができました。よろしく申し上げます。

LOW XI ZHANG (マレーシア) アジア学生文化協会



私は奨学金を受けることで、自分の大志を実現し、社会に貢献することを誓います。奨学金は単なる財政支援だけでなく、将来の夢を叶えるための重要な一歩です。その価値を理解し、感謝の気持ちを持ち続けます。

まず第一に、私は奨学金を通じて学業に専念し、自己成長に努めます。この奨学金が提供する機会を最大限に活かし、優れた教育機関で知識やスキルを磨きます。自分の限界に挑戦し、新たな分野にも積極的に取り組むことで、将来的には専門家として力を発揮できるよう努めます。

同時に、奨学金から得た知識や経験を社会に還元することもお約束します。地域社会や国際社会で自分のスキルや知識を活かし、持続可能な社会の実現に向けて貢献します。例えば地域の課題へ積極的に取り組み、人々の生活向上プロジェクトに参加します。

さらに、奨学金を通じて築かれる国際的なつながりを大切にし、異なる文化や価値観を理解し合います。異なるバックグラウンドを持つ人々と交流することで、新たな視点やアイデアを得て、より広い視野で社会問題に取り組みます。また国際協力の場でも自分が培った専門知識を活かし、世界の課題に対して責任ある行動を取ります。

最後に、奨学金の恩恵への感謝の気持ちを忘れず、将来的には同様の支援が必要とする人々へのサポートも行います。教育機会が限られている状況下で奨学金や教育プログラムを通じて手助けし、彼らが夢追い人として自立する力を与えることは私の責務だと考えます。

これらの誓いを胸に私は奨学金受給者として新たな扉へ進んでいきます。奨学金は私の大志への支えであり、その恩恵を社会全体に広げるための手段です。私は効果的にこれを活用し、社会への貢献を果たします。

陳 啓 (中国) 共立日本語学院



この度、共立メンテナンス奨学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は、奨学金を受け取ることができたことを誇りに思っています。この奨学金は、私にとって大きな助けとなり、私が大学でまなぶことをかのうにしました。

私は、経営管理の分野に興味を持っており、将来的には自分自身が起業することが目指しています。しかし、私自身の力だけではまだまだ未熟であり、学びや経験が必要不可欠だと思っています。そこで、日本の経営管理において世界的に高い評価を得ている大学で学ぶことが私の目標です。

私は、奨学金を授与してくださった方々に対して、心から感謝の気持ちを抱いています。この奨学金を受け取ったことで、私は自分自身の成長に繋がることを誓います。私は日本の大学で学ぶことにより、世界的に評価される経営管理の知識を身につけ、さらには、日本独自のビジネススタイルや文化を理解することができると考えています。

そして、卒業後は日本で就職することを考えています。日本での就職経験を通じて、日本のビジネス文化や経営管理のノウハウを深く学び、自分自身のスキルアップに努めたいと思います。

そして、日本で就職経験を活かし、自分自身の力で起業することを目指します。この奨学金を受け取ることで、夢を実現するために努力し、また、社会に貢献するための人材となることも目指します。そして、いつか自分が受けた恩を返せるように、自分自身を高め続け、社会に貢献することも私の夢です。

最後に、この奨学金を授与してくださった方々に、心から感謝を申し上げます。私は、この奨学金を大切に使い、自分自身を成長させ、将来的に社会貢献できる人材となるよう、努力してまいります。

SAT PAING LWIN (ミャンマー) 新宿日本語学校



奨学金は、授業料の負担を軽減するための単なる経済援助として認識されることがよくあります。しかし、私にとって奨学金はそれ以上のものです。それらは私の努力に対する認識であり、私の可能性への信頼の表明です。奨学金は高等教育を追求する手段だけでなく、卓越性を追求する動機も提供します。彼らは、献身と結びついた野心は認められ、報われるということを思い出させてくれます。

この奨学金は私にとって誠に意味があり、私の教育目標の達成にどのように役立つか、言葉では言い表せません。今まで、奨学金を貯めています。奨学金のか

りの部分を学費の支払いに使います。日本語の学校の卒業後、ITの専門学校に進学するのは私にとって、貴重なスキルを身につけるための素晴らしい機会だと思います。奨学金のおかげで、経済的な負担を軽減し、費用のことを心配しないで勉強に専念できるようになります。奨学金他の部分を学外活動やインターン

シップ参加にも利用するつもりがあります。これらの経験は、実践的なスキルの向上に繋がり、将来のキャリアに役立つことだと思っています。

総括すると、この奨学金は私の教育に対する貴重なサポートです。学費、教材、生活費、さらには実践的な経験まで、奨学金は私の学習のあらゆる面までに援助してくれます。私が奨学金を受け取ることを誓った野心は、個人的および学業の成長に対する私の献身と、世界にプラスの影響を与えるという私の決意を反映しています。奨学金を受け取ることは私の野心の集大成ではなく、むしろより大きな目標への足がかりです。この機会を有効に活用し、未来に向けてしっかりと歩んでいきたいと思っています。

この奨学金を提供していただき、心より感謝しています。貴重な機会をいただき、これを大切にしていきたいです。

KIMBERLY KAYLA RUDIANTO (インドネシア) 文化外国語専門学校



奨学金は私にとって、夢を追い求め、目標を達成するための扉を開くための一つの方法だと思います。私の大志は、日本でファッションを学んで、私の国インドネシアに私が大好きな日本のファッションの影響を受けたファッションをもっと広げたいということです。またもう一つは何の体形でもアクセスできるブランドを作ることです。この大志を達成するために、私は奨学金を通じて誓いを立てます。

私が日本でファッションを学びたい理由は、世界、特にアジアで日本が先駆けているファッションの文化は革新性を持っているからです。中学校の時から私は日本のファッションやサブカルチャー系に憧れていたんですが、国でそのような服装を見つけるのは難しく、まれにあっても値段が高く、クオリティがあまり良くなかったんです。日本でファッションを学ぶことで新しい視点や技術を取り入れ、母国にあの頃私が欲しかったファッションを提供できるようになりたいと考えています。奨学金を受けることで、私は専門的な知識を深められます。日本のトップファッション専門学校で学ぶことで、最先端のデザインや製作技術に触れ、世界中で評価されるスキルを身につけます。

この奨学金は私の未来を形作る重要な一歩です。私はその一歩を踏み出すことで、日本のファッションの奥深さを学び、母国に新しいファッションの波をもたらす存在になることを目指します。奨学金を授かったことに感謝し、その感謝の気持ちを具体的な行動に変えることで、自らの夢を追い求めることを誓います。

PWINT PHOO NGON (ミャンマー) アンランゲージスクール



このたび奨学金のご支援をいただきまして、誠に感謝しております。ありがとうございます。

私は少しでも家族の経済的負担を減らしたいと思い、応募させていただきました。奨学金のご支援のおかげで、アルバイトの時間を減らしても生活することができ、勉強の方に集中して取り組むことができいております。奨学金をいただいたことで、自分の中に少し余裕ができ、本当にうれしいです。奨学金の一部は母国の必要となるところへの寄付金として使わせていただきました。

母国では現在の教育カリキュラムは軍事政権時代に作られたものであり、大部分が暗記教育です。軍部は政権を安定させようと国民から秀才を生み出すことを防ごうとした意図があると思われます。そのせいで、記憶はできても、考えて行動できる人は本当に少ないというのが実情です。

そして、高校卒業試験の点数と居住地によって申請できる大学が決まります。母国では教師は基本的に足りません。都市部では足りていますが、都市部から地方へ行って教えたいたい人がほとんどいないので教師は足りません。

したがって、私は母国の教育制度を変える一助になりたいと思い、上智大学総合人間科学部教育学科に入学できることを目指しております。今の日本語の知識や教育に関する知識はまだ満足できないと思い、中央工学校グローバル科に入学いたしました。来年は上智大学に入学できるよう、より一層勉学に励みたいと思います。

最後になりましたが、ご支援をくださった皆様への感謝を忘れず、将来の夢を叶えるために精一杯頑張ります。本当にありがとうございました。

ALE MAGAR ARUNA (ネパール) 名古屋教育学院



奨学金を授与していただき心から感動しています。この奨学金は私にとって大きな機会であり、私の教育や及び将来に重要な一歩です。この奨学金を受け取ったことで、私は自分の夢や目標に向かって進むために支援を受けることができている。奨学金を受けることはただお金を得ることだけではなく自分に自信を与え、自分ののに努力が認められていると感じています。

私の目標は、自分自身を成長させて母国貢献することです。私の目標は自分の経験と教育から得た知識とスキルを使って母国にポジティブな影響を与えることです。奨学金を得たことで、自分の目標に向かってさらに学びを積み重ね、成長していく機会を手に入れました。

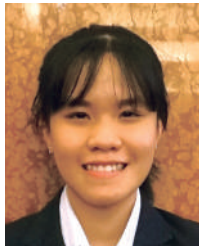
奨学金に誓う大志は、ただ単に学業成績を上げることではありません。それは、与えられた祝福に感謝し、その祝福に報いるために、自らの努力を惜しまず、頑張ることです。私はこの奨学金を受け取ったことで、自らの成長と母国貢献の両面で、最高の努力を尽くすことを誓います。

私は将来ホテルの仕事に就き、様々な知識やスキルを学び母国でみんなに伝えて、自己成長させるサポートをしたいと考えています。そのために一生懸命勉強し、様々な知識や経験一を身につけます。

また、この奨学金を受けたおかげで日本語学校での勉強を一生懸命頑張り、自分が学びたい分野の専門学校の試験に合格できました。さらに自分の能力に挑戦し、夢を追う勇気をいただきました。これからの道のりは簡単ではありませんが、この奨学金サポートを受けて、自信を持って前に進んでいきたいと思えます。

最後に、この奨学金を授与していただいた皆様に心から感謝申し上げます。私はこの奨学金を受けることでチャンスを最大限に活かし、自己成長だけでなく、周りの人々や社会にも貢献して、自らの大志に向かって進んでいくことを誓います。

PHAM DANG KHANH (ベトナム) ISIランゲージスクール京都校



私はベトナムから来た留学生です。日本で勉強することは私の夢でした。高校時代には、日本語を独学で勉強し、日本の文化や歴史にも興味を持ちました。ISIランゲージスクール京都に通っている事を通して、奨学金を探しました。幸いにも、(株)共立メンテナンス奨学基金の奨学金を受けることができました。この奨学金は、日本とアジアの友好関係を深めることを目的としています。

この奨学金に誓って、私は日本での学生生活に全力を尽くしました。私は日本語の能力を高めるだけでなく、日本の社会や文化にも積極的に参加しました。私は日本人の友達と交流し、日本の伝統や習慣を学びました。また、留学生生活アシスタントとして、他の留学生のサポートもしました。私は日本のことをもっと知りたいと思いました。

私は日本での勉強を通して、自分の専門分野にも興味を持ちました。私はバイオ技術学科を勉強する予定です。企業や団体で、バイオ技術に関する研究所、企業で働きたいと思います。これにより、自分の専門分野の応用力やビジネススキルを高めるとともに、社会的なニーズに応えることができます。

私は奨学金に誓って、日本とアジアの架け橋になりたいという大志を持ちました。私は奨学金を与えてくれた(株)共立メンテナンス奨学基金と(一財)共立国際交流奨学財団に感謝し、その期待に応えるために努力し続けます。私は日本での学びを無駄にしません。私は奨学金に誓う大志を実現するために、日本での留学生生活を最大限に活かします。

AYE ZAW LATT (ミャンマー) ヒューマンアカデミー日本語学校大阪校



2023年度に(一財)共立国際交流奨学財団奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。奨学金のおかげで、私はこの一年間を無事に過ごすことができました。

この一年間は、大学選びの旅でした。進学相談会に参加したり、学校の進学指導担当者と相談したりする中で、自分にふさわしい大学を見つけることが課題でした。

しかし、最終的には、自分が一番行きたいと思う大学を見つけ、オープンキャンパスに参加しました。その大学は、経営学科とIT学科を国際的に学べる環境を提供しています。さらに、グローバルなリーダーを育成し、多様性を尊重する文化を持っています。そういうことで、私の第一希望の大学となりました。近いうちに日本語学校を卒業し、その大学に入学する予定です。

共立財団のご支援のおかげで、私は自分にぴったりの大学を見つけ、グローバルに活躍し、社会に貢献する自分をイメージすることができました。大学で国際ビジネスを学ぶことになり、さまざまな分野に触れながら、グローバルな視野を持つリーダーとして成長したいと考えています。

昨年は、日本語と英語を熱心に勉強しました。大学でさらに多くの人々と交流し、日本の文化を理解しながら自分の国の文化を紹介し、国際的な交流を促進したいと思っています。これが私の大志です。

最後になりますが、共立財団のご支援に心から感謝申し上げます。この恩を返すために、私は社会に貢献し、世界に良い影響を与えることを目指します。

LE THANH MAI (ベトナム) 神戸外語教育学院



ベトナム関係が世界中の各国の関係と近づくと言う夢を私が持っています。それで、国内で大学に進む代わりに、外国に留学することを選びました。

たくさん留学出来る国の中で、私は日本への留学することにしました。なぜかと言うと、日本とベトナムは数十年前外交関係を樹立しました。政治や経済、文化、スポーツ等の幅広い分野において、また、首脳から草の根レベルに至るまで、日越間の友好・協力関係は発展し続けています。それだけでなく、日本は四季折々に美しい景色があり、世界最高の教育を受けており、政府が常に国民の権利を気にか

けている国です。

したがって、私は国際学部を選び、英語と日本語を流暢に話せ、仕事や人生に必要なスキルを学びます。それから、大学を卒業して日本で就職するとき、私が選んだ会社のベテランになり、最初は経験を積んで、後で自分の会社を設立することができます。大志は小さなことから始まります。試してみる時間はたくさんありますが、両親は年をとって弱くなっています。

したがって、私はいつも成功のスピードは親の老化率よりも速くなければならないと思います。そうして初めて、私は家族の世話をし、愛する人の世話をし、家族と出会い、世話をする機会がたくさんあります。

ベトナムにはある「バラでいっぱい道はなく、棘があるに違いない。成功するための躓きがある」と言うことわざです。それで「偉大なことを成し遂げる為には、行動するだけでなく、夢を持ち、計画を立てるだけでなくではない」。

2023年度ヤングスチール(株)奨学生 「奨学金に誓う大志」作文

ヤングスチール(株)奨学金に採用された学生には、奨学金の支給期間の終わる年の2月に「奨学金に誓う大志」作文を提出してもらっています。

学校を卒業し、OB・OGになった奨学生がいつでも「奨学金に誓う大志」作文を読み返し、初心に戻ったり、学生時代を懐かしんだりできるようにとの想いから、本誌に「奨学金に誓う大志」作文を掲載し、奨学生へ配布しています。

今回は、2024年2月に提出された、2023年度ヤングスチール(株)奨学金奨学生の「奨学金に誓う大志」作文をご紹介します。

※文章は学生の原稿をそのまま掲載しています。

ヤングスチール(株)奨学金 奨学生一覧表

No.	氏名	学校名	所属	国籍
1	鄭 多賢	津田塾大学	総合政策学部 総合政策学科	韓国
2	金 成珍	HAL東京	CG学科	韓国

鄭 多賢 (韓国) 津田塾大学



日本共立国際交流奨学財団の皆様、今年度は支援留学生としてお迎えしてください、誠にありがとうございます。皆様のご支援の下、無事に学生生活に専念することができました。2023年は、津田塾大学がトランスジェンダー学生の受け入れを発表した時期です。私は卒業論文プロジェクトとして「アメリカの女子大学におけるトランスジェンダー学生の受け入れ」に関して研究しながら、津田塾大学がよりインクルーシブなキャンパス環境を整えるべく、多様な活動に参加していました。その中、何より感謝すべき成果は、卒業後、神戸大学大学院への進学という

方向性が決まったことです。今後、ジェンダーと国際移動の関係に対する理解を深め、移住・難民女性および性的マイノリティの生活上の困難を支援できるように、頑張っていきたいです。

最近イスラエルにおけるガザ地区への紛争によって世界各地でデモが行われています。すべての利害関係を越えて平和を念願する心一つで動いている人々がいます。人種、階級、性別、年齢、国籍、… 多様な背景を持つアイデンティティが奮闘する複雑な世界で、平和というのは最も積極的な形の能動態かもしれません。私の将来の希望は、UNHCRで女性とクィア難民をエンパワーできる政策提言のため、フィールド調査を行い、難民の保護活動に関与する研究者になることです。法のグレーゾーンに置かれる女性とクィア難民への支援策について研究し、女性・クィア難民にとって少しでもより安全な世界を作るために貢献したいです。

金 成珍 (韓国) HAL東京



私は韓国から来た留学生のキムソンジンと申します。

夢を叶えるために大きな決心をして、日本で留学生活を始めました。今の学校へ来て2年が経ち、現在は卒業を目前に控えています。日本に留学する前は、私は目標も目的もなくただ生きていただけでした。そんな私に今回の留学生活はいろんな経験を与えてくれました。これからもっとよりよい人生を送るための踏み台になってくれました。

現在、私は3DCGモデラーという夢があります。夢を叶えるために今も走り続けています。日本での留学生活は何一つとして簡単なものではありませんでした。言語から始まり、デザイン的感覚やソフトウェアの取り扱い、他の国での生活など、常に生き残り勝たなければならないのだということを感じました。いつもすべてのことをうまくやりとげたいと思いました。競争に勝たなければならないという意識で自らを追い詰め、大変な時期もありました。新しく付き合った日本人の友達と先生方、留学生活をしながら会った色々な方の縁のおかげで、今まで以上に良い自分になることができました。日本での留学生活は私にとって本当に宝物のような時間でしたし、これからもそうでありたいと思います。

世界的に有名なゲームやアニメを作っているこの日本で、これからCG業界でプロとして乗り越えていく自分のことを考えるだけでも元気が出てきます。日々成長し続ける日本のCG業界の中で、私も一緒に成長して世界的に伸びていける人材になれるように努力します。ありがとうございます。

第26回「日本語体験コンテスト in 北海道」 -U-18日本語体験取材記者-

実施報告

開催日 2023年7月30日(日) 9:10~11:40

開催地 LOTTE HOTEL SEOUL 2F

主催 一般財団法人 共立国際交流奨学財団 ソウル事務所

後援 日本国文部科学省
在大韓民国日本国大使館
全日本空輸株式会社ソウル支店

協賛 株式会社 共立メンテナンス



〈後列左より〉入賞者：尹 譽源、南 ガウル、宋 駿暎、李 昭潤、文 高香
尹 銘濤、薛 有眞、韓 熙珠、陰 叡禎、李 娜眩

〈前列左より〉菊川 長徳 理事長(実行委員長/審査委員)、黒田 勝弘氏(審査委員長)
李 康民氏(審査委員)、玉邑 哲也氏(北海道新聞ソウル支局長)

★入賞者と取材先★

	フリガナ氏名	所属学校	取材先①	取材先②
1	ユン ミョンド 尹 銘濤	忠南外国語高等学校	札幌国際大学	北海道ハイテクノロジー専門学校
2	ソル ユジン 薛 有眞	ソウル外国語高等学校	札幌医学技術福祉歯科専門学校	公立ほこだて未来大学
3	イ ナヒョン 李 娜眩	誠庵国際貿易高等学校	星槎道都大学	北海道情報大学
4	ナム ナム 南 ガウル	鶴翼女子高等学校	北海道日本語学院	星槎道都大学
5	ソウ ジュニョン 宋 駿暎	忠南外国語高等学校	札幌大谷大学	札幌国際大学
6	ハン ヒジュ 韓 熙珠	韓国観光高等学校	北海道大学	藤女子大学
7	ムン ソルビヤン 文 高香	金海三文高等学校	札幌スイーツ&カフェ専門学校	札幌観光ブライダル・製菓専門学校
8	ウム イェジン 陰 叡禎	安養外国語高等学校	酪農学園大学	北星学園大学
9	イ ソン 李 昭潤	祥明大学附属女子高等学校	経専北海道観光専門学校	北海道文化服装専門学校
10	ユン イェウオン 尹 譽源	韓国観光高等学校	北海道大学	小樽商科大学

概要

2023年7月30日(日)に韓国ソウルのロッテホテル2階エメラルドルームを会場に第26回「日本語体験コンテストin北海道」を開催しました。

今年の日本語体験コンテストは、大韓民国の高校生を対象として、1週間に渡り日本の北海道の教育機関(大学・専門学校・日本語学校2か所以上)、文化施設/地域名所を訪れ、その内容を日本語を使って取材し、その成果をSNSを通じて韓国国内で紹介する企画書を提出してもらいました。

コンテストは、28名の応募者から1次書類審査を通過した10名を選び、これらの10名を2つのグループに分けました。その後、審査員3名からの質疑応答を経て、2次面接が実施され、最終的には、U18日本語体験記者としての役割にふさわしい10名の入賞者が選ばれました。

授与式では、入賞者10名に対して、「日本・取材賞」の賞状と体験取材の費用として1名当り20万円の賞金が支給されました。

今回の入賞者は2024年2月24日までに体験取材を実施し、その結果をまとめた実施報告書を提出してもらいました。これからも日本留学・就業を希望する韓国の学生たちにより多くの機会を提供し、その機会が日本就業及び留学に繋がり、韓国学生たちが日本で大いに活躍することを応援し、期待しています。

入賞者実施報告

※学生の文章をそのまま掲載しています。

【氏名】尹 銘濤 (忠南外国語高等学校)

【取材先】①札幌国際大学 ②北海道ハイテクノロジー専門学校

【取材期間】2024年1月29日～2024年2月4日

2024年1月29日から2月5日までの7泊8日間、北海道各地を弟と一緒に行ってきました。教育機関としては札幌国際学校と北海道ハイテクノロジー専門学校を訪ねてし、地域名所は色々な所へ行ってきましたがその中で一番記憶に残る所は登別地獄谷と札幌雪祭りです。

先に訪問した学校は札幌国際学校で、国際分野に特化した観光ビジネス学科、国際教養学科、心理学科、スポーツビジネス学科、スポーツ指導学科を開設しています。学生の約3割が留学生なので、中国、ミャンマー、台湾、香港、モンゴル、ロシアなど様々な国の学生と交流でき、多様な文化に接し易く、特に韓国の学生も毎年存在するので早く適応できると言うのが長所です。また、全ての学校の建物が橋を通じてつながっていて、学校と契約を結んだ近くのマンションを寮のように利用できるのが寒い北海道の天気にと変わらず移動できるという点もあります。



札幌国際大学

次に北海道ハイテクノロジー専門学校(ハイテク)のオープンキャンパスに参加しました。ハイテクにはITメディア学科、宇宙ロボット学科、AIスマート農業学科、救急救命士学科、柔道整復士学科、鍼灸師学科の6学科があり、先生たちが全て該当学科と関連した職業を持っていた方々なので専門的に学べるというのが長所です。私たちが申請した学科はITメディア学科で、その中でVR専攻とゲーム専攻授業を体験しました。そして救急救命士学科体験でCPRと祈禱館挿入などの体験ができました。終わる直前には日本の立春前の名節である節分(2024.02.03)に対して説明を聞いてピーナッツと豆を来たら扮装をした人に投げながら日本文化に対して分かることができたとし、先生と学生の方々皆親切にしてくださって面白く楽しむことができました。



北海道ハイテクノロジー専門学校

登別地獄谷は支笏洞爺国立公園内の北海道の代表的な硫黄温泉観光地で、札幌-登別温泉間バスを利用したり登別駅からバスに乗って移動することができます。登別温泉ターミナルで下車した後は、上り坂を800m(約12分)ほど登ると展望台から広大な風景の渓谷を見ることができ、その後も下りられる階段や渓谷沿いに建てられた道を通じて風景を鑑賞することができます。この他にも熊牧場や大湯沼池など観光地が一緒にあるので、旅館で一泊しながら観光することをおすすめします。

待望の最後の名所は札幌雪祭りです。1950年に始まり74回目の札幌雪祭りは現在札幌の大通公園、すすきの通り、津戸で7日間開催します。大通会場では1丁目～11丁目まで1.2kmほどの距離に雪像や簡易販売台、色々な企業から出たグッズなどの販売所があり、すすきの会場では氷像が、つどむ会場では雪そりや雪合戦場、雪迷路など各種の遊び物があります。特にコカコーラが今回の雪祭りの代表スポンサーとして参加し、札幌雪祭り74周年記念デザイン缶コーラを販売および贈呈イベントもありました。新型コロナウイルス感染症の拡散以後、4年ぶりに既存のすべての行事会場で開催し、今年の北海道代表キャラクターである日本の「初音ミク」を中心にドラえもん、ポケットモンスター、呪術廻戦のようなアニメーションおよび美術作品が展示されました。

今回の機会を通じて日本の北海道を訪問することが本当に有益で楽しかったです。後で余裕ができたなら行ったことのない北海道の色んな名所を訪れてみたいです。



登別地獄谷

【氏名】薛 有眞 (ソウル外国語高等学校)

【取材先】①札幌医学技術福祉歯科専門学校 ②公立はこだて未来大学

【取材期間】2024年1月10日～2024年1月16日

2024年1月24日から16日までの期間に北海道の大学と文化施設取材をするため、北海道を訪問した。最初に訪問した公立はこだて未来大学(以下未来大)はシステム情報科学部の一つの学部を持っている単科大学であり、AIなどの情報技術の研究と教育に特化した公立大学だ。教務企画部のお方から学校に関する説明を聞き、未来大のキャンパスを一緒に見学することが出来た。未来大は一階からもキャンパス全体が丸見えになると、教室の壁が透明になっているのが特徴だが、こんな設計から自由な研究とコミュニケーションを重視する雰囲気を感じた。

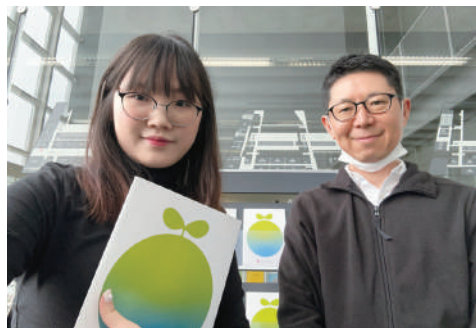
次はロープウェイに乗って函館展望台から函館の雪景を感想した。様々な特産物が集まった北海道らしく展望台内のお土産ショップにはメロン、ラベンダ、海産物、乳剤品などを使用した記念品を販売していた。

特急北斗列車で函館から札幌に移動した後は札幌医学技術福祉歯科専門学校(以下札幌医技)のオープンキャンパスに参加した。札幌医技は介護福祉士科、歯科衛生士科、作行治療士科を含む7つの科を持つ専門大学だ。私はその中で言語聴覚士のオープンキャンパスに参加し、韓国にはまだよく知られていない言語聴覚士の仕事を体験し、札幌医技に関する説明を聞かせてもらった。言語聴覚士は嚥下や聴覚に問題がある人を手伝いながら社会に復帰できるようにする職業である。聴診器で液体を飲む時の音を聞いてみたり、「つるりんご」と言うところみをつける粉を使い、嚥下に問題がある患者に食べ物を飲ませる作業を体験した。

豊富な自然環境と文化施設がある北海道を訪問し、日本の大学を取材して北海道への理解度と自分の日本語コミュニケーション能力を向上させる事が出来た有益な時間になった。



公立はこだて未来大学



札幌医学技術福祉歯科専門学校



【氏名】李 娜岫 (誠庵国際貿易高等学校)

【取材先】①星槎道都大学 ②北海道情報大学

【取材期間】2023年8月5日～2023年8月11日

今回、第26回日本語体験コンテストin北海道という良い機会で日本北海道の学校に訪問し、直接取材ができて嬉しかったです。大学は私が興味を持っている学科がある星槎道都大学と北海道情報大学を取材し、その他にも北海道小樽の美術館を訪問して観覧するなど新しい経験をしました。

星槎道都大学は、訪問当日がオープンキャンパスの日だったので様々な体験ができましたが、中でもプロのイラストレーターに学ぶイラストの授業は芸術の方へ進路を考えている私にはとても役に立ちました。そして授業の体験だけではなく、学校の施設について詳しく説明を聞くこともでき、校内の国際交流センターの関係者の方が同行していただきながら留学生入試に関することをもっと詳しく説明していただきました。特に駅から学校までシャトルバスがあるのも印象的でした。学生たちが各学科で学ぶ専門的なものを将来に実際に実現できるように支援できる施設が整っていたと感じられました。



星槎道都大学



北海道情報大学

北海道情報大学は残念ながら訪問しようとした前日がオープンキャンパスだったので参加できず、出国の前に学校側に個人相談を申し込んで訪問することになりました。校内施設を先に見て回り、広報室で親切に留学生入試について説明していただきました。北海道情報大学は学生たちが気楽で快適な環境で勉強できるようにきれいな施設を備えていて、各学科では学生たちに就職に関する情報を提供したり、専攻を活かせる大会やコンテストに参加して学生たちが自らキャリアを積めるようにするシステムが印象的でした。そして寮もあって遠くから登下校する学生たちや留学生たちが安全に生活でき、寮希望者が多すぎると学校側で連係している他の寮やアパートへの紹介もするので便利だと思いました。

また、日本の北海道自慢の一つである小樽を訪問して、他所ではやったことのない経験ができました。まず4カ所の美術館に訪問して芸術作品を鑑賞しました。各美術館には、特にステイングラス作品が多かったのですが、ステイングラスを作る映像を見ながらどのようにこの作品が作られ、この作品を作るのにどれほど多くの手間と繊細さが必要かを知ることができました。その他にも様々な美術作品を見ながら自分の芸術作品を見る目を高め、その作品を見ながら心を癒すこともできました。オルゴール堂を訪問してそれぞれ違うオルゴールの音も聞けて、小樽の街を歩きながら村の風景も鑑賞したり、小樽運河の美しい景観を

見ながら悩みも少し解消された気もしました。

このように日本の北海道に直接訪問して取材することができてとても楽しい時間になり、自分の将来にもきっと役に立つ大切な経験になったと思います。



小樽を訪問・探索

【氏名】南 ガウル (鶴翼女子高等学校)
 【取材先】①北海道日本語学院 ②星槎道都大学
 【取材期間】2023年10月25日～2023年10月31日

私は2023年10月25日から2023年10月31日まで北海道内の様々な地域に位置する教育機関や自然名所を取材しました。私がお紹介する取材地は北海道日本語学院札幌本校と星槎道都大学、登別の地獄谷です。

私の最初の取材地でもある北海道日本語学院札幌本校は、韓国人在学生の割合が低かったです。これに対してインタビューを行った留学中の韓国人在学生3人とも、そのおかげで北海道日本語学院が日本語を学ぶのに適した環境だと答えていました。学院の授業参観を通じて基礎の文字授業から深化クラスまでの授業カリキュラムが充実したことがわかりました。



北海道日本語学院



星槎道都大学

3日目の10月27日には星槎道都大学を訪問しました。私は合計4つの学部の1つである美術学部のデザイン学科を取材しました。校庭に入ると学生たちの立派な作品が目に入りました。星槎道都大学は留学生向けのプログラムが多様であると紹介していただきました。単純な語学授業だけでなく留学生同士の交流を目的としたスポーツクラブが存在し、日本人在学生スポーツクラブとも関係させて留学生たちのキャンパス生活適応に努める姿を見ることができました。

最後の取材地は登別の温泉水の源である地獄谷です。温泉水を提供する役割だけでなく、北海道遺産にも選ばれた地獄谷は観光名所として有名です。散策路が整備されており、多くの観光客が地獄谷周辺を歩いています。

私は今回の取材経験で北海道の多くの人々とコミュニケーションしながら日本語の会話が上達することができました。



星槎道都大学の図書館



地獄谷

【氏名】宋 峻暎 (忠南外国語高等学校)
 【取材先】①札幌大谷大学 ②札幌国際大学
 【取材期間】2024年1月30日～2024年2月5日

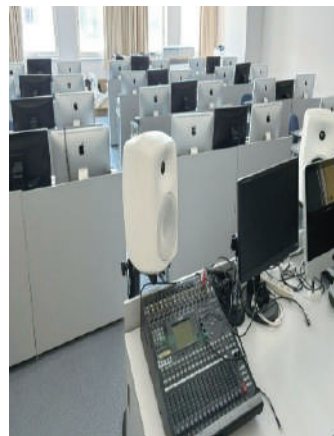
私は2024年1月30日から2月5日まで、母と一緒に北海道に行ってきました。日程は雪祭りに合わせて調整しました。札幌で開催される雪祭りは世界三大祭りの一つで、いつか必ず行ってみたいと思っていたので、今回は良い機会でした。



札幌国際大学



学校では、札幌国際大学と札幌大谷大学を訪れました。北海道に到着した時点で、すでに韓国で大学に合格していたため、韓国と日本の違いや、普段から気になっていたことを尋ねることができ、キャンパスツアーを通して学校を知ることができました。当時試験期間でありながら、快く応じてくださり、親切に紹介して下さったので、楽しく過ごすことができました。



札幌大谷大学

私は今回、四度目の日本訪問だったので、日本でしかできないことよりも、北海道でしかできないことを主に探しました。白い恋人パークやビール博物館などがそのようであり、食べ物も北海道で食べなければいけないというスーパカレーやジンギスカンなどを巡りながら、一つずつリストを消していきました。

大通公園を通り過ぎると、雪祭りの前日までずっと雪を切り詰めている人々を不思議そうに見ることができました。祭りに知られることを防ぐためなのか、彼らは夕日が沈む夕方に主に現れ、祭り当日なぜそこまで必死に隠して整えたのか理解できるクオリティに驚かすにはいられませんでした。特にバス三台くらい大きさの彫像もあり、毎日吹雪注意報が出るほどの雪が降る札幌で、どうやってこれを維持したのか驚くばかりでした。体全体が埋まり、他を凌ぐほどの雪が積もっていたり、雪が太陽に反射されて眩しかったり、一、二度は転んでしまったりしました。これだけの多くの雪を再び見る機会があるだろうと思うと嬉しくなりますし、雪のために計画していた予定を諦めなければならない時は少しイライラしました。しかし、これだけの雪が降ったからこそ、雪祭りやイルミネーションも楽しかったのではないかと思います。

北海道での一週間は夢のような時間であり、一日一日を終えるのが惜しいほどでした。しかし、惜しい気持ちほど次の日が楽しみであり、最高の思い出と共に締めくくることができました。次にまた北海道に来ることがあれば、そのときは冬ではなく、もう少し暖かい季節に来て北海道の新しい面を見たいです。



白い恋人パーク



さっぽろ雪まつり

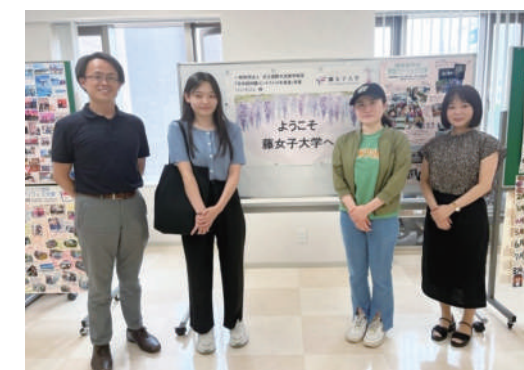
【氏名】韓 熙珠 (韓国観光高等学校)

【取材先】①北海道大学 ②藤女子大学

【取材期間】2023年8月3日～2023年8月9日

私は2023年8月3日から2023年8月9日まで北海道を取材した。私が取材したのは藤女子大学、北海道大学、小樽運河と小樽博物館の運河館だ。

私が最初に取材したところは藤女子大学だ。藤女子大学は北海道カトリック大学2校のうちの1校である。藤女子大学校がカトリック大学だが、ミサやイースター行事などカトリック行事に参加するのは学生の自由だという。また小柳さんは藤女子大学のサークル室、食堂、図書館、チャペルなど様々な施設もツアーしてくださった。特に図書館には30万冊の本があるのが藤女子大学の長所だとおっしゃってくださった。



藤女子大学

その次に取材したのが北海道大学薬学部だ。北海道薬学部には薬科学科と薬学部に分かれる。薬科学科は4年制で薬学部は6年制だ。もし自分が薬を製造する仕事をしたいなら、必ず6年制の薬学部に入らなければならない。そして6年制薬学部は1年生の時は理論で先に学び、その後は高価な製造装置を使って実習を行う。北海道薬学部を卒業後、薬局で働く人もいれば、薬を作る会社に就職する人もいるという。

最後に私が取材したのは小樽運河と小樽博物館運河だ。小樽運河は現在、北海道を旅行する際に必ず訪れるべき場所の一つである。小樽運河は1923年に開通し、北海道に西洋文物が初めて入ってきたとこ

るだ。他国と運河を利用して交流し続けたため、すぐに北海道の小樽は急速に発展した。
私はこのように北海道を直接取材しながら、北海道はもちろん日本について直接的に学ぶことができた。



北海道大学



小樽博物館

藤女子大学ホームページに掲載されました! 韓 熙珠さん

2023.08.04 留学・国際交流

韓国の高校生が来校されました



来校された高校生（右から2人目）

在大韓民国日本国大使館後援の第26回「日本語体験コンテストin北海道」-U-18日本語体験取材記者-にて入賞した韓国の高校生が8月4日（金）、北16条キャンパスに来校されました。

このコンテストは韓国の高校生を対象に、北海道の教育機関や自然・文化を体験してもらい、それらをSNSを使って韓国国内に情報発信するという企画で選考され、来校された高校生はキリスト教に興味があるということで、本学を選んでくださり、企画広報室の職員が対応しました。

高校生の質問に答え、学内をご案内しましたが、国際交流室の協力で急速に韓国語が堪能な本学の在学学生とも交流する時間を設けることができ、最後は本学の食堂も体験していただきました。

日本への進学にも関心のあるという高校2年生で日本語も堪能でしたので、たくさん情報交換をすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

【氏名】文 高香(金海三文高等学校)

【取材先】①札幌スイーツ&カフェ専門学校 ②札幌観光ブライダル・製菓専門学校

【取材期間】2023年10月30日～2023年11月5日

私は2023年10月30日から2023年11月5日まで北海道に行ってきました。

第26回日本語体験コンテストin北海道という良い機会に北海道内の教育機関や観光名所を取材することが出来ました。私が取材した北海道の教育機関は「札幌スイーツ&カフェ専門学校」と「札幌観光ブライダル製菓専門学校」です。そして取材した観光名所は「小樽運河」と「ウポポイ」です。

「札幌スイーツ&カフェ専門学校」は私が普段スイーツやカフェが好きで作ることに興味を持っているため、訪問しました。関係者の方に学校について詳しく説明してもらってから見学をさせていただきました。1年次は全員「パティシエ・カフェ科」に入学して、スイーツ・パン・カフェ・ドリンクを全て学んでから2年次の時、三つのコースの中で自分の進路に合うコースを選択できる良いシステムでした。見学の時、学生さんたちが実習しているところを見ることが出来ました。実習を重視しているため、実習室も綺麗で、実習授業の内容もしっかりしていました。



札幌スイーツ&カフェ専門学校



「札幌観光ブライダル製菓専門学校」は私が韓国語と日本語ができるため、観光の仕事にも興味を持っているので訪問しました。本校には5つの学科がありますが、今回は私が興味を持っている観光総合学科を中心に案内してもらいました。外国語の授業や手話の授業などのコミュニケーションの授業がしっかりといて良いと思いました。見学の時、エアライン学科、ホテル学科、ブライダル学科、製菓学科の実習室を見ることが出来ました。本物のような飛行機の内部、ホテルのフロントと客室、結婚式場は本当に素晴らしかったです。



札幌観光ブライダル・製菓専門学校



「小樽運河」は北海道開拓当時の姿を見ることが出来る所です。小樽運河は埋め立てられる予定でしたが、小樽市民が「小樽運河を守る運動」を展開して守られた所です。雨の日でしたが、小樽運河はとても綺麗でした。

「ウポポイ」は白老にある民族共生象徴空間の愛称です。「ウポポイ」には「国立アイヌ民族博物館」、「国立民族共生公園」、「慰霊施設」が整備しており、アイヌ民族について学べる所です。「ウポポイ」の様々なプログラムでアイヌ民族について深く知るようになりました。アイヌ民族の文化が継承出来るよう、多くの人に知らせたいと思いました。

私は今回の取材で、かけがえのない大切な経験をすることができました。これからも頑張っって日韓関係に貢献できる人になりたいです。



小樽運河

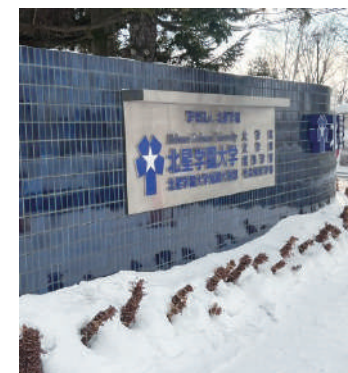


ウポポイ

二番目に取材したのは酪農学園大学から約30分の距離に位置する北星学園大学です。北星学園大学で取材した教授は食品を専門的に研究する方ではなかったが、北海道に長く住んでいる住民として北海道に来たら必ず食べてみるべき特産品、最近流行っている北海道の料理などについて聞くことができました。これらのテーマについて話し合い、学校ツアーを行いました。一番印象深かったのは、北星学園大学はキリスト教大学なので、大きくて素敵な礼拝堂があったことです。私が礼拝堂に訪問した時、学生たちが自由にピアノを弾きながら笑っている姿を見て、本当に安らかな感じを受けました。



酪農学園大学



北星学園大学

【氏名】陰 叡穂 (安養外国語高等学校)

【取材先】①酪農学園大学 ②北星学園大学

【取材期間】2024年1月31日～2024年2月6日

私は日本国内でも冬のロマンがいっぱいの北海道に2024年1月31日から6泊7日間取材に行ってきました。私は北海道の特産品と食文化について取材してみたくて、酪農学園大学と北星学園大学、ビール博物館に取材に行ってきました。

最初に取材したのは酪農学園大学です。酪農学園大学は名前からわかるように、「酪農業」について専門的に学べる学校です。私は酪農学園大学で食品について専門的に研究している教授とのインタビューを通じて北海道の酪農の歴史、変化過程などについて深く学ぶことができました。その中で一番記憶に残った話は、北海道の乳製品が発達できた理由についての話です。北海道は本来、アイヌという先住民が住んでいた場所に人が流入し、賑やかになった地域です。そのため、当時広い牧草地に牛を自由に放牧して育てることができ、そのようにストレスを受けずに育った牛から品質の良い牛乳を生産できるようになったのだそうです。その他にも食品を研究している教授から本当に興味深くて良い話をたくさん聞いて、酪農学園大学校への取材は私の全体北海道取材日程の中で一番印象深くて楽しかった日程でした。

最後に取材したのはビール博物館です。北海道ビール博物館を訪問し、ビールの製造過程、歴史などについて知ることができました。ここで知った最も興味深い点は北海道で最も有名なビールの一つである「クラシックビール」を作るために、北海道の麦を全部買って質が良くておいしいビールを作るという話でした。ここを訪れて、北海道の名物の一つである北海道ビールについて本当に詳しく学ぶことができました。北海道への6泊7日間の取材は、本当に忘れられない大切な思い出になりそうです。ここで感じたすべてのことを胸に刻んで大切に保管します。



札幌市内



サッポロビール博物館

北星学園大学ホームページに掲載されました! 陰 叡穂さん

韓国の高校生が心理・応用コミュニケーション学科の片岡教授にインタビューをしました

2024年02月01日

2月1日(木)、韓国・安養外国語高等学校の2年生であるウム・イエジンさんが、文学部心理・応用コミュニケーション学科の片岡 徹教授へのインタビューのために来学されました。

ウム・イエジンさんは、在大韓民国日本大使館の後援を受けた「第26回日本語体験コンテストin北海道」-U-18日本語体験取材記者-で入賞した功績を持つ方です。このコンテストでは、韓国の高校生を対象に、北海道の教育機関や自然・文化を体験する企画が募集・選考されました。入賞者は企画した内容を実際に体験・取材し、SNSを通じて韓国内に発信します。

この度、ウム・イエジンさんは同校の教員と交流のある北星学園大学の片岡教授に会いに来ました。インタビューの際には、本学で韓国語を学ぶ文学部心理・応用コミュニケーション学科2年の岡山諒子さんも同席しました。

インタビューは、北星学園大学センター棟1階の国際ラウンジで行われました。質問は主に北海道の食文化に関するものであり、時折日本語を交えつつも主に英語でコミュニケーションをとりました。

インタビュー後、ウム・イエジンさんは大学のチャペルや教室、就職支援課、図書館などを巡り、北星学園大学の雰囲気を堪能しました。



▲インタビューの様子



▲就職支援課の見学

【氏名】李 昭潤 (祥明大学附属女子高等学校)

【取材先】①経専北海道観光専門学校 ②北海道文化服装専門学校

【取材期間】2024年1月26日～2024年2月1日

私は2024年1/26～2/1に北海道の札幌と、函館に行ってきました。期間中、札幌にある経専専門学校と北海道服装専門学校を取材することになった。札幌に到着後に感じた第一印象は、ジブリよりも夢のような風景だった。街には想像もできないほどの雪が積もって歩きずらかったけど、ホテルから眺める札幌の冬の風景は凄く美しかった。

まず、経専専門学校は各学校ごとに様々な分野(観光、保育、動物、医療)に分かれていた。もともと体験することにした観光分野は建物が数週間前に突然工事することになり、オープンキャンパスの感じで多様な分野を体験することになった。最初に体験したのは鉄道科だったが、在学生の方々が日本鉄道の時代別歴史を説明してくれながら、鉄道の中での多様な役割を学ぶことができた。その後、愛犬科を体験したが、その中でペットショップスタッフ科と病院トリマーに分かれていた。現在、子犬を飼っているの、よ

り一層私の心に響いた体験だった。子犬ごとに特性が異なるため、服の選び方や応急処置方法など普段知らなかった些細な点まで知ることができた大切な時間だった。



経専北海道観光専門学校

その後行った学校は、北海道服装専門学校だった。この学校は韓国人はもちろん、他国の外国人が学校を訪問したことがなかったので、私が訪問するのが大きなイベントだった。私は普段ファッションに関心が多くて、将来もファッションの方を考えているので北海道の服の歴史が知りたくて取材するようになった。私が訪問した時は学校ファッションショーがあまり残っていない時期だったので、生徒たちが自主製作した服の中間点検兼ファッションショーを見物した後、学校教育がどのように行われるのか学校を紹介してくれた。直接在学生がどのように服を作るのか見たり、色々な材質の生地を直接触ってみたいもした。また、アイヌ族が着ていた(再現した)服と、80年代から現代まで本校の学生たちが直接作った服を見物した。その後、校長先生が日本ファッションの歴史を説明してくれたり、在学生の方々と一緒に学食を食べながら親しくなれる機会もあった。

短いといえば短い5泊6日間で北海道という地域を勉強して、直接いろんなところを体験できるように機会を与えてくれた共立財団に感謝いたします!



北海道文化服装専門学校



白い恋人パーク

北海道文化服装専門学校Instagramに掲載されました！ 李 昭潤さん



小樽商科大学

次に北海道大学の薬学部取材した。薬学部は4年制+大学院と6年制に分けられるが、薬を製造する職業に就きたければ必ず6年制に入るよう教授がおっしゃった。6年制では1年生の時にまず理論を学び、その後は高価な製造装置を使って実習する。そして北海道薬学部を卒業した後は薬局で働く人だけでなく、薬を作る製造会社に就職する人まで多様な業種で働くと言った。

最後に田貫浩二を取材した。田貫小路は札幌を代表する若さの街で、観光客や青年層だけでなく中年、老年の方々も多く歩くところだ。ここには多くの店と飲食店が集まっており、昼は観光客でいっぱい、夕方には穏やかなバスキングと退勤をして簡単に食事をする現地人でにぎわっていた。田貫浩二の大きな長所はホテルと直結している点だ。ホテルの正門がたぬぎ大きくなっていて便利に行ける。



北海道大学



小樽運河

【氏 名】尹 譽源 (韓国観光高等学校)

【取 材 先】①北海道大学 ②小樽商科大学

【取材期間】2023年8月3日～2023年8月9日

2023年8月3日から8月9日まで北海道に行ってきた。私は教育機関で小樽商科大学と北海道大学に行ってきたし、私が取材先として一番印象深く残ったところは田貫浩二通りだ。

小樽商科大学では、本校の基本的な情報や国際交流に関する取材を行った。1911年に開校し、学科は経済学科、商学科、企業法学科、社会情報学科の計4つに分けられる。また、英語だけでなく6ヶ国語を学ぶことができる。全世界の20カ国26の大学と交流を行っており、韓国では忠南大学校と交流をしている。多様な国との海外研修プログラムと交換学生プログラムがこの大学の長所だと言える。

2024年2月北海道・小樽研修会

- 実施日程** 2024年2月18日(日)～2月22日(木) (4泊5日)
- 参加者** 留学生19名(中国17名、台湾1名、サウジアラビア1名)、日本人学生1名
- 開催地** 北海道 余市、小樽、札幌
- 主催** 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
- 協力団体** NPO法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト

月日	時間	日程	宿泊
2/18 (日)	9:30	羽田空港 集合	余市エコビレッジ/ ホームステイ
	11:00	羽田空港 発(ANA061)	
12:35	新千歳空港 着		
15:30	～余市エコビレッジ 入村式～		
2/19 (月)		ホームステイ1泊 + 余市エコビレッジ(共同生活)1泊 (10名毎に交代制)	
2/20 (火)	13:00	～余市エコビレッジ 離村式～	ドーミーイン PREMIUM小樽
	14:00	余市町内 自由行動	
2/21 (水)	9:30	ソリ・ロープウェイ体験 @小樽天狗山スキー場	
	14:00	小樽市内 自由行動	
2/22 (木)	10:00	札幌 白い恋人パーク	
	15:00	新千歳空港 発(ADO26)	
	16:40	羽田空港 着、解散	

参加者

No.	氏名	性別	国籍・地域	学校名
1	黄 智慧	女	中国	国土館大学
2	趙 薇	女	中国	国土館大学
3	姜 ゲツ含	女	中国	国土館大学
4	周 珂如	女	中国	国土館大学
5	潘 瑞雪	女	中国	国土館大学
6	趙 イ晨	女	中国	国土館大学
7	李 逸晴	女	中国	共立日語学院
8	葉 穎哲	女	中国	共立日語学院
9	李 薔	女	中国	共立日語学院
10	リーマ ブカリ	女	サウジアラビア	新宿日本語学校
11	ニエ ヤノウ	男	中国	国土館大学大学院
12	王 信	男	中国	国土館大学
13	林 ギョク軒	男	中国	国土館大学
14	章 籟健	男	中国	国土館大学
15	李 瑞鵬	男	中国	中央大学大学院
16	細矢 健斗	男	日本	中央大学
17	陳 文標	男	中国	共立日語学院
18	張 漢傑	男	中国	共立日語学院
19	王 英男	男	中国	東京英語専門学校
20	梁 家齊	男	台湾	外語ビジネス専門学校



羽田空港にて(2月18日)

参加者課題

参加者の皆さんには課題として、以下のテーマで作文を書いてもらいました。

※学生の文章をそのまま掲載しています。

<テーマ>

- ① 《余市》ホームステイで、一番楽しかった体験を書いてください。
- ② 《余市》エコビレッジでの共同生活での感想を書いてください。
- ③ 2/20(火)～2/22(木)のプログラム(ウイスキー蒸留所体験・余市体験・雪体験・小樽体験・白い恋人体験)から1つ選び、印象に残った事を書いてください。

黄 智慧 (中国) 国士舘大学

- ① (佐藤家のみなさんへ) 手巻き寿司を一緒に作ったことです。出身地は海の近くではないので、海水の魚はあまり食べられません。東京では刺身は高いので、食べたくないです。こんな美味しい刺身を食べたのは初めてです。海で育った魚なのに、臭みがないのが不思議でした。(もともと魚はあまり好きではなかったのですが、これから好きになるかもしれません)
- ② 正直あまり慣れていませんが、体験としても思い出になります。もともと知らない人と一緒に住んでいると、自分の生活習慣が他人に影響を与えるのではないかと心配になります。でも、自分が仲の良い友達なら大丈夫でしょう。
- ③ [雪体験] スキーに行く途中、地面が滑りすぎて転んだことです。傷のところが腫れているのに気づいた時はびっくりしました。残念ながら当日はスキーにいけませんでした。出身地は中国の南にあり、雪はあまり見られません。これは私の人生で初めて氷の上で転んだので、痛いですが経験としてもいいです。



そり体験(黄さん、趙さん)

趙 薇 (中国) 国士舘大学

- ① (佐藤家のみなさんへ) ホームステイを体験するのは初めてだが、また自分が話すことが苦手なので、気まずい雰囲気になることとても心配でした。しかし佐藤さんは夕食の準備に誘ってくれて、余市を案内してくれて、とてもすてきな写真を撮りました。分別の時、一日がこんなに早く過ぎていたことを気づきました。
- ② たくさんの人と同じスペースで生活していて、みんなが協力して、短い時間でみんなと友達になりました。また、エコビレッジの人の話を聞いて、エコビレッジの理念を理解しました。東京では、お金はほとんどのものとサービスを買うことができる。余市では物々交換と助け合うことで、別の生活用品や食材を手に入れている。
- ③ [小樽体験] 小樽は海に近い都市だが、朝里駅に行った時、朝里駅の近いところで鎌倉のように観光客が海辺に沿って散歩できる砂浜がないことが残念な気がします。しかし安全の視点から考えると、このやり方も理解できる。小樽の景色は本当にきれいで、周りが観光客でも、雪が積もって、地面が真っ白で波しぶきの白い泡で、気持ちを落ち着かせることができます。



白い恋人パーク見学(姜さん、趙さん)

姜 ゲツ含 (中国) 国士舘大学

- ① (加藤家のみなさんへ) ホームステイで過ごしたこの時間は私にとって非常に貴重な経験と素晴らしい思い出になりました。ご主人様と一緒に食材を購入したり、食事中のコミュニケーションを楽しんだり、コーヒー作りの勉強もしていた。ホームステイで提供される温かさと快適な感じに触れ、本当に幸せでした。
- ② エコビレッジでの共同生活を通じて、北海道の農家生活の楽しみ、料理をする大変さ、食べ物を大切にすることを学びました。スタッフと参加者は一緒に雪だるまを作ったり雪合戦をしたり、周りの美しい風景を体験して、ストレスを解消しました。
- ③ [小樽体験] 様々な体験の中で、一番印象的なのは小樽体験することです。歴史と浪漫的な街めぐりはノスタルジックな街を歩きながら静かな時間、ゆったりとした時の流れを感じました。夜の小樽は昼間とは違った魅力を体験した。運河に倉庫群と灯が映って幻想的な雰囲気が最高です。

周 珂如 (中国) 国士舘大学

- ① (加藤家のみなさんへ)面白いことがたくさんあって、私は世界で一番幸せな人だと感じます。一番楽しいことは、家族と一緒にコーヒーを作ることだと思います。煎じるところから粉にするところまで手作りで、おいしくて楽しいです。
- ② 疲れたけど楽しかったし、料理もおいしかったです。大好きですスタッフはみんな優しく親切です。
- ③ [ウイスキー蒸留所体験体験] 私はお酒好きなので、今回はとても高価で大切なウイスキーを味わえてとても嬉しかったです!



白い恋人パーク見学(周さん、潘さん)



潘 瑞雪 (中国) 国士舘大学

- ① (大倉家のみなさんへ) 部屋はとてもきれいだと思います。奈々さんはやさしいし、子供もかわいいです。一緒にご飯を準備した、ゲームをして、楽しくて充実していました
- ② 多くの日常的な環境保護方法を学びました。みんなと一緒に雪合戦をしたり、雪の穴を掘ったりして、そしてたくさんの新しい友達と知り合いました。団体で協力することとても意義があると感じます。
- ③ [白い恋人体験] とてもおもしろいです!工場全体がとてもきれいで、工場の運営方法を見て、不思議な感じがいたしました。友達と一緒にクッキーを作って楽しかったですし、きれいではありませんでしたが、作業をしている間に楽しみを感じました。



かまくら作り(趙さん、王さん)

趙 イ晨 (中国) 国士舘大学

- ① (大倉家のみなさんへ) 今回のホームステイではお世話になりました!楽しい一日を過ごした、周りの景色も美しいです。北海道の農家の生活や環境についてより深い印象を持つことができました。食事はとても健康的でおいしく、2人の子どもも元気に、にぎやかな北海道生活を体験しました。
- ② 初めてこんな生活を体験して、とても楽しかったです。南に住んでいて雪を見ることが少ないので、こんな雪の中で遊ぶのも初めてです。一日を通して他の人との関係もよくなり、エコビレッジの生活の健康を感じることでできた素晴らしい体験でした。
- ③ [小樽体験] 小樽体験は自由時間だったので、いろいろなお店に行って、いろいろなものをよく食べました、北海道の海鮮もとても美味しかったです。小樽運河やいろいろな製品のお店も見ってきました。天狗山から見た小樽も良かったです。

李 逸晴 (中国) 共立日語学院

- ① (竹内家のみなさんへ)くるみさん、おいさん、本当にありがとうございました。みなさんはとてもやさしく、鋭く、おしゃべりな人です。私は日本語が苦手ですが、彼らは私が言った内容をできるだけ理解して、正しい語彙を教えてくださいました。料理をつくったり、桜もちを作ったり、肉饅をつくったり、ジンギスカンをつくったりしました。とてもうれしかったです。
- ② エコビレッジでの共同生活いる間、一緒に料理もして、鹿の肉も食べた。私たちは外に出て雪だるまを作って雪合戦をしました。久しぶりにたくさんの人と一緒に住んでいて、面白くて緊張していました。交流する時、日本語が足りない感じて、言いたいことが言えなくて、帰ったら日本語をちゃんと勉強しなければなりません。
- ③ [雪体験] 天狗山の景色はとても美しいです。山頂に立って、遠くの海と近くの家屋、スキー場を眺めながら、心が感動しました。ここで私は初めてスキーをしました。スノーボードを踏んで移動が大変でした。達人たちの上手な姿を見て、感嘆した。初めて、私の現実慌てて、ずっと転んで、また立ち上がることです。私は必ずスキーを習おうと決心しました。自分に新しい世界を体験するスキルを加えたいです。



スキー体験(李さん)



白い恋人パーク見学(葉さん)

葉 穎哲 (中国) 共立日語学院

- ① (伊藤家のみなさんへ) お世話になりました。楽しかった一日でした。手巻寿司の刺身は、今まで一番美味しいお刺身だと思います。さすが目利きのおはあちゃん。文化と料理の話がいっぱいできて、勉強になりました。またいつか会えますように!
- ② いろんな「初めて」の体験ができました。かまくらトンネル掘り、いもち作り、焚き火作り(ストーブのやつ)、雪ソリと雪合戦、鹿肉カレー…とても貴重な体験です。エコビレッジの皆さんもとても親切でいろいろ教えてくれました。ありがとうございました。
- ③ [雪体験] 2/21の朝、天狗山の積り雪がとても柔らかくて、いっぱい遊びました。いい写真も撮りました。2/22、朝のどか雪は魔法みたいに、幻しい…



ウイスキー蒸留所内のレストラン(葉さん、姜さん)



竹内家でホストファミリーと作った肉まん(李さん)

李 薔 (中国) 共立日語学院

- ① (竹内家のみなさんへ) 竹内夫妻は自分の喫茶店を経営する若い夫婦で、とても親切で包容力がああります。彼の喫茶店とても個性的であり、これが私が初めて日本人の家庭生に深く入る経験でとても幸せな体験でした。一緒に桜餅やにくまんを作ったり、おしゃべりをしたり、中日文化の違いを比較しました。残念ながら一緒に過ごす時間は短かったですが、竹内夫妻にまた会える機会があることを願っています。
- ② 長い時間集団生活を経験していなかったので、今回の体験はとても楽しみです。みんなでゲームをしたり、一緒に料理をしたり、おしゃべりをしたり、日本語の練習をしたりすることはとても貴重です。私は自分の人生がこのような素晴らしい経験を持っていることを幸運に思います。農場の管理理念も非常に先進的で、環境保護を重視しています。ゴミの分類は東京よりも厳格です。先進的な農場管理の考え方は学ぶ価値があります。
- ③ [小樽体験] 北海道の小樽は魅力に満ちた場所です。私は幸運にも訪れて深い印象を残しました。小樽は魅力的な運河の景色で知られており、運河沿いを散策すると、歴史のあるヨーロッパ風の建物を見ながらロマンチックで静かな雰囲気を感じることができます。さらに、小樽の手工芸品店や美食の屋台が立ち並び私は小樽の海鮮料理が好きで、忘れられない思い出になりました。小樽は私にとって素晴らしい思い出を残す場所です、再訪する価値のある場所です。

リーマ ブカリ (サウジアラビア) 新宿日本語学校

- ① (伊藤家のみなさんへ) さいしょからさいごまでしたのことはたのしかったです。例えば、皆と話とか、温泉へ連れて行ったとか、手巻き寿司の初めて食べたとか。ですが、一番楽しかった体験はおばあちゃんと一緒に折紙を作った時です。
- ② エコビレッジでの共同生活はまるで家族と一緒に住んでいるようだった。そのうえ、楽しい瞬間をたくさん経験させていただきました。
- ③ [雪体験] 一番印象に残った事は雪体験です。どうしてかという、この旅行のすべての経験を楽しいものにしてくれた主な理由は雪だからです



スノーシュー体験(大崎さん、リーマさん)



かまくら作り(ニエさん)

ニエ ヤノウ (中国) 国士館大学大学院

- ① (竹内家のみなさんへ) とても楽しく嬉しい一日を過ごしました。こんなにリラックスしたのは久しぶりだと思います。これで、北海道の記憶には、さらに深くなるのではないかと考えます。きっと約束したことを覚えていますし、竹内夫婦には色々喜びを分かち合っていた事に感謝しています。ありがとうございます。
- ② 環境保護の重要性を痛感していますが、人類社会の発展は資源が使われ続けていることに基づいていますので、技術が向上していく将来、その時の人たちがこの問題を解決してくれることを願っています。
- ③ [ウイスキー蒸留所体験] ニッカウイスキー文化を体験するのは忘れられない旅です。洗練された醸造工程から品定め時の独特の風味に至るまで、ニッカウイスキーの細部へのこだわりの極致が表現されています。ニッカウイスキーはその魅力を通じて、伝統と革新が調和した芸術を深く感じさせてくれました!



エコビレッジで夕食づくり(王さん、周さん、ゆいさん、ニエさん)



そり体験(王さん)



スノーシュー体験(林さん)



白い恋人パーク見学(張さん、細矢さん、林さん、梁さん)

王 信 (中国) 国土舘大学

- ① (伊藤家のみなさんへ) 短い間でしたが、お世話になりました。ホームステイで、一番楽しかったのは、柿崎商店でお鍋用の魚を買って、お鍋を食べることです。皆は主食がご飯でしたが、わざわざ私達にお寿司を握って下さいました。ありがとうございました。
- ② 初めて多くの人と食事をしたり、雪合戦をしたり、ゲームをしたり、寝たりしました。絶対に忘れられない経験になりました。エコビレッジの皆さんはとても親切で、手厚いおもてなしをして下さいました。とても良かったです!
- ③ [雪体験] 最も印象に残った事は、雪体験です。実家は雪も降りますが、雪そりは初めてでした。こんなにきれいな冬景色が見られて、とても感動でした。

林 ギョク軒 (中国) 国土舘大学

- ① (木内家のみなさんへ) 初夜に木内家でおでんをいただきました。木内さんはとても良い人で、彼と多くの興味深いことについて話しました。彼の娘も勉強熱心で、私たちのことをとても気にかけてくれました。翌日、一緒に雪かき、木内さんの奥様と自家製のワインを見に行きました。その後、作業の手伝いをしました。とてもたのしかった体験でした。
- ② 大自然の中での生活を感じ、皆と一緒に料理をしたり遊んだりしました。多くの異なる人々と出会い、皆と一緒に生活を共有した一日は、とても意義のある体験でした。
- ③ [ウイスキー蒸留所体験] 余市のウイスキーを味わい、さらに多くの新しい友達に会い、好きな記念品を購入しました。皆との会話もとても良かったです。

章 蕭健 (中国) 国土舘大学

- ① (伊藤家のみなさんへ) 夕食の食卓では、多くの文化の違いを語り合った。伊藤一家はアメリカ留学経験があり、文化の違いに興味があり、私たちは3時間話して、とても打ち解けた話をした。
- ② みんなが共同生活をするときは、みんなそれぞれの生活習慣があるが、お互いのために調整することができる。例えば、いびきをかいて丁寧に耳栓を用意してくれた同級生がいた。
- ③ [小樽体験] 一番印象に残っているのは、天狗山でスキーをしていることだ。天狗山は自然が美しく、雪の降る山でスキーをしたり遠くの小樽市や海を見たりして、とても心地よいだ。



ウイスキー蒸留所体験(章さん)



かまくら作り(章さん、王さん)

李 瑞鵬 (中国) 中央大学大学院

- ① (加藤家のみなさんへ) 1泊2日のホームステイ体験があったという間に終わりました。お家に泊まらせていただき、ありがとうございました。到着した日の夜、加藤さんのご家族と一緒に食事できて本当に楽しかった。特に人生に関する話をしてくれて、今の悩んでいることを見直すことができました。すごくいいアドバイスをもらいました。再度感謝いたします。
- ② 一年前にエコビレッジを訪れて、今回は2度目で、大変お世話になりました。エコビレッジという概念はすごくいいと思います。地球温暖化、自然環境がだんだん破壊された現在、このような自然とともに付き合う場所はすごく意味があると思います。
- ③ [小樽体験] 小樽体験で一番印象に残ったことは自由時間の散策です。オルゴール堂に行ったり、硝子館に行きました。すごく美しくてロマンチックなところとして、大変満足しました。



加藤家でコーヒー作り(李さん)



エコビレッジでいもち作り(葉さん、李さん、林さん)



余市自由散策(周さん、細矢さん、林さん、王さん、潘さん)



ウイスキー蒸留所見学(細矢さん、林さん)

陳 文標 (中国) 共立日語学院

- ① (木内家のみなさんへ) 私たちは一緒にクイズで誰が家事をするかを決め、一緒に子供を学校に送って、一緒に座って自分の国の面白いことを分かち合ひましょう。私が日本語が話せない時、みなさんは説明してくれたり、英語で表現したりして、とても感動しました。
- ② 最初は慣れないことがありました。他人に迷惑をかけるのではないかと心配したり、他人の習慣に慣れないからです。しかし、その後仲良くなり、だんだん親しくなり、自分の心を話し始め、ゲームをし、日本語も上達しました。
- ③ [雪体験] これは私が初めてスキーをした。初めてスケートボードを踏んだ時、とても滑りやすく、とても怖くて諦めたくまりました。しかし、幸いにも続けて、速度を遅くして、他人を観察して、模倣して、仲間同士がお互いに学び、少しずつ適応して、ついにどうやって転ぶか、止まって、立ち上がって、速度を調整して、こんなに素晴らしい体験ができて嬉しいです。



スキー体験(陳さん)



雪だるまづくり(張さん)

細矢 健斗 (日本) 中央大学

- ① (加藤家のみなさんへ) 加藤家のみなさんとはお鍋を食べながら楽しくお話をすることができました。人生についてもたくさん話し合うことができました。とても温かい空間でした。特別な縁があつての出会い感謝です。
- ② エコビレッジでの共同生活では、普段できない経験をすることができました。自分の日常において、環境への配慮が足りていない部分は多くあり、これからは地球に優しい人間になっていきたいと思いました。
- ③ [ウイスキー蒸留所体験] ウイスキー蒸留所体験ではウイスキーについて様々なことを学びました。興味深い歴史がたくさんありました。またテイスティングバーでは実際にウイスキーとアップルワインを飲むことができました。雰囲気もとてもよく、みんなと良い時間を過ごせました。

張 漢傑 (中国) 共立日語学院

- ① (木内家のみなさんへ) 木内ご夫婦にお世話になりました。初めてホームステイしたので、ちょっと緊張しました。しかし、その後みんな一緒に家族のように晩ご飯を食べて、おしゃべりして、お皿を片付けたので、とても楽しかったです。花ちゃんが京都大学に合格することを祈ります。花ちゃんなら、必ず大丈夫だと思います。頑張れ!
- ② エコビレッジがとてもきれいなところだと思います。みんなと一緒に料理を作って、ゲームをして、楽しかったです。スタッフたちは北海道の自然環境を守めため、いろいろなことをしています。些細なことだけど、意味が非凡であると思います。
- ③ [小樽体験] きれいな海、静かに町、いろいろな海産、うまい刺身……これは私の小樽に対する初印象です。ここで初めて刺身を試してみました。本当に美味しい、人生の新たな扉を開かれました。人生も同じ、試すなければ、自分ができかどうか分からないと思います。

王 英男 (中国) 東京英語専門学校

- ① (木内家のみなさんへ) 都会の喧騒を離れ、北海道の大地で農場主の夢を叶える。果実、家畜農作物、そして酒、自然の恵みを育み、心豊かに生きる。高級なスーツや化粧品、ブランドバッグに挙げる必要もない。自然と共存し、健康で快適な生活を送る。そんな理想が、ここで現実となる。果樹園の仕事に携わり、喜びを分かち合う。
- ② エコの理念に基づいた生活は、想像以上に快適なものである。リサイクルや低燃費な建材を使用することで、製造過程における炭素排出量を削減し、建物の断熱遮熱性能を向上させる。食後の洗い物は少し面倒だが、その分エコロジーへの意識をより高めることができる。そして何より薪ストーブの使い方を学び、CO中毒の心配がなくなったことは大きな安心感を与えてくれた。
- ③ [ウイスキー蒸留所体験] 私はこれまで、サントリーのウイスキーを多く飲んでいて。今回、ニッカ余市蒸留所を見学する機会があり、余市シングルモルトスーパー、そしてアップルワインを試飲しました。スーパーは初めて飲む銘柄でしたが、余市を飲み終えた後にスーパーのグラスから漂ってくる香りには驚かされました。なんと、ダークチョコレートのような芳醇な香りが立ち上がってくるのです。売店で販売されていた「鶴」ウイスキーはAmazonで2倍の値段を売っています。やはり、丁寧に作られた良質な商品は、多くの消費者に支持されていますね。



木内家のワイナリー見学(王さん)



小樽で居酒屋体験(王さん、李さん、ニエさん、李さん)

梁 家齊 (台湾) 外語ビジネス専門学校

- ① (竹内家のみなさんへ) ホームステイした間は美味しい「にしん」のお刺身料理を頂くことが一番楽しかった体験です。竹内さんは私達を連れて、余市の魚屋に行きました。職人がにしんをお刺身になるために、複雑な処理を私達に見せました。ホームステイの方と様々な話ができたことをすごく嬉しかったです。本当にお世話になりました。
- ② 今回の共同生活すごく楽しかったです。私の出生地は雪あまり降らなかったので、エコビレッジ着いた時、たくさん雪を囲ってなかなかの経験でした。共同生活は初めなので、ちょっと緊張しましたが、皆と様々な話しができたことを嬉しかったです。雪遊びしたり、食べたり、いい思い出を作りました。
- ③ [雪体験] 一番印象に残った事はやっぱりそり体験です。今生活してる場所は殆ど雪が降らないので、雪に関する体験なかなかありませんでした。今回研修会のおかげで、そり体験をできます。そりそんなにスピードを出すのは本当に予想外でした。人生初のそり体験なので、今後どこでそりしても必ず今回の楽しい思い出を出すと思います。



ウイスキー蒸留所見学(梁さん)



白い恋人パーク見学(梁さん、細矢さん、林さん)



天狗山展望台にて(2月21日)

ホームステイ体験・共同生活体験

伊藤家



一緒に手巻き寿司や鍋を食べてたくさんおしゃべりをしました!

大倉家



にんにくの皮むきをお手伝いしました!



加藤家



一緒にご飯を作ったり、犬の散歩に行きました!

佐藤家



一緒に海へドライブに行きました!

木内家



雪かきや果樹園の木の剪定のお手伝いをしました！

竹内家



一緒にゲームをしました！

余市エコビレッジ



エコビレッジにて(2月18日~20日)



離村式にて(2月20日)

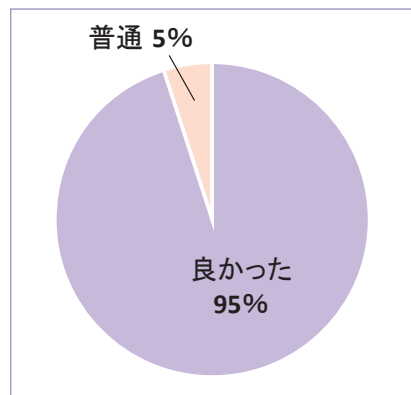
参加者アンケート

参加者の皆さん(20名)には、研修会についてアンケートに答えてもらいました。

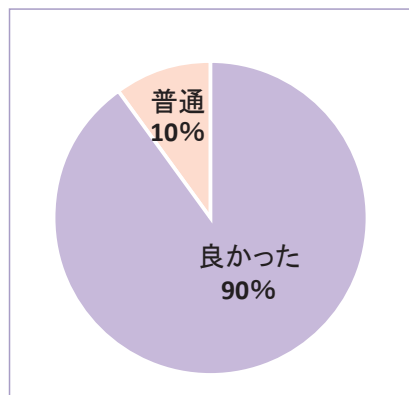
※学生の文章をそのまま掲載しています。

体験内容について

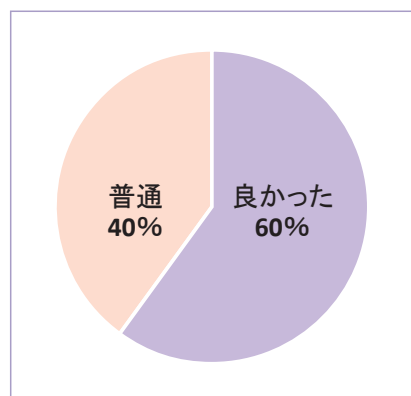
① ホームステイ体験



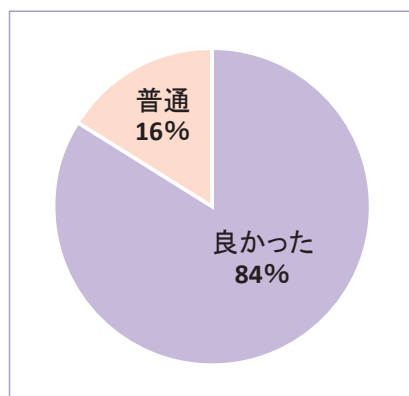
② 共同生活体験



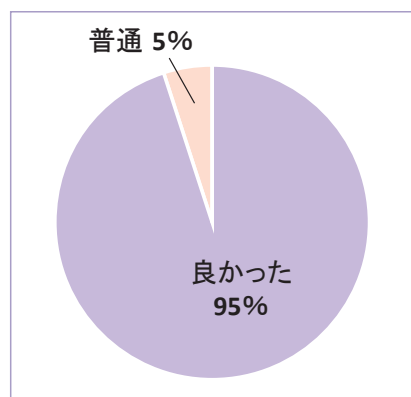
③ ウイスキー蒸留所体験



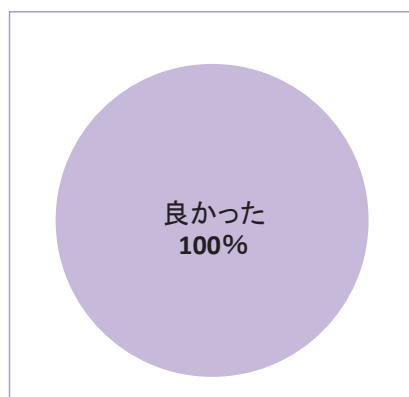
④ 余市体験(柿崎商店訪問)



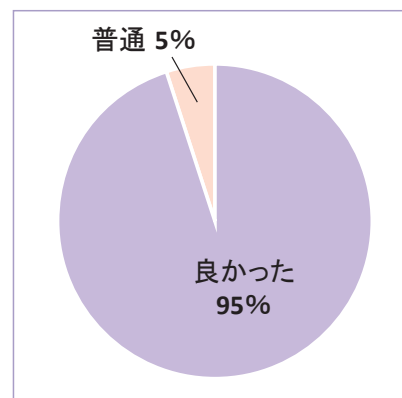
⑤ 雪・そり体験



⑥ 小樽体験(ウォークラリー)



⑦ 白い恋人パーク体験

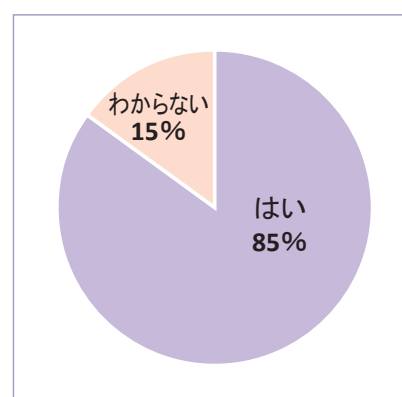


ホームステイ体験について

① ホストファミリーと何をしましたか？

- ・一緒に料理、食事をする(肉まん、桜餅、食事、鍋、手巻き寿司等)
- ・一緒に出掛ける(スーパーで魚を買う、温泉、ドライブ、海を見に行く等)
- ・お手伝い(雪かき、果樹園の木の剪定、ニンニク剥き、醸造所へ荷物を運ぶ等)
- ・お話(人生相談、お互いの文化のこと、北海道の景色について等)
- ・ゲーム(子供と遊ぶ、麻雀、卓球等)

② ホストファミリーと仲良くなれましたか？



「はい」の理由

- ・一緒に手巻き寿司を作ったり、海をみたり、おいしいお茶を飲んだり、土産ドリンクを買いました。
- ・食事中のコミュニケーションを楽しんだり、コーヒー作りを勉強した。
- ・いっぱい話しました。
- ・お互いの文化を紹介しました。
- ・人生相談のきっかけで、いろいろなアドバイスをもらいました。

「わからない」の理由

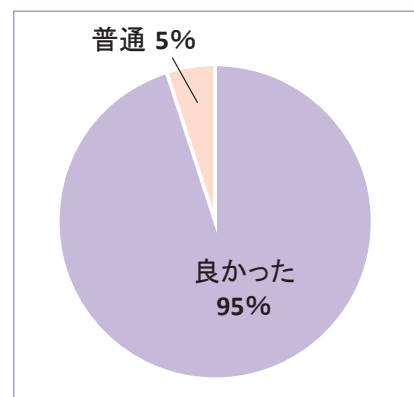
- ・時間が短かった。

③ 何がきっかけで仲良くなれましたか？

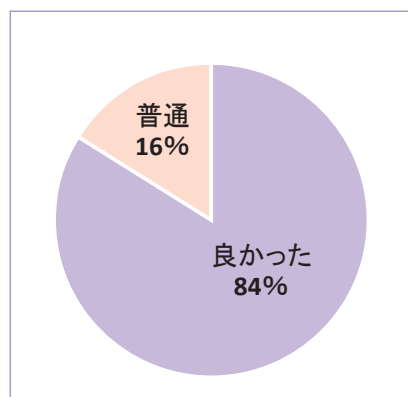
- ・一緒に食事をしてお茶を飲んで話をするからです。このような雰囲気大好きです。
- ・一緒にお酒を飲んだり、夕食を食べたりして、話ばかりしていました。
- ・北海道での生活について話したり、驚いたことやお互いの文化を紹介したこと。
- ・海外生活の経験の話から。

宿泊ホテルについて

① 朝食はどうでしたか？

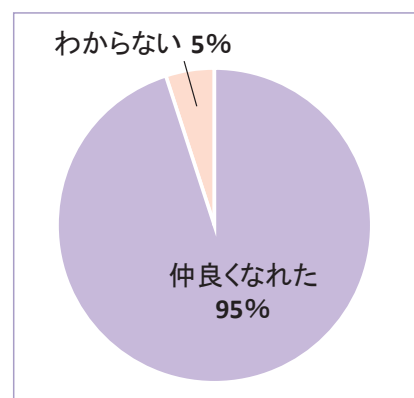


② 設備はどうでしたか？



全体について

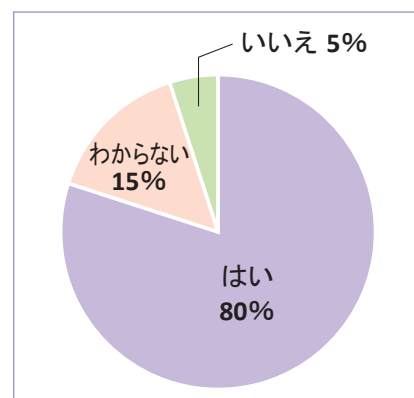
① 研修会を通して、他の学生と仲良くなれましたか？



仲良くなれた理由

- ・一緒に生活することで仲良くなれた。
一緒にご飯を食べて、遊んで、家事をして、おしゃべりしてだんだん仲良くなりました。
- ・みんなと一緒に食事を宿泊、おしゃべり、お互いの面倒をみて、うれしかったです。
- ・他の参加者とは初対面ですが、雪合戦や散策で仲良くなれました。
- ・新しい友達ができました。
- ・国籍にかかわらず、自分の経験や意見を参加者と交換しました。
- ・たくさんおしゃべりできました！

② 研修会を通して、自由散策時に地元の人と交流できましたか？



「はい」の理由

- ・余市のスーパーで店員さんと話したんですけど、みんな優しくて親切だったんです。
- ・優しい人ばかりでした。
- ・簡単な交流はできたが複雑な会話はまだわからなかった。

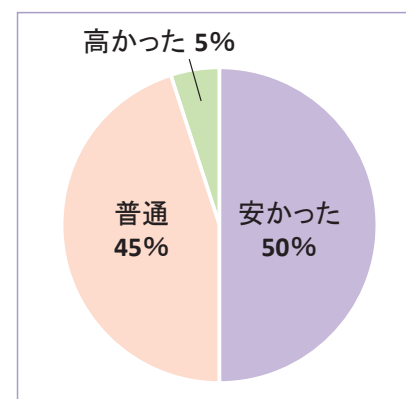
「わからない」の理由

- ・何度も訪れる必要がある。

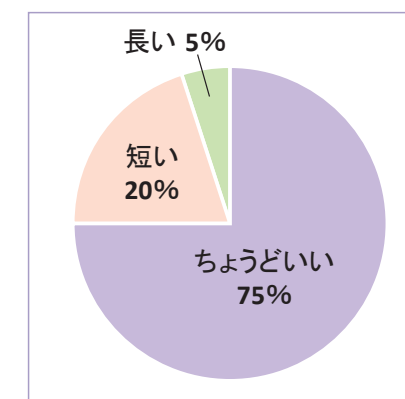
「いいえ」の理由

- ・ホストファミリーやエコビレッジの方とは話せたが、それ以外の人は話せなかった。

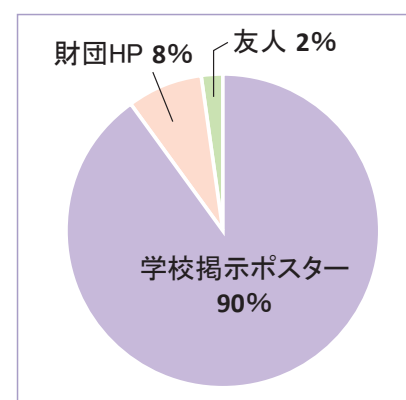
③ 参加費(63,000円)はどうでしたか？



④ 4泊5日の日程はどうでしたか？



⑤ 応募経路について



引率後記

当財団ではこれまで20年にわたり、首都圏に住む留学生の日本への理解を深めることを目的とした研修会を実施して参りました。この度の北海道・小樽研修会が無事に開催できたのも、ひとえに余市エコビレッジの皆さま、スタッフの皆さま、そして参加者を暖かく迎えてくれたホストファミリーの皆さまのおかげです。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

本研修期間中は天気にも恵まれ、2月の北海道にしては暖かい貴重な日を過ごせただけでなく、最終日には北海道の雪のすごさも体感することができました。

ホームステイ体験では伊藤家、大倉家、加藤家、佐藤家、木内家、竹内家の皆さまが参加者を受け入れてくださり、余市の自然や風景を堪能したり、ホストファミリーと一緒に新鮮な海鮮を味わったり、日本語で交流を深めてくださいました。ありがとうございました。

参加者は、最初は緊張していたようですが、ホームステイ体験が終わり、エコビレッジに戻ってきたときの貴重な経験ができ、嬉しく話したくてたまらないという参加者の様子が印象的でした。

普段経験することができないエコビレッジでの共同生活では、環境に配慮した生活について改めて考えるきっかけとなったようでした。そのほかにも、スノーシュー体験やかまくら作りでは初めての経験に戸惑いながらも参加者は協力しながら楽しんでいました。雪体験だけでなく、いもち作りや鹿肉のカレーと一緒に料理もしながら楽しく学びのある時間を坂本さん、大崎さん、クリスさん、ゆいさん、岸さん、佐藤さんのおかげで過ごすことができ、ありがとうございました。

研修3日目は、余市を散策し、ウイスキー蒸留所体験や余市町内の散策を行いました。

4日目は、天狗山で雪体験と小樽市内を散策し、景色を楽しみ、運河の街の歴史を学ぶ機会となりました。

最終日は白い恋人パークにて工場見学を行いました。お菓子が作られ手元に届くまでの工程を学んだり、希望者はお菓子を自分でデコレーションをする体験を実施しました。

今回の研修会には、留学生19名と日本人学生1名の総勢20名の学生が参加してくれました。所属先、年齢もバラバラの学生が集まる中で、最初はお互い初対面のため緊張していて、どこかかたい雰囲気もありましたが共同生活やホームステイ、その他のプログラムを通して、参加者同士の仲が深まっていく様子を見て、引率として大変嬉しく思いました。

余市町内散策時や小樽市内でも、行く先々でなるべく日本語で話そうとする積極的な姿勢を感じ、参加者の皆さんと過ごした5日間はとても充実していました。本当にありがとうございました。

今年も北海道・小樽研修会がケガや病気をすることなく全員無事に研修会を終えることができたことに安堵していると共に、研修会中に目的地まで安全に送り届けてくださった北海道ハートバスのバス運転手の永谷様、戎様、武藤様、またよい研修会を作り上げてくれた関係者の皆さま、参加者の皆さんに心から感謝申し上げます。

研修会に参加してくれた皆さんはこれからそれぞれの道に進むかと思いますが、それぞれの望む場所で益々活躍されますように。応援しています！

2024年2月 北海道・小樽研修会担当 村上 愛

2024年3月沖縄・伊江島研修会

実施日程 2024年3月5日(火)～3月10日(日)

参加者 留学生39名(中国22名、台湾5名、ドイツ4名、韓国3名、イラン1名、マルタ1名、オーストリア1名、サウジアラビア1名、アメリカ1名)

開催地 沖縄県 伊江島、屋我地、北谷、那覇

主催 一般財団法人 共立国際交流奨学財団

協力団体 一般社団法人 伊江島観光協会

月日	時間	日程	宿泊
3/5 (火)	9:00	羽田空港集合	民家ホームステイ
	10:30	羽田空港 発(ANA469)	
	13:30	那覇空港 着	
	17:00	本部港 発(フェリー)	
	17:30	伊江港 着	
3/6 (水)	17:45	入村式	民家ホームステイ
	終日	ホームステイ	
3/7 (木)	12:15	離村式	ザ・ビーチタワー沖縄
	13:00	伊江港 発(フェリー)	
	13:30	本部港 着	
3/8 (金)	14:15	クラフト体験@SUNNY TACOS	ザ・ビーチタワー沖縄
	終日	自由行動	
3/9 (土)	10:00	カヤック体験@屋我地島	ホテル JALシティ那覇
	12:45	昼食@道の駅許田	
	14:00	酒造見学@ヘリオス酒造	
3/10 (日)	15:10	那覇市内自由行動	ホテル JALシティ那覇
	17:30	那覇空港 発(ANA470) 羽田空港 着、解散	

参加者

氏名	性別	国籍・地域	学校名	氏名	性別	国籍・地域	学校名
陳 超凡	男	中国	国士舘大学	劉 金玥	女	中国	国士舘大学
戴 禾	男	中国	国士舘大学	吳 敬文	女	中国	国士舘大学
周 天翔	男	中国	国士舘大学	宋 倩文	女	中国	国士舘大学
鄭 宏澤	男	中国	国士舘大学	許 鶴	女	中国	国士舘大学
趙 辰昊	男	中国	国士舘大学	張 詩悦	女	中国	国士舘大学
羅 燦佑	男	韓国	国士舘大学	郭 佳二	女	中国	国士舘大学
金 ミン昇	男	韓国	国士舘大学	李 云霞	女	中国	国士舘大学
韓 承鉉	男	韓国	国士舘大学	黄 小冽	女	中国	国士舘大学
葉 順明	男	中国	共立日語学院	柳 佳慧	女	中国	国士舘大学
楊 雨帆	男	中国	共立日語学院	江 婉儿	女	中国	国士舘大学
董 柏佑	男	台湾	共立日語学院	郝 昱婷	女	中国	国士舘大学
SHARIPOV ALBERT	男	ドイツ	新宿日本語学校	劉 冬雨	女	中国	国士舘大学
ABEDZADEH ARDALAN	男	イラン	新宿日本語学校	劉 奕欣	女	中国	国士舘大学
李 瑞鵬	男	中国	中央大学大学院	許 ソン雨ジョウ	女	中国	国士舘大学
				HAEUTLE HANNAH	女	ドイツ	新宿日本語学校
				SCHWARZ MELANIE	女	ドイツ	新宿日本語学校
				LOOCK VICTORIA	女	ドイツ	新宿日本語学校
				CAMILLERI JESSICA	女	マルタ	新宿日本語学校
				BAUMSCHLAGER LEA	女	オーストリア	新宿日本語学校
				BOKHARI REEMA	女	サウジアラビア	新宿日本語学校
				GRAHAM DEIRDRE LYNN	女	アメリカ	新宿日本語学校
				黄 懷萱	女	台湾	共立日語学院
				楊 逸君	女	台湾	共立日語学院
				鄭 竹均	女	台湾	共立日語学院
				李 昶庭	女	台湾	共立日語学院



羽田空港にて(3月5日)

参加者課題

参加者の皆さんには課題として、以下のテーマで作文を書いてもらいました。

※学生の文章をそのまま掲載しています。

<テーマ>

- 1 伊江島でホームステイを受け入れてくださったホストファミリーへメッセージを書いてください。
- 2 下の体験・見学プログラムの中から1つ選んで、印象に残ったことを書いてください。
【1】カヤック体験 【2】太陽染め体験 【3】酒造見学
- 3 あなたが家族や友人に紹介したい、沖縄の生活や文化を教えてください。

陳 超凡 (中国) 国士舘大学

- 1 (知念家のみなさんへ) 別れの時、私は甲板に立った先生が私たちがこの狭い島で出会ってくれてありがとうと言うのを聞いた。私は涙を出すほど感動した。三日間は短いなあ!みちゃんのおいしい料理をもう一度食べたいなあ!食事の時、みんな楽しく喋ることは一生忘れられない。この二泊三日の体験は沖縄産の黒糖より、甘い!
- 2 [カヤック体験] 大自然に囲まれている湖でみんなと一緒にカヤックしながら、屋我地島きれいな景色を満喫することができる。
- 3 沖縄の生活リズムは東京より速くないと思います。スーツを着て、ネクタイをしている人も少ない。食の味・文化は中国に似ている。特に、伊江島でみんなは旧正歴の新年も過ごすとは驚いた。



戴 禾 (中国) 国士舘大学

- 1 (金城家のみなさんへ) お世話になりました。ありがとうございました。伊江島のいろいろな観光を体験して、楽しみにしていました。充実なホームステイの生活をすごしました。
- 2 [カヤック体験] 以前の私は水に関する活動が嫌いですが、でも今回のカヤック体験は私の思いを変えた。自然、白面い、美しいという印象が残りました。未来はも一度体験したい。
- 3 沖縄の特有な文化が非常に白面い、建物とか食物とか以前の琉球人の生活を感じました。



周 天翔 (中国) 国士舘大学

- 1 (湯野川家のみなさんへ) ホームステイの期間、お世話になって、ありがとうございました。おいしい沖縄料理を食べたし、伊江島の観光スポットも訪れたし、とても楽しかったです。伊江島ダイビングサービスという店をマップに標記しました。伊江島にダイビングを体験すれば、必ず連絡します。
- 2 [カヤック体験] 初めてのカヤック体験ですから、パートナーと一緒にカヤックをこいで、とても嬉しかったです。
- 3 沖縄は独特の琉球文化があります。建物、料理、音楽、いろいろな方面で現れます。自分にとって一番紹介したいのは「シーサー」です。狛犬と似て、沖縄の独特のマスコットです。



鄭 宏澤 (中国) 国士舘大学

- 1 (金城家のみなさんへ) このたびは、私はホームステイとして受け入れてくださり、心から感謝申し上げます。この機会を通じて、伊江島な文化交流を体験できることをたいへん楽しく思っておりました。私の国の文化や習慣についてもご紹介しました。今回は韓国とイランの友達にコミュニケーションがとても楽しかった。おばちゃんの料理は特においしい。心より感謝を込めて。
- 2 [カヤック体験] カヤック体験は、まさに自然の中でアドベンチャーといった感じで、とても印象深いものでした。水面すれすれで漕ぐ感じは、普段の生活では味わうことのできない特別な体験で静かな湖や川を進む中で、周りの景色をじっくりと眺めることができました。特に水上から見る景色は地上からとは一味違い、新鮮な驚きがある。
- 3 沖縄の海は世界でも美しいさを誇ります。みんなでダイビングに行き、海の中で色とりどりの魚やサンゴ礁の美しさを体験しました。もた伊江島には美しい森も多く、自然を守ることが良い。「らっきょう」がおいしい! 琉球の歴史があり、沖縄の文化により深く触れることができます。



趙 辰昊 (中国) 国士舘大学

- 1 (玉城家のみなさんへ) 皆さんこんにちは。私の名前はチョウシンコウです。東京の国士舘大学からまいりました。新しい文化や経験を体験したいことをとても楽しみにしています。どうぞよろしくお願いたします。
- 2 [カヤック体験] 今回のカヤック体験は素晴らしかったです。海の青さと風の気持ちよさを感じながら、自然と一体になれる貴重な体験でした。特に美しい景色を眺めることができ感動しました。また、今回は初めての経験だったので、新しいことに挑戦できたこともとても嬉しかったです。これからもカヤックを楽しむ機会があれば、ぜひ参加したいと思います。
- 3 沖縄の生活や文化は本当に素晴らしいです。まず、沖縄の人々はとても温かく、歓迎してくれました。彼らのホスピタリティは本当に心温まるものです。また、沖縄料理も絶品です。さらに、沖縄の自然も魅力的です。美しいビーチやサンゴ礁、青々とした山々など、自然が豊かで美しい場所がたくさんあります。



羅 燦佑 (韓国) 国士舘大学

- 1 (金城家のみなさんへ) ホームステイ体験をさせていただいてとても感謝しています。沖縄の中でも伊江島で文化と歴史、そしておいしいご飯を食べることができてよかったです。
- 2 [カヤック体験] カヤック体験が一番面白かった理由は、以前にもカヤックに乗ったことがありますが、友達と一緒に乗るカヤックも面白くて、他の友達と速度競争することも楽しかったです。
- 3 伊江島の主な収入源がタバコの葉で、歴史のある島であることを教えてあげたいです。



金 ミン昇 (韓国) 国士舘大学

- 1 (湯野川家のみなさんへ) 湯野川家の皆さんのおかげで、3日間楽しい思い出をたくさん作ることができました。伊江島のいろいろな魅力を体験することができました。ありがとうございました。
- 2 [カヤック体験] カヤック体験が一番面白かったです。初めてのカヤック体験でしたがすごくたのしかったです。もっと長い時間楽しめたらもっといいと思いました。
- 3 沖縄の伊江島を紹介したいです。自然が豊かで島が大きいので全体を見回る観光もできるのですごく良いと思いました。



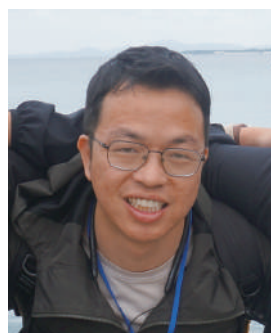
韓 承鉉 (韓国) 国士舘大学

- 1 (知念家のみなさんへ) 忘れられない思い出をたくさん作って頂き、ありがとうございます! 今度また沖縄に来たら遊びに行きますね! いつも元気です。カムサハムニダ😊
- 2 [カヤック体験] 初めてのカヤックが体験できて、たのしかった。人数が奇数になって、一人ですることになったが、そのおかげでスキルアップさせることができ貴重な経験になった。沖縄の自然にたくさん触れ合うことができ、沖縄ならではの水上レジャーがプログラムの中であってありがたかった。
- 3 私は沖縄の食文化について紹介したい。特に沖縄そばやチャンプルはとても美味しく、特色を感じることができ、東京に帰ってから自分で作ってみたいと考えた。



葉 順明 (中国) 共立日語学院

- 1 (湯野川家のみなさんへ) 今回のホームステイ、お邪魔して申し訳ありません。時間が短いですが、湯野川の家に住むことがとても幸せです。魚を捕まえるとダイビングの生活が羨ましいです。次回伊江島を訪れる機会が楽しみです。お幸せに、ありがとうございます。
- 2 [酒造体験] 酒造見学がおおすすめです。ヘリオス酒造の100年プロジェクトは本当に偉いです。こんなにたくさんの酒を見るのはすばらしいことです。酒の知識はおもしろいです。ヘリオス酒造の酒はうまいです。
- 3 沖縄の海が一番美しいです。海水はきれいで、ビーチは白いです。沖縄の海が見るのは気持ち良くなります。首里城に行った、沖縄の昔の歴史を知った、私の考え方を改めて、うれしかったです。



楊 雨帆 (中国) 共立日語学院

- 1 (知念家のみなさんへ) ホームステイファミリーにいたときのこと。日本の田舎の本当の姿を見ました。米軍基地はありますが、村民と米軍兵士は平和な関係にあるようです。
- 2 [カヤック体験] 活動の後、私たちは女の子たちがボートを運ぶのを手伝いました。ちなみに男子はサンキューの一言ももらえませんでした。そして、私は知った。日本にはそういう法律があります。女性は40kgを超えるものを持たないでください。本当に不公平だと思います。特に男女平等について
- 3 沖縄の夜は本当に色々で、東京の歌舞伎町みたいでした。しかし、沖縄では違いがあり、東京の同じ場所よりも街路が比較的きれいです。それに加えて、ここの価格も安いです。



董 柏佑 (台湾) 共立日語学院

- 1 (玉城家のみなさんへ) 温かい歓迎に心から感謝しています。伊江島の歴史と文化を学ぶ機会に感謝します。玉城様の教えに通じて、島の魅力を深く理解することができました。最後に、おいしい料理に感謝します。毎日の地元食材を使った美味しい料理は、島の味を満喫させてもらいました。
- 2 [酒造見学] この見学体験は、沖縄泡盛の文化や歴史に触れる貴重な機会でした。酒造の方々に心から感謝します。また、酒造が提供してくれた無料の試飲に感謝します。様々な種類の酒を試飲することで、酒の奥深さを味わうことができました。
- 3 沖縄の食文化を家族に紹介したいです。沖縄の豚肉料理やゴーヤ料理は、台湾の料理と似ていますが、日本やアメリカの要素を取り入れられた料理(沖縄そば、タコライスなど)も多い。台湾の家族にもぜひ味わってもらいたいです。



SHARIPOV ALBERT (ドイツ) 新宿日本語学校

- 1 (玉城家のみなさんへ) ばばはとてもやさしかったです。ありがとうございます。伊江島はとてもきれいな場所だと思います。そして、ばばの料理はいつもおいしかったです。本当にありがとうございます。
- 2 [カヤック体験] カヤック体験は楽しかったです。ドイツで友達と毎年カヤックするから、ちょっとなつかしいです。でも、もっと時間があればよかったですと思います。
- 3 おきなわの人は親切です。東京では珍しいことですが、路上で人が私たちに話しかけてくることもよくありました。それが好きです。



ABEDZADEH ARDALAN (イラン) 新宿日本語学校

- 1 (金城家のみなさんへ) わたしたちをむかえてくれてありがとう、あなたがへいわでたのしいじんせんせいをおくれることをねがっています。
- 2 [カヤック体験] カヤックははじめてでしたが、たのしくてきょうみぶかいけいけんでした
- 3 わたしにとってはあたらしいけいけんでしたが、ひとびとはとうきょうとはことなるぶんかを持ち、しんせつでしたのでともだちにもおきなわりようをすすめています。



李 瑞鵬 (中国) 中央大学大学院

- 1 (玉城家のみなさんへ) ばあば、こんにちは、kazeです。2泊3日間、大変お世話になりました。ばあばと過ごした時間はとても楽しかったです。たくさん美味しい料理を作ってください、伊江島のあちこちを案内してください、地元の文化について教えていただき、本当にありがとうございました。短い期間でしたが、伊江島の人々の情熱を強く感じることができました。最後にばあばのご健康をお祈りします。伊江島の人々がエールを送るように、「行ってきます」。
- 2 [酒造体験] 見学プログラムの中で、酒造見学が特に印象に残りました。日本のお酒文化に非常に興味があり、見学を通じて沖縄の泡盛の製造工程を学ぶことができました。また、見学後の試飲もとても楽しかったです。様々な種類のお酒を味わえて、大変満足しました。
- 3 今回の自由時間に、久しぶりに首里城を訪れました。2019年に正殿が火災で損傷しましたが、首里城や琉球王国の歴史はまだ残っています。そのため、首里城、さらに琉球王国の歴史を友人や家族に伝えたいと思います。また、伊江島の情熱的な歴史や文化、そして地元の人々と過ごした日々も家族や友人たちに伝えたいです。



劉 金玥 (中国) 国士舘大学

- 1 (下門家のみなさんへ) この三日間の招待誠にありがとうございます。下門さんがいつも丁寧で伊江島の風景と文化を教えてくださいました。毎日のご飯はとてもおいしかったです。この三日間は私にとって意味が深いです。将来、ぜひ友達とか家族とかと一緒に伊江島に行きたいと思いません。再びありがとうございます！
- 2 [カヤック体験] カヤックを初めて体験しました。すごく疲れたと思いましたが、面白くて元気になることを感じました。海の上で小さなカヤックに乗って、友達と一緒に力を入れてカヤックをこくことは一番楽しかったと記憶だと考えます。
- 3 沖縄の生活は東京と違く、アメリカ風を感じています。特にアメリカベレッジは、アメリカにいてるような感じがありました。人は仲よくて親切な人だと思っています。夜の那覇は白日のように人気があります。すてきな体験を受けました。



吳 敬文 (中国) 国士舘大学

- 1 (古堅家のみなさんへ) おばあが作った料理はとても美味しい。おじいはずっと車で私たちを連れて、伊江島の名観光場所に行った。本当に楽しい思い出。伊江島の海は私が見た海の中で一番清らかな海だ。本当にきれいだ。優しいおじいとおばあと景色はいつもまで忘れないようだ。
- 2 [カヤック体験] 友達と一緒に力を注いで同じ方向へ行きました。疲れても楽しかったです。清らかな海を見ながら、涼しい風を感じました。本当に楽しかったです！
- 3 シーサーとは沖縄の方言で「獅る」を意味し、エジプトのスフィンクスが元になっていると言われています。「災難を防ぎ悪霊を家にいれない」魔除けの役割を持つ守り神として沖縄の家庭に置かれています。



宋 倩文 (中国) 国士舘大学

- 1 (上間家のみなさんへ) おばさんはすごくおいしい、かわいい料理を作ってくれたのはほんとうにありがとうございます。そしておばさんは車で私たちをつれて、伊江島の有名な観光地に行ったり、写真を撮ったりすることはとても楽しかったです。和服の体験が一番珍しいことだと思います。いい思い出を作らせて、ありがとうございます。いつまでもおばさんが元気がありますように。
- 2 [カヤック体験] 私は初めてカヤック体験をしました。海はきれいで、青い空もうつくしいです。筋肉痛ですがとても楽しかったです。二人で全力でボートをこぐことが印象的です。もし機会があれば今度もう一度カヤック体験をしたいです！
- 3 沖縄の伊江島で和服体験をしました。すばらしいです。和服の着付けや着物のデザイン、意味など日本の伝統や美しさを感じることができます。多くの観光地や文化体験のところを提供しているのは便利だと思います。そして「シーサー」という縁起物も大人気です。とてもかわいいです。



許 鶴 (中国) 国士舘大学

- 1 (金城家のみなさんへ) 大変お世話になりました。この三日間はとても楽しかったです。本当にありがとうございました！幸花ちゃんにももらったネックレスは大切にします。おばあちゃんの料理は本当においしかったです。おじいちゃんが家の中で片付けてくれるのも大変でした。この三日間、おばあちゃんは私を連れて行ってたくさんのお話を聞きました。この三日間は短い期間でしたが、おじいちゃん、おばあちゃんの情熱を感じました。機会があればまた会いたいです!!! 最後におじいちゃん、おばあちゃん、



お体に気をつけてほしいです!!幸花ちゃんの学業成就をお祈りします!!☺

- [カヤック体験] カヤックを体験するのは初めてなので、正直に言って最初は心配でした。でも、スタッフの説明を聞くと安心します。海でカヤックを漕いで、疲れましたが、きれいな景色を見ることができました。沖縄は本当に空が広く、一面に雲が広がっています。一気にストレスがなくなったような気がします。機会があればまた来たいです。
- 私は紹介したいのは沖縄そばです。東京で食べていたそばは全然違います。沖縄そばは麺が太く、歯ごたえがあります。特に麺の中の具がとても美味しかったです。豚肉が美味しかったです。スープもあっさりしていて、体によさそうです。

張 詩悦 (中国) 国土館大学

- (知念家のみなさんへ) 二泊三日間ありがとうございました。ママにいろいろなところに連れて行ってもらって嬉しかったです。ママは優しいし、料理もおいしいです。ママのこと忘れないから、ママも私たちのことを忘れないでね。ありがとうございました。
- [太陽染め体験] 自分でものを作るのは初めてだったので、印象に残りました。柄選びから色塗りまですべて自分の手でやっているの、完成品を手にしたときには達成感があります。作っている間に他の人の作品を見るのも楽しみの一つです。
- 沖縄の名物料理ータコライスをお勧めします。ひき肉、レタス、トマトが主な材料で、とてもおいしいです。



郭 佳二 (中国) 国土館大学

- (並里家のみなさんへ) おばあさんとおじいさんの親切なもてなしと無私な助けに感謝して、私は美味しい家庭料理で家庭の味を体験できるよう、快適で清潔な環境を提供して下さったことに感謝しています。この素晴らしい思い出は一生大切にしたいと思います。機会があれば、また伊江島で皆さんにお会いしたいです。もう一度この温もりを体験したいです。
- [太陽染め体験] 太陽染めはとても面白い工芸品だと思います。その過程で、私たちは自分たちの作品をデザインする必要があります。さまざまな色や模様を作り出すことができます。太陽染めは想像力と創造力を発揮でき、とてもクリエイティブな工芸品だと思います。また、カラースプレーの過程は予想通りにはいかないかもしれないし、柔軟性が必要だから、難しいものだと思います。
- 沖縄にはどこにでもいる「シーサー」がいて、地元の魔除けの守り神です。シーサーは沖縄の方言で「獅子」を意味します。このシーサーは魔除けの鎮座物でもあります。中国の狛犬ほど荘厳な威武はなく、ライオン犬のようなものもあります。沖縄の人はライオンのシーサーを家の前に置き、屋根に積み、壁の梁に並べます。可愛いと思います。



李 云霞 (中国) 国土館大学

- (林家のみなさんへ) 三日間素晴らしい体験をさせて、家族として下さって本当にありがとうございました。いろんな話をできて日本や中国の事についてたくさん話できて楽しかったです。もちろん伊江島についてもちゃんと勉強できて意味深い体験でした。
- [太陽染め体験] 中国の雲南省に絞り染めという別の染めを体験した事がありましたけど、それとまた違う方式でもっと簡単にデザインももっと自由にできるのが新鮮でした。ちょっとミスしちゃって想像とは差がありましたが、結果物より新しい体験ができたのでよかったです。
- 一番印象的なのはシーサーという獅子のキャラクターで可愛くて面白かったです。沖縄の方言も標準語とすごく差がありますが、みんな標準語もできて心配は必要ないです。



黄 小冽 (中国) 国土館大学

- (知念家のみなさんへ) この間は貴重で充実した生活を過ごさせていただき非常にありがとうございました。あかあさんはこれからも楽しく過ごしてほしいと願います。
- [カヤック体験] 最初は海上なので怖かったが、実際にしたら全然大丈夫だった。面白いスポーツのように頑張って前に走るようにして大変楽しかった。途中で身につけて、船の方向や状態をコントロールできたり、船の動き方向を理解して自分のやり方ができたりしたので面白かった。
- 沖縄は一つの島で海の都市と言える。県民たちは漁業・農業だけでなく、旅行する人たちにもいろいろ面白いことがある。海中のスポーツ体験・独特な手作りの制品も沢山あります。また、沖縄は昔琉球の人が住んでいるところで、中国との文化交流や第二次世界大戦で日本の歴史について参考できる。



柳 佳慧 (中国) 国土館大学

- (上間家のみなさんへ) 三日二泊泊めて頂きありがとうございます。一緒にいた時間は短かったけれど、お世話になりました。おばあちゃんは、私たちのために毎食豊富な食事を用意してくれました。また、沖縄の伝統衣装も着せてもらい、おばあちゃんの娘さんが伊江島のこともいろいろを教えてくださいました。今まで知らなかったことを学べるこの経験を感謝しています。
- [太陽染め体験] 自分だけのオリジナミの染めタオルを作ることが楽しかったです。できれば今度はTシャツを作りたいです。今回、Tシャツを染



めなかったので残念だと思います。

- ③ 沖縄のビーチや海はとても美しいです。沖縄の海の色は緑色です。東京の海の色は違います。そして、沖縄人もとても親しみやすいです。沖縄の方弁と中国語によく似てます。ここに旅行に来ていながら、自宅のようにくつろげるでしょう。

江 婉儿 (中国) 国士舘大学

- ① (古堅家のみなさんへ) 二泊三日間泊めて頂きありがとうございました。短い間でしたが、おじお婆と一緒にご飯作ったり、島に回って見に行ったりして本当の家族のように私たちの世話をしてくれました。様々な体験を通して、一番印象に残るのはきれいな海辺に貝殻を拾って素敵な貝殻のストラップを作ったことです。普段の生活にも生かせるような経験をたくさん積むことができました。天気がよくないが、民間の家族、おじお婆のおかげで、本当に楽しかった!ありがとうございました!



- ② [カヤック体験] はじめてやるので、想像より簡単でしたが、ずっとごいで両手がとても疲れる! 2人1組で協力と一緒に力を入れてボートがはやいスピードで走ることでもっとパワーをもらった感じる。強い風で小島にいけなかったのはとても残念です!
- ③ 沖縄の文化は中国、アメリカ、日本三つのところの文化に混じってできた沖縄文化です。沖縄は真っ青のきれいな海がある。今の三味線は琉球から伝えられ、昔は「三弦」という伝統音楽です。「島唄」と「涙そうそう」は三線と琉球の要素を入れた有名な曲です。

郝 昱婷 (中国) 国士舘大学

- ① (並里家のみなさんへ) ありがとうございました! ホームステイの期間に、おいしいご飯とお菓子を準備くれて、感動しました。島の見学は印象的です。おかげさまで、伊江島の文化や民俗をはじめ、沖縄の文化を知りました。2泊3日のホームステイの時間は短いでしたが、貴重な思い出をつくることができました。本当にありがとうございました。



- ② [カヤック体験] カヤック体験は素晴らしいでした。それを通して、沖縄の自然の美しさを存分に楽しめました。海の中から見ると景色は岸部から見る景色と全く異なります。また、友達との協力によって、カヤックを進ませました。みんなの力を感しました。また、カヤックを漕ぐ達成感も忘れられません。
- ③ 沖縄の生活や文化は、独自の魅力があります。首里城や美ら海水族館などの観光名所や美しいビーチと海が有名です。ゴーヤチャンプルーやラフテーなどの伝統料理もおいしいです。地元の人々は親切です。

劉 冬雨 (中国) 国士舘大学

- ① (金城家のみなさんへ) この3日間、伊江島でのお世話に心から感謝申し上げます。お孫さん「幸花」が伊江島の歴史や文化を教えてくれ、美しい場所をより深く知ることができました。お婆さんは毎日地元の料理や沖縄のドーナツ「アンダギー」を作ってください、地元の味を味わうことができました。この3日間は非常に充実したものでした。またいつか、伊江島にお会いできる機会がございましたから幸いです。
- ② [カヤック体験] 私とリュウヤクキンさんはペアを組み、協力してパドルをした。最初は海に落ちることを恐れて緊張していましたが、短時間で慣れ、チームメイトとの協力もあり、すぐに技術をマスタした。最終的には大部隊に追いつき、先頭に立つことができました。この経験により、私はより勇敢で自信を持つようになり、チームワークの重要性も理解しました。
- ③ 沖縄には美しいビーチやサンゴ礁、青々としたジャングルが広がっている。海や自然を楽しむことができるのはもちろん、リラックスしたりアクティブに過ごしたりすることができる。



劉 奕欣 (中国) 国士舘大学

- ① (林家のみなさんへ) この3日間ありがとうございました! 沖縄と伊江島の歴史をたくさん紹介していただきありがとうございました。
- ② [カヤック体験] 初めて沖縄でカヤック体験です。初めてはドキドキしていましたが、先生の指導をいただいてあとは心配なしでカヤックしました。海の上に自分が浮いている感覚はいいと思います。友達と一緒に協力してカヤックをすることは最高です!
- ③ ①沖縄で生活することは車は大事です。②シーサーという沖縄お土産です。家の守り神として門柱など置かれます。③沖縄の食生活は豚肉中心の料理がよい。



許 ソン雨ジョウ (中国) 国士舘大学

- ① (金城家のみなさんへ) いろいろお世話になりました。本当にありがとうございました。短い2日間でしたが、とても楽しかったです! 島のものは特色があって、私もあなたたちのおかげでたくさんの記念品を持って、この素晴らしい時間を懐かしむ時に話すことができます。これは私の初めてのホームステイ体験で、本当に印象的でした。またお会いできますように!
- ② [カヤック体験] カヤック体験は初めてで、とても印象的でした。この前テレビでこのスポーツを見たことがありますが、いつか自分もやってみ



るチャンスがあるとは思っていなかったのですが、本当に楽しかったです。最初はうまくできていないのではないかと不安になるのですが、意外に上手だった。体は濡れましたが、本当に楽しかったです。これからもチャンスがあれば試してみたいです。

- ③ 沖縄の景色を紹介したいと思います。沖縄の海はきれいで、マスコットもかわいいです。そして、人々は親切で友好的です。

HAEUTLE HANNAH (ドイツ) 新宿日本語学校

- ① (上間家のみなさんへ) 私たちを温かく歓迎してくれてありがとうございます。着物を着させていただき、本当にありがとうございました。彼らはとても美しかったです。
- ② [太陽染め体験] 布を染めるのが一番好きでした。本当にクリエイティブになります。タコスはとても美味しかったです。タオルがどこへいったのか気になる!!!^⑤
- ③ ダンスも着物もとても美しかったです。風景はとても美しいです。おもてなしの心も切にしていきたいと思います。



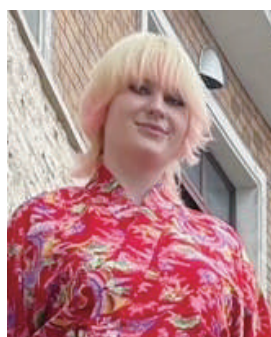
SCHWARZ MELANIE (ドイツ) 新宿日本語学校

- ① (知念家のみなさんへ) 素晴らしいおもてなしを本当にありがとうございました! まったく違う世界に浸らせていただき、ありがとうございました。素晴らしいホストマザーに恵まれて嬉しかったです。彼女と彼女の家族の幸運を祈るばかりです。私はそれを決して忘れません。
- ② [太陽染め体験] 楽しかったし、周りの環境もとても美しかったです。そして食べ物も美味しかったです。
- ③ ホスピタリティが素晴らしいダンスが面白い! 食事とても美味しいです。そして周囲はとても美しいです。



LOOCK VICTORIA (ドイツ) 新宿日本語学校

- ① (並里家のみなさんへ) ありがとうございます!!!!♡いえじまはとてもきれいなばしょです。いえじまの山とビーチは大好きです! あさごはん、ひるごはんとばんごはんはいつもとてもおいしかったです! ありがとうございます! はじめてふとらんでねました、いごちよかったです。
- ② [カヤック体験] カヤックはいつもたのしいです、きょうもたのしかったです。
- ③ おきなわの人はとてもやさしくてたのしいです。おきなわのたべものはおいしいです。おきなわのうみとビーチはきれいです。



CAMILLERI JESSICA (マルタ) 新宿日本語学校

- ① (金城家のみなさんへ) ありがとうございます。たのしかったです! いろいろのばしょやおいしい〜たべもの、ちょっとにほんごをおしえてましたね。あの、しんせつでやさしいかぞくいます!
- ② [カヤック体験] わたしのデザイナーです。それとも、たいようぞめたいけん、とてもたのしかったです。
- ③ わたしのかぞく、たべものがだいすきです。それから、おきなわりょうりをあげたい! また、きれいのばしょです。しゃしんをとっています。かぞくをみせてください。



BAUMSCHLAGER LEA (オーストリア) 新宿日本語学校

- ② [酒造見学] わたしのたんじょうびさんがつなのかです。はたちになりました。おさけを飲むのはたのしかったです。れきしもたのしかったです。
- ③ おおきなわのひとはしんせつでからすきです。かぞくをはなします。



BOKHARI REEMA (サウジアラビア) 新宿日本語学校

- ① (下門家のみなさんへ) すごく楽しかったし、美味しいものをたくさん食べたので、それだけの価値があります。ジジと一緒に過ごした時間を本当に大切にします。ジジの家はとても心温まるものでした。そのうえ、伊江島でたくさんのすばらしいことを学んで一杯経験しました。そのことに感謝しています。
- ② [カヤック体験] カヤック体験が一番印象に残った事です。どうしてかという、自然に関わる体験が一番好きだからです。
- ③ 沖縄には、私が日本全国で出会った中で最もフレンドリーで日本語で話しやすい地元の人々がいます。それは食事のサイズから見てもわかります。今度、沖縄に来るのを本当に楽しみにしています。



GRAHAM DEIRDRE LYNN (アメリカ) 新宿日本語学校

- 1 (古堅家のみなさんへ) 私たちの世話をしてくれて、伊江島を案内してくれてありがとうございました。おばはおいしい料理を作りました! 本当にビーチとハイビスカス園が大好きでした。伊江島はきれいですよ。いつかまた来たいです。
- 2 [太陽染め体験] 染めること新しい方法を習いました。この方法を使うことができます。
- 3 同じぐらいです。おきなわとアメリカの文化はおなじぐらいです。



黄 懷萱 (台湾) 共立日本語学院

- 1 (上間家のみなさんへ) おばちゃん! おいしい料理を作って、ありがとうございます。できれば、また会いに行きますよ~お元気に!♡
- 2 [酒造見学] しゅぞうの中でいい香りがあります。初めて泡盛を飲ました! 匂いがおもしろかったです。いろんな種類を飲んでみました。
- 3 沖縄の天気と文化などは台湾と結構似ています。例えば、旧暦を使っているので、春節と清明節を祝います。人がやさしいし、海が綺麗だし、旅行にはいいところだと思います。



楊 逸君 (台湾) 共立日本語学院

- 1 (知念家のみなさんへ) ホームステイの生活とてもたのしかったです!! お母さんは私たちのために料理をつくってくれました。本当にありがとうございます。ここで生活の時間わすれませんよ!!
- 2 [太陽染め体験] しろいぬのしちまい、ぬれる、すぎなずがらえらんだ。そして、すぎながんりょえらんでぬのにぬります。太陽の光をつかってやきつける染色技術です。完成品とてもきれいです!! その過程がたのしかったです。
- 3 おきなわの天気はとてもあたたかい、でもかぜがちよっとつよいです。有名な料理、いちばんすぎは「おきなわそば」、このめんはしろいめんです。うえは紅生姜におきます。おいしいよ!!



鄭 竹均 (台湾) 共立日本語学院

- 1 (並里家のみなさんへ) 短い時間でしたが、お世話になりました。これを通じて私は伊江島の文化と生活方式を知るようになったと話した、ちちとははのおかげで家に帰ったように安心して、ははのおいしい料理も味わうことができました。ちち島の名所に案内してくれて手作りのペンダント体験もしてくれました。本当に楽しかったです、ありがとうございました。
- 2 [カヤック体験] 初めての経験なのでわからないことが多いですがははい上手になって、友だちといっしょにこぎに励む。服が全部濡れたが、楽しかったです。
- 3 沖縄は暖かくて親切な性格で有名で、現地だけの文化も多いです。美しい海と島があり、様々な水上活動を体験する。また、沖縄独特の風味料理は地元の海物や野菜でできています。沖縄体験をおすすめします。



李 昀庭 (台湾) 共立日本語学院

- 1 (下門家のみなさんへ) まずじじは二日間お世話になりありがとうございました。この二日間とても楽しかったです。じじが私たちを伊江島の有名なかんこうすぽとにつれていってくれました。毎食ご飯をつくってあげました。お疲れ様でした。
- 2 [太陽染め体験] 太陽染めかつどうを初め体験しました。それは晴らしいね。経験上とても楽しいです。好きなずがらを選んで布にえをデザインします。いろいろな魚をえらんで水中世界にデザインしました。完成品が大好き。
- 3 3月はおきなわ旅行にぴったりの月です。てんきはちょうどいいです。ここにきたらおきなわそばをたべてみてください。とてもおいしいです。多いのユニークな伝統舞踊が保存されています。ダイビングにさいてきなうつくしいビーチもあります。ぜひ一度はおきなわにきてください。



ホストファミリーとの思い出の一枚



離村式にて(3月7日)

①上間家



②金城家



③下門家



④玉城家



⑤金城家



⑥知念家



⑦知念家



⑧並里家



⑨古堅家



⑩湯野川家



⑪林家



クラフト体験 (3月7日)



カヤック体験 (3月9日)



ザ・ビーチタワー沖縄にて (3月9日)



酒造見学 (3月9日)



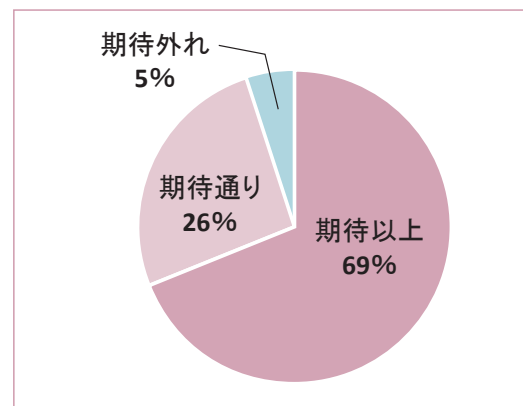
参加者アンケート

参加者の皆さん(39名)には、研修会についてアンケートに答えてもらいました。

※各コメントは、数名分を抜粋し、学生の文章をそのまま掲載しています。

ホームステイについて

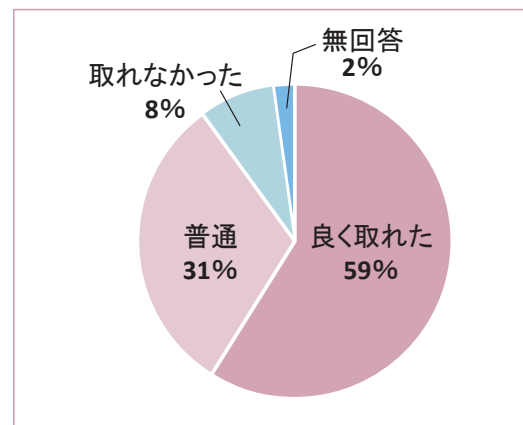
① 伊江島ホームステイはどうでしたか？



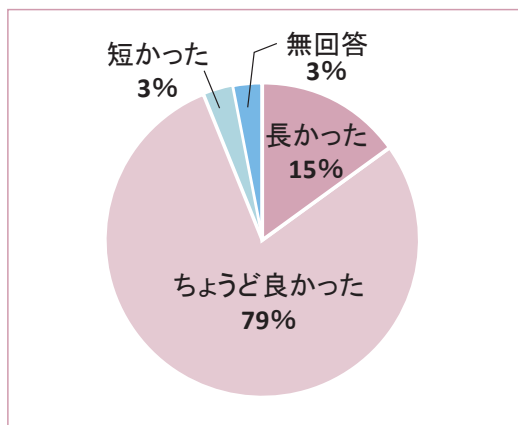
② ホームステイで一番楽しかったことはなんですか？

- ・みんなで一緒に行ったお散歩
- ・食事中、みんなで一緒にしゃべること
- ・おばあさんが作った「サーターアンダーギー」を食べたこと
- ・車で色々なところに行きました
- ・和装体験
- ・地元の歴史や文化を学ぶことです
- ・伊江ビーチでたくさんのサンゴを拾った。
- ・海辺に行って貝殻を拾ってストラップを作ること
- ・島内見学
- ・全部好き!

③ ホストファミリーとコミュニケーションは取れましたか？

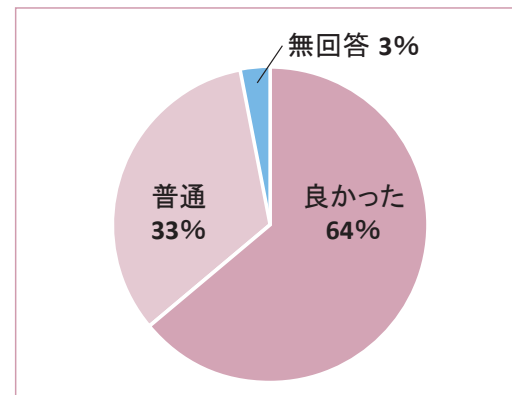


④ ホームステイの期間(2泊3日)はどうでしたか？

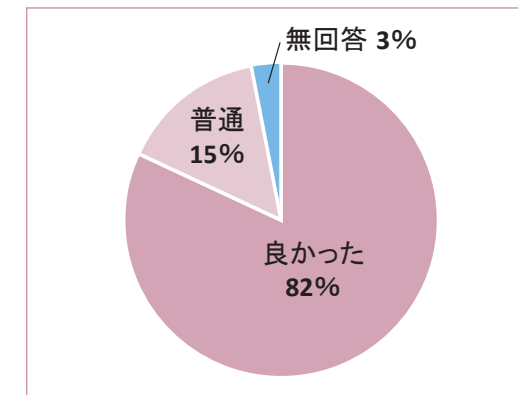


体験・見学プログラムについて

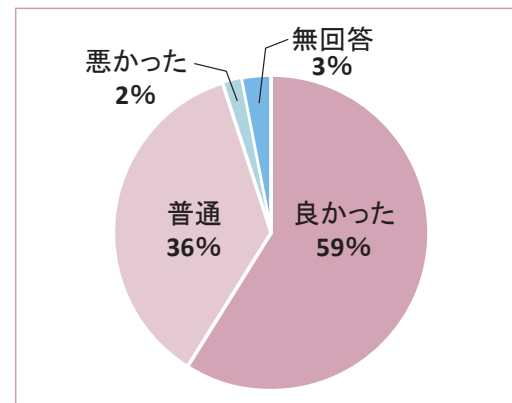
① クラフト体験(太陽染め)



② カヤック体験

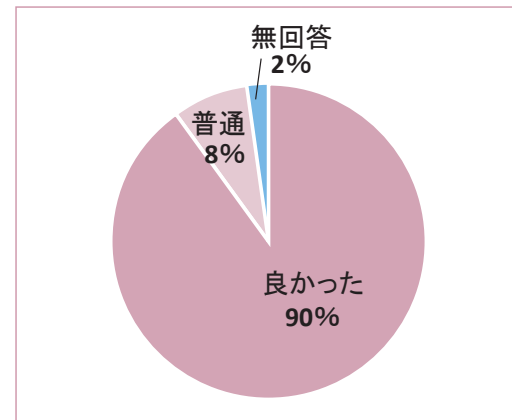


③ 酒造見学



自由行動について

① 自由行動はあって良かったですか？

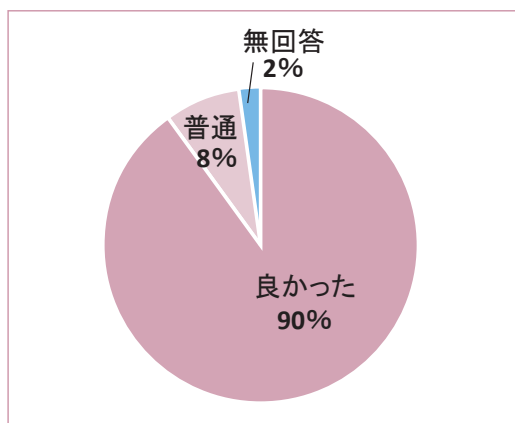


② 自由行動では、どこで何をしましたか？

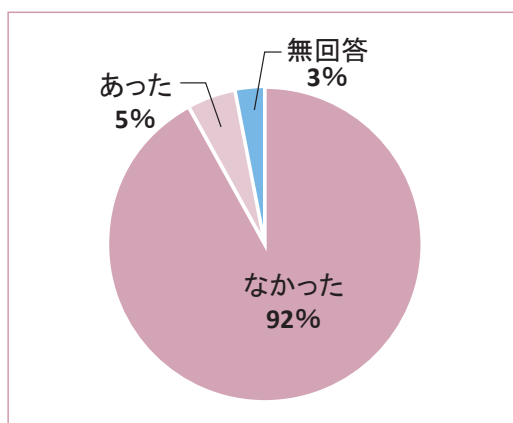
- ・PARCOデパートへかいものにいきました。A&Wをたべました。
- ・水族館に行って、イルカショーをみました。有名なマフィン屋にいきました
- ・ジームに行ったり、American villageに行ったり、さしみを食べました。
- ・古宇利大橋♡
- ・ふてんまじんじやとながぐすくしろへいきました。それから、おんせんにはいりました。
- ・じんじやとうみへいきました。
- ・首里城に行って修復中の建物を見たり、商店街に行って素敵なプレスレットを買ったりしました。
- ・友達と青の洞窟に行ってスキューバダイビングをしました。
- ・司令部壕：勉強・見学、福州園：散歩
- ・波上宮にお参りして、御朱印をもらいました。
- ・奥部山公園の神社に参拝してまいりました。
- ・首里城・那覇市内の福州園と国際通りに行きました。沖縄料理を食べました。

全体について

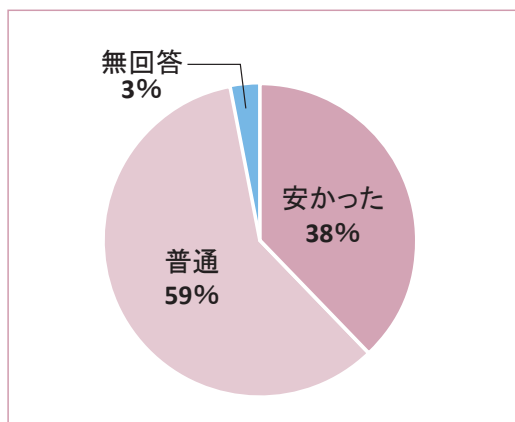
① 全体スケジュールはどうでしたか？



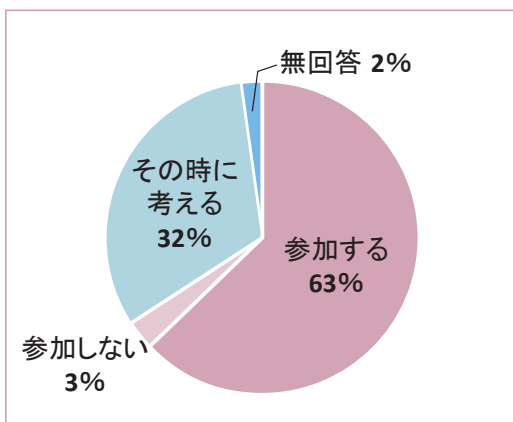
② 困ったことはありましたか？



③ 参加費はどうでしたか？



④ またこのような研修会に参加したいですか？



研修会について感想や意見を教えてください。

- ・現地の文化を体験し、他の地域の人々と知り合い友達になることができます。うれしいです。
- ・スケジュールは合理的で満足していると思います。
- ・今回の研修会は全体超おもしろかったと思った。ホテルもいいし、6日間のスケジュールは良い！
- ・海に楽しかった！
- ・様々な国家の人たちと一緒に会うのが楽しかった。
- ・ホテルの部屋を四人でシェアするのが嫌だった。
- ・ごご10時にへやにいなければならなかったのはざんねんでした。しかしそれがいはいりょうはよくけいかくされています。
- ・それは多くの異なる印象を持つとても素敵なワークショップでした。ありがとうございます。グループと一緒にほとんど何もなかったのは残念だと思いました。
- ・とてもいいと思います。わずかに数日でたくさん場所を観光することができ、地元文化も体験することができて、とてもいいイベントです。

引率後記

今年度も伊江島でのホームステイ研修会を無事に開催することができました。ホストファミリーの方々や伊江島観光協会の皆さまには、参加者をあたたかく迎え入れていただき、大変感謝しております。

普段、都会で一人暮らしをしている多くの参加者にとって、ホストファミリーとの生活は、久しぶりに家族の温かみを感じられる時間となったようでした。「ご飯の時に、みんなで話したことが楽しかった」や「家庭料理を食べられて、美味しかった」と目を輝かせて話してくれる参加者を見て、今回のホームステイでの経験が一生の思い出となることを願っています。

屋我地島でのカヤック体験では、沖縄の大自然を満喫すると同時に、チームワークの重要性を学んだ参加者も多かったです。クラフト体験の太陽染めでは、完成をイメージしながら思いの柄を手ぬぐいにデザインすることを楽しんでいました。また、酒造見学では、沖縄特産の泡盛の製造工程を学んだ後にさまざまな種類のお酒を試飲させてもらい、お酒の奥深さを実感していました。伊江島や沖縄に訪れたからこそできる体験を通して、参加者のみなさんが何かひとつでも学びを得てくれることを願っています。

最後に、ケガや病気をすることなく、無事にすべてのスケジュールを終えることができたのは、研修会に関わってくださった皆さまのおかげであると改めて感じています。本当にありがとうございました。

2024年3月沖縄・伊江島研修会担当 湯川

今回の「2024年3月沖縄・伊江島研修会」には、中国・台湾・韓国・ドイツ・オーストリア・マルタ・アメリカ・イラン・サウジアラビアと、さまざまな国籍の学生が参加いたしました。当財団が主催する研修会におきましては、日本の生活・歴史・文化を知ることはもちろん、異なる文化的背景をもつ学生同士の交流も大きな目的として挙げられます。この点において、今回の研修会では、各国の学生が自分の国の言語や文化を教え合う光景をたびたび目にしました。特に、伊江島でのホームステイ中は、ホストファミリーの皆さまとも自国の文化を共有しながら、沖縄文化の独自性を学んでいたようです。

今、国際社会では、長期的な国際協力あるいは国際平和のあり方が問われております。こうした中、前述したような国際交流の姿勢は、個人間での狭い範囲であっても重要なものであると考えられます。太陽染めや酒造見学といった文化体験、カヤックでの自然体験についても、さまざまな国籍の学生と経験をともにしたことで、より印象に残る内容となったのではないのでしょうか。今回の研修会に参加した学生には、こうした体験から得た知識や感慨を忘れず、これからも日本や日本の地方への知見を深めていってもらえると嬉しいです。そして、多くの学生が、言語や文化の異なる人々との交流を大切にしながら、国や地域特有の魅力を尊重する心をもって、大いに活躍することを願っております。

2024年3月沖縄・伊江島研修会担当 石垣

留学生のための日本生活案内 「留学生生活手帳」第11版

「留学生のための日本生活案内『留学生生活手帳』」は、日本で留学生を送る留学生のため2003年3月に創刊し、2024年3月に第11版を発行いたしました。

本誌は、留学生が日本で生活をする上で必要となる情報・知っておくと役に立つ情報を掲載しているガイドブックです。持ち運びに便利なB6サイズの冊子です。



目次

1. 必要手続き

入国時の手続き／在留カード／
在留資格に関する手続き／マイナンバー制度／
税金／一時帰国・海外旅行時の手続き／
帰国時の手続き

2. 住居

住居の種類／民間賃貸住宅の契約／入居中のルール／
退去手続き／共立財団 住居情報／
(株)共立メンテナンス 住居情報

3. 生活基盤づくり

銀行口座／携帯電話／インターネット／郵便／
公共交通機関／自転車／自動車運転免許

4. 学生生活

検定試験／奨学金／アルバイト／交流活動／
就職活動／就職のための在留資格変更／
休学・復学・再入学の手続き／
学生生活に関する相談窓口

5. 緊急時の対応

急病・事故・火災／犯罪被害

留学生のための就職情報誌 「共立・桜」Vol.24

「留学生のための就職情報誌『共立・桜』」は、日本企業への就職を希望する留学生を支援することを目的として2000年2月に創刊し、2024年3月にVol.24を発行いたしました。

本誌は、日本における就職活動の流れやポイントを7つのステップで分かりやすく解説した就職ガイドブックです。さらに、外国人留学生を積極的に採用している企業の求人情報や、日本企業に採用された先輩留学生の就活体験談なども掲載しております。



目次

第1章 留学生の就活ノウハウ

日本で就職するための7つのステップ
【STEP1】スケジュールを立てよう
【STEP2】自己分析をしよう
【STEP3】情報収集をしよう
【STEP4】エントリーシート・履歴書を準備しよう
【STEP5】基本的なマナーを学ぼう
【STEP6】選考試験・面接に備えよう
【STEP7】内定後にすべきことを理解しよう

第2章 留学生の就活体験談 (7名)

第3章 留学生積極採用企業 求人情報 (33社)

第4章 留学生の起業ノウハウ

日本で起業するための8つのステップ
留学生の起業体験談

記事作成のお願い

『共立・桜』にて、就職の体験記事を作成していただける方を募集しております！
ご応募や詳細のご確認は、下記のお問い合わせ先まで。

作業内容：就職体験記事の作成 (3000字程度)
謝 礼：アマゾンギフトカード10,000円分
対 象：2020～2024年度に日本企業への就職を決めた人
顔写真の掲載が可能な人

当財団HPに本誌のデータ版を掲載しておりますので、ご自由に印刷いただきご活用ください。
冊子版の送付をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 担当：広報課 石垣
電話：03-5295-0205 E-mail：kif-info@dormy.co.jp

当財団HPに本誌のデータ版を掲載しておりますので、ご自由に印刷いただきご活用ください。
冊子版の送付をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 担当：広報課 石垣
電話：03-5295-0205 E-mail：kif-info@dormy.co.jp

国際交流会館 つつじヶ丘男子学生会館

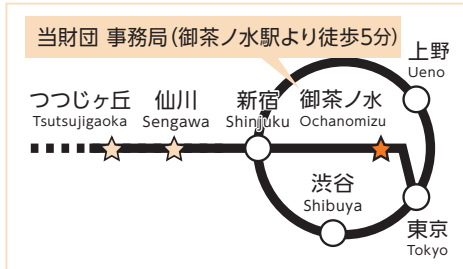
男性  2食付  家具付 

所在地 東京都調布市若葉町3-9-3

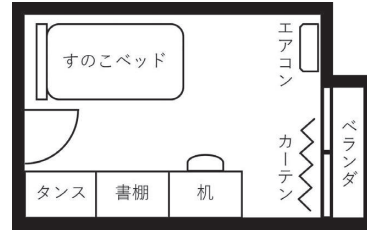
交通 京王線「仙川」駅下車 徒歩約13分
「つつじヶ丘」駅下車 徒歩約15分

室内設備 すのこベッド、エアコン、机・イス、書棚、タンス、カーテン、電気スタンド、照明器具、Wi-Fi

共用設備 シャワー、パブリックバス、トイレ、食堂、TV、自炊設備、ランドリールーム(洗濯機・乾燥機)、駐輪場



居室イメージ
※面積：9.9㎡
(約6畳)



※実際の配置とは異なる場合があります。



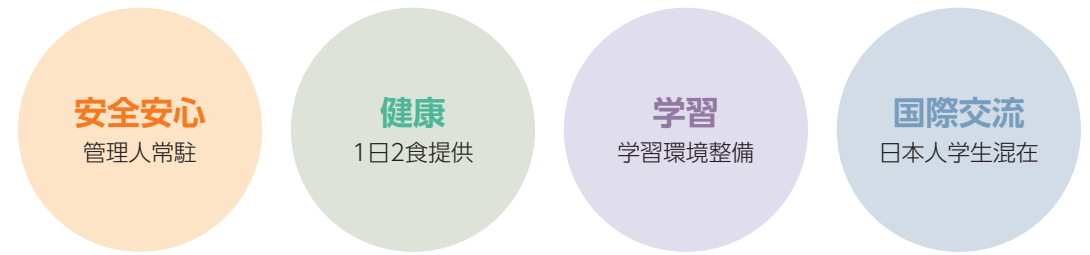
寮費(1か月・税込)

長期契約 ¥74,300			短期契約(一括払い) ¥88,000のみ!
内訳	寮費 ¥60,000	電気料金一律 ¥12,650	通信設備費 ¥1,650
*電気料金、建物維持費、通信設備費、布団リース込み			

契約時費用(税込)

長期(91日以上)合計 ¥152,300			
内訳	入室料 ¥60,000	リフォーム代 ¥15,000	建物維持費(1年) ¥3,000
	1か月の寮費(前払い) ¥60,000 *日割り計算有	1か月の電気料金(前払い) ¥12,650 *日割り計算有	1か月の通信設備費(前払い) ¥1,650

『学習奨励寮』支援制度



お問い合わせ専用フリーダイヤル

国内から ☎ 0120-952-423



料金・詳細は当財団ホームページをご覧ください。



首都圏 学習奨励寮 (家具付)

男子専用、女子専用で分かれていて、トイレ・シャワー（バス）等が共同の学生会館です。
男女混合寮や日本人入寮生の多い会館もあり、日本人学生との交流が多いことも特徴です。



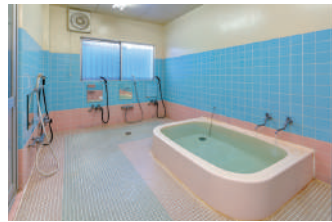
居室



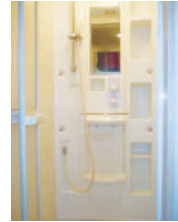
居室



食堂



パブリックバス



シャワールーム



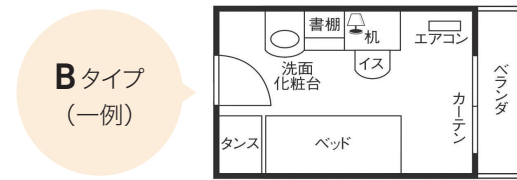
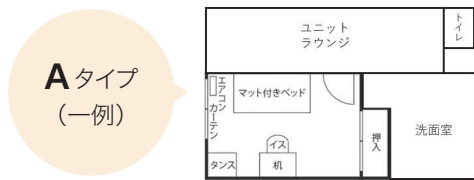
ランドリールーム

室内設備 ベッド、机・イス、書棚、クローゼット、照明器具、電気スタンド、エアコン、カーテン、Wi-Fi

共用設備 食堂、自炊設備、パブリックバス、プライベートシャワーまたはシャワーブース、トイレ、ランドリールーム

※設備などは、会館により異なる場合があります。

●シェアハウズドーマー (食事なし／バス・トイレ共用) ¥52,000 (別途諸費用あり)



寮費 (1か月・税込)

長期契約 ¥66,300				短期契約 (一括払い) ¥86,000 のみ! *電気料金、建物維持費、通信設備費、布団リース込み
内訳	寮費	電気料金一律	通信設備費	
	¥52,000	¥12,650	¥1,650	

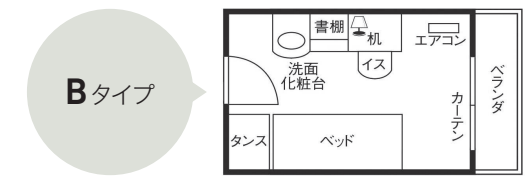
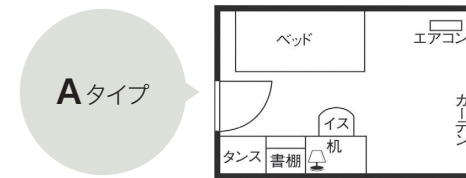
契約時費用 (税込)

長期 (91日以上) 合計 ¥136,300			
内訳	入室料	リフォーム代	建物維持費 (1年)
	¥52,000	¥15,000	¥3,000
	1か月の寮費 (前払い)	1か月の電気料金 (前払い)	1か月の通信設備費 (前払い)
	¥52,000 *日割り計算有	¥12,650 *日割り計算有	¥1,650

※一部料金は、会館により異なります。

※シェアハウズドーマーの設備は会館によってさまざまです。詳細はお問い合わせください。

●A・Bタイプ (1日2食提供／バス・トイレ共用) ¥60,000 (別途諸費用あり)



寮費 (1か月・税込)

長期契約 ¥74,300				短期契約 (一括払い) ¥88,000 のみ! *電気料金、建物維持費、通信設備費、布団リース込み
内訳	寮費	電気料金一律	通信設備費	
	¥60,000	¥12,650	¥1,650	

契約時費用 (税込)

長期 (91日以上) 合計 ¥152,300			
内訳	入室料	リフォーム代	建物維持費 (1年)
	¥60,000	¥15,000	¥3,000
	1か月の寮費 (前払い)	1か月の電気料金 (前払い)	1か月の通信設備費 (前払い)
	¥60,000 *日割り計算有	¥12,650 *日割り計算有	¥1,650

(株) 共立メンテナンス

【留学生向け】ワンルームタイプで食事付住居情報

学生会館の特徴

- ・館長夫妻が常駐し、日曜・祝日・第5土曜日等を除き、朝夕2食の提供がございます。
- ・居室内設備は、机・椅子・タンス・書棚・ベッド・ユニットバス(バス・トイレセパレートタイプも有)・ミニキッチン・デスクライト・カーテン・エアコン・Wi-Fi等が備え付けとなります。
- ・共用設備は、食堂・大浴場(一部なし)・ランドリールームなどが完備されています。
- ・詳細は各会館によって異なりますので、下記HPにて確認するかあらかじめお問い合わせください。

外観イメージ



ドミー本蓮沼



ドミー上石神井

居室のイメージ



設備配置例 Cタイプ

食事のイメージ



朝食



夕食

共用設備のイメージ



ランドリールーム



食堂

室内のイメージ



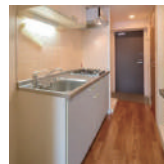
居室例I



居室例II



ユニットバス



ミニキッチン

◆長期料金表◆(留学生料金がご利用できない会館もございます)

※90日以内の短期契約もございます。

費用		会館タイプ	C・Dタイプ(マンションタイプ) 個室
館費(月額)*			106,200円
月間管理費			6,000円
建物維持費(年額)			3,000円
ルームクリーニング費*			47,300円
契約金	入館費		100,000円
	保証金		50,000円
その他費用	電気料*	固定料金(7,150円)/電力会社との直接契約	
	通信設備費*		3,960円
	水道料*		1,650円

※館費(月額)には、食費(税込)が含まれます。

※学生会館によってはガス料金、水道料金を各社と直接契約していただく場合もあります。

※表中の*がついている項目は消費税込の表示です。

※上記は2024年4月現在の料金です。今後、変更させていただく場合がございますのでご了承ください。

お問い合わせ先：株式会社共立メンテナンス 首都圏学生会館事務局 留学生チーム

T E L : 03-5295-7889

FAX : 03-5295-5906

Email : int@gakuseikaikan.com

URL : https://internationaldormy.com

(株) 共立メンテナンス 学生会館利用者数

◆入館者在籍学校分布(首都圏地区のみ)

2024年1月時点

大学	人数	大学	人数	専門学校・日本語学校	人数
早稲田大学	376	東京薬科大学	2	文化服装学院	42
明治大学	125	東京理科大学	2	カナン国際教育学院	12
青山学院大学	88	東洋英和女学院大学	2	和陽日本語学院	7
上智大学	72	文京学院大学	2	HAL東京	5
法政大学	63	横浜薬科大学	2	東京製菓学校	4
帝京大学	34	開志専門職大学	1	横浜YMCA学院専門学校	3
慶應義塾大学	27	國學院大学	1	紫永国際学園JET日本語学校	2
多摩大学	26	国際基督教大学	1	専門学校ESPエンタテインメント東京	2
東京大学	26	産業能率大学	1	専門学校東京デザイナー学院	2
東京工業大学	12	芝浦工業大学	1	東京デザイン専門学校	2
明海大学	12	淑徳大学	1	横浜デザイン学院専門学校	2
亜細亜大学	11	城西大学	1	イーストウエスト日本語学校	1
北里大学	11	尚美学園大学	1	インターカルト日本語学校	1
国土館大学	9	聖学院大学	1	九段日本文化研究所日本語学院	1
女子美術大学	9	西武文理大学	1	国際航空専門学校	1
多摩美術大学	9	大正大学	1	埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校	1
デジタルハリウッド大学	9	拓殖大学	1	首都医校	1
東京工芸大学	9	玉川大学	1	尚美ミュージックカレッジ専門学校	1
工学院大学	8	東京外国語大学	1	新宿日本語学校	1
桜美林大学	7	東京国際工科専門職大学	1	専修学校日本菓子専門学校	1
日本大学	7	東京電機大学	1	専門学校東京クールジャパン	1
成蹊大学	6	東京福祉大学	1	専門学校東京ビジュアル・アーツ	1
専修大学	6	二松学舎大学	1	専門学校東洋美術学校	1
東京造形大学	6	星薬科大学	1	東京観光専門学校	1
明治学院大学	6	横浜市立大学	1	東京コミュニケーションアート専門学校	1
中央大学	5			東京サイクルデザイン専門学校	1
武蔵野大学	5			東京すし和食調理専門学校	1
立教大学	5			東京モード学園	1
聖路加国際大学	4			東放学園映画専門学校	1
東海大学	3			東放学園音響専門学校	1
東京女子大学	3			東放学園専門学校	1
東京都市大学	3			日本電子専門学校	1
東京農業大学	3			ヒューマンアカデミー日本語学校	1
東洋大学	3			文化外国語専門学校	1
武蔵野美術大学	3			代々木アニメーション学院	1
麻布大学	2			専門学校・日本語学校計	107
順天堂大学	2			その他	26
東京国際大学	2	大学計	1047	総計	1180

※上記以外に法人契約にて850室以上の実績がございます。

◆入館者国籍別分布(首都圏地区のみ)

2024年1月時点

国籍	人数	国籍	人数	国籍	人数
中国	378	スイス	4	クウェート	1
韓国	239	ハンガリー	4	チュニジア	1
台湾	92	フィンランド	4	トルコ	1
アメリカ	74	ミャンマー	4	ナイジェリア	1
フランス	38	スウェーデン	3	ニュージーランド	1
日本	37	スリランカ	3	ノルウェー	1
タイ	31	メキシコ	3	バングラデシュ	2
ドイツ	26	アイスランド	2	ブルガリア	1
インドネシア	25	アイルランド	2	ブルンジ	1
シンガポール	22	ガーナ	2	マカオ	1
イギリス	20	チェコスロバキア	2	ヨルダン	1
マレーシア	18	デンマーク	2	ラオス	1
香港	12	ネパール	2	ルクセンブルク	1
オーストラリア	11	ブラジル	2	レソト	1
スペイン	11	ベルギー	2	その他	9
フィリピン	11	ポーランド	2		
インド	10	ルーマニア	2		
ベトナム	9	アルバニア	1		
オランダ	8	アンゴラ	1		
カナダ	7	ウズベキスタン	1		
ロシア	7	エジプト	1		
モンゴル	5	エチオピア	1		
イタリア	4	カザフスタン	1		
イラン	4	カンボジア	1		
オーストリア	4	ギニア	1		
				総計	1180

※上記以外に法人契約にて850室以上の実績がございます。

一般財団法人 共立国際交流奨学財団



本部

〒101-0021

東京都千代田区外神田 2-17-3 アヤヘビル 4F
4F, 2-17-3, Sotokanda, Chiyoda-ku, Tokyo

TEL : 03-5295-0205

FAX : 03-5295-0206

URL : www.kif-org.com

海外事務所のご案内

ソウル事務所

大韓民国

〒100-191 ソウル特別市中区乙支路16 白南ビル804号

TEL : 02-757-2343 FAX : 02-775-9997

URL : www.kyoritsu.or.kr

成都大原日本語学校

(成都委託事務所)
中華人民共和国

〒610-000 四川省成都市青羊区西御街8号西御大厦4楼

TEL : 028-8613-4443

URL : www.cdohara.com

DONG DU JAPANESE LANGUAGE SCHOOL

(ホーチミン委託事務所)
VIETNAM

43D/46, Ho Van Hue, P. 9, Q. Phu Nhuan, TP. HCM

TEL : 028-3845-3782

URL : www.dongdu.edu.vn

MOMJI Japanese Language Center

(ヤンゴン委託事務所)
MYANMAR

No.15/17 3rd Floor Rm Insein Rd, Hiedan Kamayut Township, Yangon

TEL : 01-532788 / 094-5061-4644

URL : momjimyanmar.wixsite.com/website

K H J GROUP

(プノンペン委託事務所)
CAMBODIA

No.101c, St.36sony, SangkatTekThla, KhanSenSok, PhnomPenh

TEL : 077-777-604

URL : www.kif-cam.net

J-Study Center by Lai Brothers Corporation

(バンコク委託事務所)
THAILAND

77/110 Rajthevi Tower, 12th Floor, Phayathai Rd., Rajthevi, Bangkok 10400

TEL : 02-255-9681 FAX : 02-255-9680

URL : www.kif-thai.com

C O A C H

(ジャカルタ委託事務所)
INDONESIA

Jl. Percetakan Negara 2 Makam No.11, Jakarta Pusat 10560

TEL/FAX : 021-4222453

URL : www.kyoritsu.or.id

A to Z Language Centre SON BHD

(クアラルンプール委託事務所)
MALAYSIA

70B, Jalan SS21/62, Damansara Utama, 47400 Petaling Jaya, Selangor

TEL : 03-7728-4662

URL : kyoritsu.my



一般財団法人
共立国際交流奨学財団
KYORITSU INTERNATIONAL FOUNDATION

2024年5月7日発行 編集責任者 菊川長徳